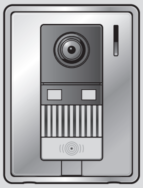
Panasonic

取扱説明書

	ワイヤレスモニター付	テレビドアホン
製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン 電源コード式	テレビドアホン 電源コード式
品番	ブイエル エスダブリューディー ケイエル **VL-SWD701KL** ブイエル エスダブリューディー ケイエス **VL-SWD701KS**	ブイエル エスブイディー ケイエル **VL-SVD701KL** ブイエル エスブイディー ケイエス **VL-SVD701KS**

●本書は４モデル共用です。各モデルは下記構成品の組み合わせが異なります。
詳細は２ページをご覧ください。

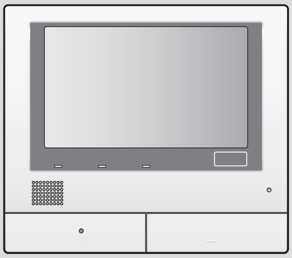
カメラ玄関子機（ドアホン）



VL-V571L

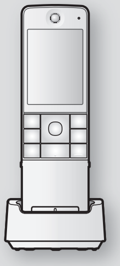
VL-V554L

モニター親機（ドアホン親機）



VL-MWD701KL

ワイヤレスモニター子機（子機）



VL-WD614

本書の６～８ページ「使ってみましょう」で、来客応答などの基本的な使いかたをわかりやすく案内しています。はじめにご覧ください。

Ni-MH
ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

QuickTime

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

施工説明書 別添付

保証書 別添付

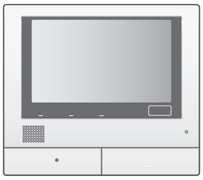
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（9～10ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

確認と準備
通話／モニター
録画／再生
くらしモード
電話/ファクスとの連携
他機器との連携
こんなとき
便利な機能
必要なとき
困ったとき

はじめに

構成品について

ご使用のモデルの構成品をご確認ください 。

本書の表記	ドアホン		ドアホン親機	子機
形状と品名	 カメラ玄関子機	 カメラ玄関子機	 モニター親機	 ワイヤレス モニター子機
構成品品番 製品品番	VL-V571L （露出型）	VL-V554L （露出/埋込両用型）	VL-MWD701KL	VL-WD614
VL-SWD701KL	○	ー	○	○
VL-SWD701KS	ー	○	○	○
VL-SVD701KL	○	ー	○	ー
VL-SVD701KS	ー	○	○	ー

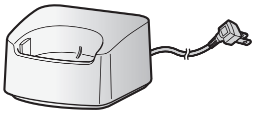
● VL-V571L/ VL-V554Lは設置方法が異なるだけで、機能は同じです。

付属品・添付品について

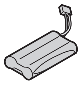
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。
ドアホン用とドアホン親機用の付属品については、施工説明書に記載しています。

■ 付属品（子機用）

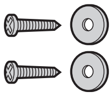
□ **充電台** 1台



□ **電池パック** 1個



□ **充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー** ... 各2個



■ 添付品

☑ **取扱説明書（本書）**..................................... 1冊
□ **施工説明書**.. 1部
□ **保証書** 1式

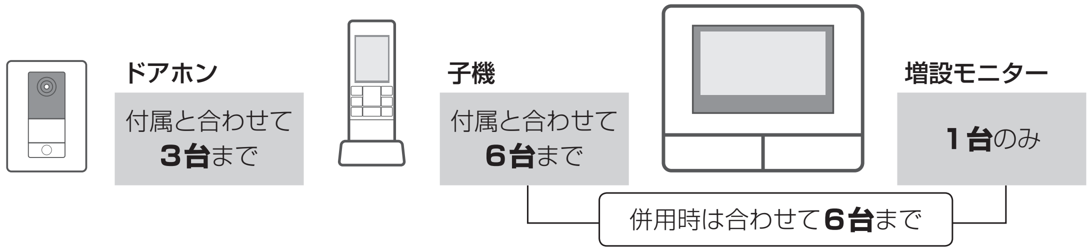
お 願 い

● 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

本製品の特長

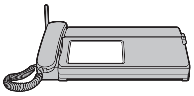
本製品は、別売の増設機器によるシステムアップや他機器との連携により、暮らしにあったホームセーフティーを実現できます。また、来客時の画像を携帯電話などにメールで送信できる「メール送信機能」にも対応しています。(P.70)

■ 別売の増設機器を使う (別売品の一覧は P.94)



■ 他機器との連携について（連携できる機器の一覧は P.95、P.96)

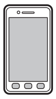
電話/ファクス(P.34)



1 台のみ

ドアホンの来客に応答したり、ドアホンの子機を登録して電話として使うことができます。

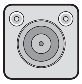
スマートフォン(P.45)



4 台まで

専用アプリケーションを利用して、ドアホンの来客応答などができます。

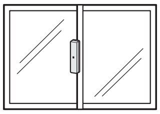
センサーカメラ(P.46)



4 台まで

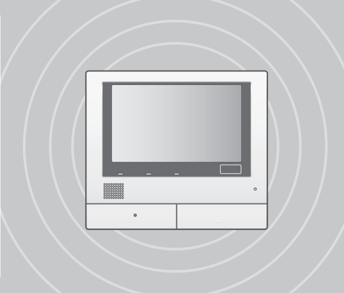
センサーカメラ(以降、カメラ)の映像を本機で表示・録画できます。

窓/ドアセンサー(P.58)

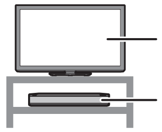


合わせて
20 台まで

窓やドアが開いたときに、本機にお知らせします。



テレビ/レコーダー(P.56、57)



2 台まで
1 台のみ

ドアホンの映像を、テレビに表示・レコーダーに録画できます。

警報器/コール機器(P.61)

いずれかを**1 種類**のみ

警報器の反応やコール機器からの呼び出しを、本機にお知らせします。

電気錠/エアコンなど(P.62)

2 台まで

本機で、電気錠の施錠/解錠やエアコンなどのON/OFFができます。

光るチャイム/メロディサインなど(P.61)

いずれかを**1 種類**のみ

ドアホンの来客時などに、本機に連動して、光や音でお知らせします。

本書の表記について

本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

もくじ

使ってみましょう......6

次の方法で探すこともできます。
● 「よくあるご質問」から探す (P.112)
● 「さくいん」から探す (P.114)

確認と準備

安全上のご注意......9
使用上のお願い......11
SDカードについて......14
各部のなまえとはたらき(ドアホン)......15
各部のなまえとはたらき(ドアホン親機)......16
各部のなまえとはたらき(子機)......18
子機を設置・充電する......20
日時(時計)を設定する......21
ワイド/ズーム設定をする......21
ズーム位置設定をする......21

通話/モニター

来客の呼び出しに応答する......22
基本の受けかた......22
ボタンを押さずに声で応答する(音声応答)......22
玄関(ドアホン側)をモニターする......23
室内の相手を呼び出す......24
ドアホン通話を転送する......25

録画/再生

録画・録音機能について......26
SDカードと本体メモリーの録画仕様......26
SDカードの容量と録画件数の目安......26
ドアホンの録画・録音......27
着信時や通話時の録画(自動録画)......27
モニター時の録画(手動録画)......27
ドアホン親機で録画を再生する......28
再生音量や画面の明るさを変える......29
画像を保護する......29
画像を消去する......29
検索メニューを使って画像を探す......29
子機で録画を再生する......30
再生音量や画面の明るさを変える......31
画像を保護する......31
画像を消去する......31

くらしモード

くらしモード(在宅/夜間/外出)について......32
くらしモード画面について......32
くらしモードの切り替えかた......33
くらしモードの詳細設定を変更する......33

電話/ファクスとの連携

電話/ファクスとの連携について......34
電話/ファクスで来客応答ができるようにする(ワイヤレスアダプター機能登録)......34
子機(VL-WD614)で電話ができるようにする(電話/ファクス登録)......34
電話/ファクス連携時のお願い......35

子機のみ対応

電話をかける/受ける......35
基本のかけかた/受けかた......35
同じ相手にもう一度かける(再ダイヤル)......35
電話帳でかける......36
子機を机の上などに置いたままかける(スピーカーホン通話)......36
電話/ファクス親機や別の子機にかける(電話内線)......36
外線通話中にできること......37
相手に待ってもらう(保留)......37
キャッチホンを受ける(NTTとの契約が必要)......37
通話を録音する(通話録音)......37
相手の声の音質を変える(ボイスセレクト)......37
自分の声を低く変える(ボイスチェンジ)......37
迷惑な電話をお断りする(通話拒否)......38
相手の声を確認して電話に出る(あんしん応答)......38
電話をまわす/3者通話にする......39
電話帳に登録する......39
新規入力して電話帳に登録する......39
再ダイヤルから電話帳に登録する......40
電話帳を修正する......40
電話帳を消去する......40
電話帳を転送する......40
ファクスを受ける......40
留守番電話を使う......41
ナンバー・ディスプレイサービス......42
着信履歴を確認する......42
着信履歴から電話をかける......42
着信履歴から電話帳に登録する/受けたくない電話を拒否設定する......42
着信履歴を消去する......42
電話/ファクスで窓/ドアセンサーを登録して使っているとき......43

他機器との連携

スマートフォン/カメラ/AV機器(テレビ・レコーダー)と連携するために 44
ドアホン親機と各機器のネットワーク接続について 44
スマートフォンとの連携について 45
専用アプリケーションをダウンロードする 45
スマートフォンをドアホン親機に登録する 45
カメラとの連携について 46
カメラをドアホン親機に登録する 46
センサーの検知状況を確認する 46
センサーの設定を変更する 47
センサー検知による録画のテストをする 48
カメラ側をモニターする 48
カメラのセンサーが反応したとき 49
カメラのセンサー検知を休止する 49
カメラ情報を確認する 50
カメラの録画・録音(SDカード録画) 51
センサー反応時の録画(自動録画) 51
モニター時の録画(手動録画) 51
カメラの機能設定のしかた 52
カメラの機能設定一覧 53
テレビとの連携について 56
レコーダーとの連携について 57
窓/ドアセンサーとの連携について 58
窓/ドアセンサーをドアホン親機に登録する 58
窓/ドアが開いたときの動作について 59
報知レベルを「高い」に設定してドアセンサーを使うとき 60
窓/ドアの開閉状態を確認する(センサー情報を見る) 60
警報器やコール機器と連携して使う 61
光るチャイムやメロディサインなどと連携して使う 61
電気錠やエアコンなどと連携して使う 62
ドアホン親機で電気錠・機器ボタンの設定をする 62
電気錠やエアコンなどの機器を操作する 63

こんなとき

本機の情報を見る(情報表示画面) 64
通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき(ドアホン親機) 65
通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき(子機) 66
文字入力のしかた 67
ドアホン親機で文字を入力する 67
子機で文字を入力する 68

便利な機能

携帯電話などにドアホンやカメラの画像をメールで送る(メール送信機能) 70
メール送信設定をする 71
着信画面に誰も映っていないとき(戻って再生) 72
顔を探してズームする(顔サーチ) 72
映像表示中にワイド/ズーム、パン・チルトする 73
通話中・モニター中に変更できる音や表示の設定 74
呼出音を変える(ドアホン/カメラ/外線) 75
呼出音量を変える 76
特定のドアホンやカメラの着信を受けたくないとき(鳴り分け設定) 77
ドアホン親機の機能設定のしかた 78
ドアホン親機の機能設定一覧 78
子機の機能設定のしかた 84
子機の機能設定一覧 84

必要なとき

子機を増やす(増設)・増設モニターを接続して使う 86
ワイヤレス子機をドアホン親機に登録するとき 86
増設モニターをドアホン親機に登録するとき 86
中継アンテナを使用する 87
使わなくなった機器を減設する 89
SDカードの操作(フォーマット・録画データのコピー・パソコン再生) 90
仕 様 92
別売品・連携できる機器一覧 94
子機の電話機能の制限について 97
商標・ライセンスについて 98

困ったとき

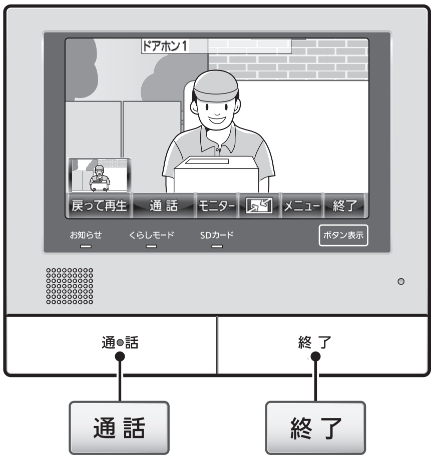
困ったとき 99
こんな表示が出たら 106
保証とアフターサービス 110
よくあるご質問 112
さくいん 114

使ってみましょう

ご使用前に必ず、子機の充電とドアホン親機の日時設定をしてください。（P.20、21）

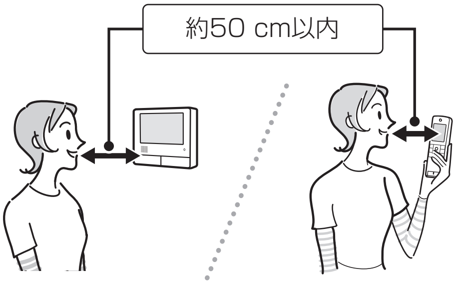
● 来客の呼び出しに応答する

ドアホン親機も子機も、操作は同じです。



1 ピーンポーンと鳴ったら、［通 話］を押し、相手と話す

● 相手と交互に話してください。
同時に話すと声が途切れます。



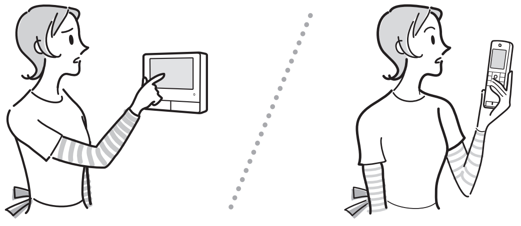
2 終わったら、［終 了］を押す

お知らせ

● ドアホン親機で応答するとき
手順1や2では、画面に表示される[通話]や[終了]をタッチすることもできます。

● 玄関(ドアホン側)をモニターする

玄関(ドアホン側)の様子を、映像と音で確認できます。(室内の声は外に聞こえません)

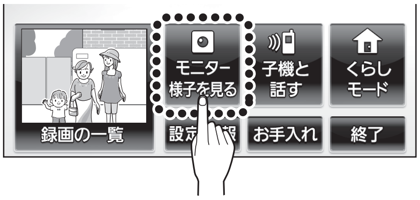


ドアホン親機の場合

1 画面をタッチして
トップメニューを表示させる

2 [モニター様子を見る]を
タッチする

● 映像が映り、周囲の音が聞こえます。

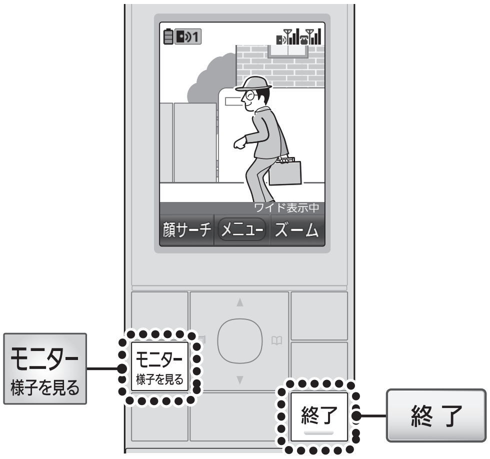


3 確認が終わったら、
終了 を押す

子機の場合

1 モニター様子を見る を押す

● 映像が映り、周囲の音が聞こえます。



2 確認が終わったら、
終了 を押す

お知らせ

● ドアホンが複数あるときや、別売のカメラを接続しているときは操作が異なります。
詳しくは(P.23)

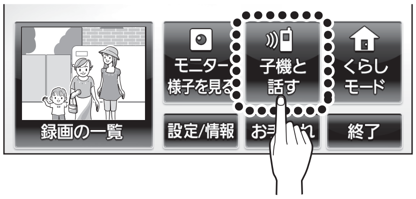
● ドアホン親機から子機を呼び出す

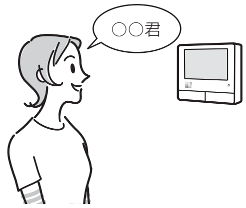
VL-SVDシリーズ(子機なしモデル)の場合、別売の子機を増設すると、この機能が使えます。

呼び出す側

1 画面をタッチして
トップメニューを表示させる

2 [子機と話す]をタッチし、
「プー」音に続けて、相手に
呼びかける





● 相手が出たら、
通話もできます。

3 終わったら、[終了]を押す

受ける側

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、[通話]を押して話す

お知らせ

● 子機が複数あるときの操作や、子機からドアホン親機を呼び出すときの操作は(P.24)

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

〈 電池パックについて 〉

液もれ・発熱・破裂を防ぐために

禁止

■ **分解・改造しない**

■ **指定の電池パック以外は使用しない**

■ **付属の電池パックを、この機器以外に使用しない**

■ **火の中に捨てたり加熱しない**

■ **端子を金属などに接触させない**

■ **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない**

■ **専用の充電台を使用して指定の電池パックを充電する**

事故を防ぐために

禁止

■ **液もれしたとき、"液" に触れたり目に入れない**

（目に入ると、失明の原因）

➔ 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

火災・感電などを防ぐために

禁止

■ **分解・修理・改造しない**

➔ 修理は販売店へご相談ください。

■ **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

■ **雷が鳴ったら、ドアホン親機・充電台・電源プラグに触れない**

■ **湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない**

■ **電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**

- 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える（無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）

➔ 修理は販売店にご相談ください。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない**

（たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因）

■ **機器内部に金属物を入れない**

➔ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ **機器（子機用充電台や電源コードを含む）に水をかけたり、ぬらしたりしない**

➔ ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ **本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない**

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**

（差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因）

➔ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

安全上のご注意（つづき）

必ずお守りください

⚠ 警告

火災・感電などを防ぐために

■ **電源プラグのほこりなどは定期的にとる**
（プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因）
➔ 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ **煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る**
（そのまま使用すると、火災や感電の原因）
➔ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■ **電源プラグを抜くときは、プラグ本体（金属でない部分）を持って抜く**
（コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因）

事故などを防ぐために

禁止

■ **SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**
（誤って飲み込むおそれあり）
➔ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ **医療機器の近くでの設置や使用をしない※1**
- 手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない

■ **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※1**

（※1本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

■ **ケーブルを引っ張ったり、ぶら下がったり、コネクター部に無理な力を加えない**

⚠ 警告

事故などを防ぐために

■ **心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す**
（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり）

⚠ 注意

事故・けが・財産の損害などを防ぐために

禁止

■ **不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない**
（落下による破損やけがの原因）

■ **スピーカーに耳を近づけて使用しない**
（急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり）

■ **子機用充電台にコインや指輪などの金属物を載せない**
（金属物が熱くなり、やけどの原因）

■ **子機用充電台に磁気に弱いもの（キャッシュカード、通帳など）を近づけない**
（子機用充電台からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります）

■ **子機を壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける**
（落下による、破損やけがの原因）
➔ 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

使用上のお願い

子機をこんなところに設置しない

- 火気・熱器具の近く（変形や故障の原因）
- 直射日光の当たるところ・冷暖房機の近く
  （誤動作・変形・故障の原因）
- 温度変化が激しいところ
  （結露による誤動作の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く
  （ノイズ発生の原因）
- CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く（CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
  - 受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合（P.105）

お願い

- ドアホンやドアホン親機の設置場所は、施工説明書をよくお読みください。

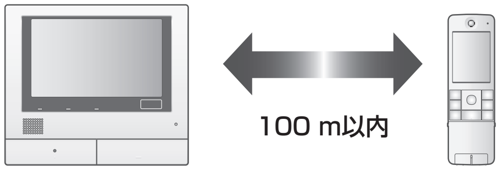
電源プラグを差し込む位置は…

電源プラグは、各機器の設置場所の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。

充電台は…

- AMラジオの近くに置かないでください。
  （AMラジオで雑音が聞こえる原因）
- テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かないでください。
  （充電できないことがあります）

子機の使用可能距離は…



（間に障害物がない場合）

- 子機での通話について
  - デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
  - 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

ドアホン親機・子機間の通信について

- 距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。（子機では、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が圏外となって使えないことがあります）
  - 金属製のドアや雨戸
  - アルミはく入りの断熱材が入った壁
  - コンクリートやトタン製の壁
  - 複層ガラスの窓
  - 壁を何枚もへだてたところ
  - 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき
- 上記のような場合は、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。（P.87、94）

電波について

- **本機は、1,895.616～1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です。**
  本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。（一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

  1.9ーD

- **J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。**
  同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

  J-DECT

- **本機の使用周波数に関わるご注意**
  本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
  1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(P.110、裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（P.110、裏表紙）へお問い合わせください。

使用上のお願い（つづき）

個人情報について

本機には、下記のような個人情報が記録されます。

- ドアホン親機の本体メモリー（内蔵）やSDカード
  ➔ 来客映像などの録画・録音データ
- ドアホン/電話両用子機（付属品/別売品）の本体メモリー
  ➔ お客様自身で登録した電話番号や氏名など、電話帳データ

これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の録画データは、修理依頼の前に必要に応じてSDカードにコピーし、ドアホン親機から必ず取り出して保管ください。また、子機の電話帳データはメモを取るなどして保管ください。
- データの保管後、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「初期化」をしてください。※1
  - 初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます。
  - 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

- ご使用のSDカードはドアホン親機から取り出し、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「初期化」をしてください。※1
  （初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます）
  - SDカードも廃棄・譲渡するときは（P.14）

※1 「初期化」について
- ドアホン親機の場合
  「親機の初期化」の「出荷時に戻す」を行う（P.83）
- 子機の場合
  「設定の初期化」を行う（P.85）

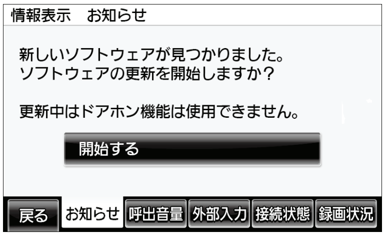
プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

「ソフトウェアの更新通知」機能について

本機のソフトウェアの更新が必要かどうかを定期的にチェックし、更新が必要なときに、下記のお知らせ画面で通知する機能です。（本機をインターネットに接続してご使用の場合に利用できます）



- このお知らせが出たときは、画面表示に従ってソフトウェアを更新してください。
  （更新時間は、接続環境によって異なりますが、約10分以上かかることがあります）
- この機能を使う場合、ソフトウェアの更新が必要かどうかを確認するため、ソフトウェアを管理している専用サーバーに対して、ドアホン親機のMACアドレスとバージョン情報を定期的に送信します。
  更新通知が不要な方は、「ソフトウェアの更新通知」の設定を「しない」にしてください。（P.82）

セキュリティに関するお願い

LANケーブル（市販品）を使って、本機を他機器（カメラ・テレビ・レコーダー）と連携させたり、本機をインターネットに接続して利用するときは下記の注意が必要です。

- **イーサネット上で送受信される映像などのデータは、暗号化されていません。**
  本機をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。
  - 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい（ドアホン映像データなどの通信内容）
  - 悪意の第三者による本機の不正操作
  - 悪意の第三者による本機の妨害や停止
- **本機をインターネットに接続してご使用になる場合は、十分なセキュリティ対策を行ってください。**※1
  セキュリティ対策は下記のとおりです。
  - ルーターの取扱説明書に従って、適切なセキュリティ設定（ファイアウォール設定など）を行う
  - 無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行う
- **セキュリティに関する設定を行わずに使用された場合に発生した、セキュリティの問題および、これによって生じた損害に対し、当社は責任を負いかねます。**
- **以下のような場合は、本機を初期化してください。(P.83、85)**
  - 当社が関与できない外部業者に、修理を依頼されるとき
  - 他人に譲渡するとき
  - 本機を廃棄するとき

※1 セキュリティに関する設定を行わずに使用した場合に生じる問題を、十分理解されたうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、ルーターや無線LAN製品を使用されることをお勧めします。

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈子機（本体）を拭くとき〉

誤操作防止のため、電池パックを抜いてください。

〈電源プラグや子機の充電台を拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

〈ドアホン親機のタッチパネルを拭くとき〉

- 下記の操作をすると、電源プラグをコンセントから抜かずにお手入れできます。
  1. トップメニューの［お手入れ］をタッチする
     - お手入れの画面が表示されます。
  2. 画面表示中（約90秒間）に、画面を拭く
  3. 終わったら、［終了］を押す
- タッチパネルの汚れは、乾いた柔らかい布を使い、爪を立てずに指の腹で押さえ軽く拭いてください。

お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
- 施工説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

SDカードについて

本機では、SDカードを使ってドアホンの映像や通話の内容、カメラの映像や音声を録画・録音できます。(P.27、51)
SDカードを使用しない場合は、ドアホン映像のみをドアホン親機の本体メモリーに録画できますが、録画件数などの制約があるため、SDカードのご使用をお勧めします。

- 本機にはSDカードは付属されていません。
- ご使用の際は、パナソニック製品をお買い求めいただくことをお勧めします。

本機で使えるSDカード

本機はSD規格に準拠したSDメモリーカードに対応しています。(本書ではSDメモリーカードを総称して「SDカード」と記載しています)

- 対応のSDカードの詳細は(P.92)
- SDカードの容量と録画件数の目安は(P.26)

SDカードの取り扱いについて

■ 大切なデータを保護するために

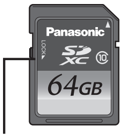
データの読み出し中や書き込み中は、ドアホン親機のSDカードランプ(P.16)が点滅します。
点滅中はSDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ(P.16)を押したりしないでください。
(データが破壊されることがあります)
また、電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などによって、SDカード内のデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

> データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機でフォーマットしないと使えません。
  大切なデータはパソコンなどに保存したあとフォーマットしてください。(P.90)

■ SD カードの書き込み禁止スイッチについて

書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、録画や消去、フォーマットなどができなくなります。



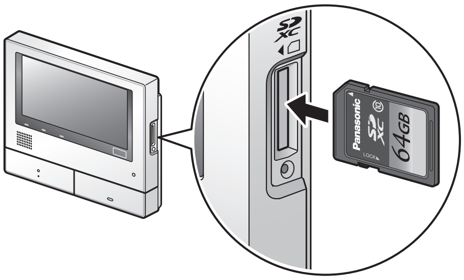
書き込み禁止スイッチ

SDカードを入れる／取り出す

SDカードは、ドアホン親機の画面が消灯している状態で挿入してください。

1 SDカードをまっすぐ押し込む

- 斜めにカットされた角を上に向けて押し込んでください。



■ SD カードを取り出すとき

SDカードランプが消灯している状態で、SDカードの中央部分を押して、取り出してください。

お願い

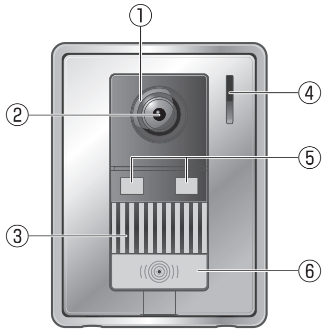
- SDカードの裏の接続端子部に触れないでください。

SDカードを廃棄・譲渡するとき

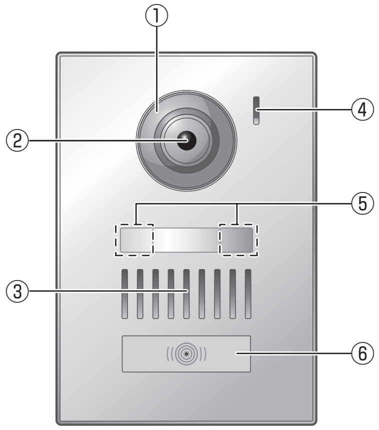
SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。
本機やパソコンによる「フォーマット」や「消去・削除」では、SDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、パソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
また廃棄の際は、SDカードを物理的に破壊するか、SDカード内のデータを完全に消去して、地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

各部のなまえとはたらき(ドアホン)

■ VL-V571L



■ VL-V554L



①レンズカバー

②カメラレンズ

③スピーカー

④マイク

⑤LEDライト(照明用)

⑥呼出ボタン・ランプ(ボタン中央:赤)
押し続けながら話すと、「ただいまコール」がはたらきます。

ただいまコールについて

相手が応答しなくても「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

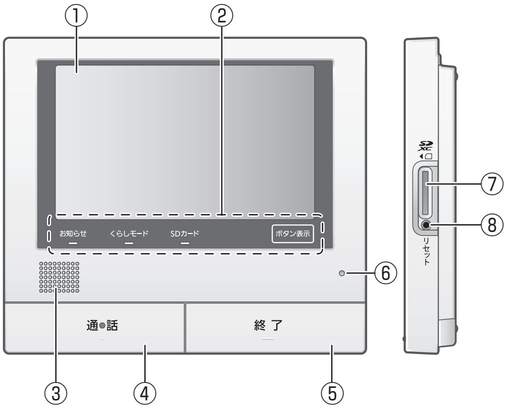
1 呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかけ、終わったら指を離す

- 呼びかけの声は、ドアホン親機にのみ聞こえます。
- ドアホン親機から聞こえる声の大きさはドアホンの呼出音量の設定(P.76)に連動します。(「切」設定中は、音量「小」で聞こえます)

ドアホンの画質について

設置環境や使用する時間帯によって、ドアホンの映像(画質)が異なります。
詳しくは(P.99)

各部のなまえとはたらき(ドアホン親機)



①液晶ディスプレイ(タッチパネル)

②ランプとボタン

■ お知らせランプ(青)

新しく録画した未確認画像や、確認してほしいお知らせがあるときに点滅します。

- ランプの点滅は、画面にタッチしてトップメニューを表示すると消灯します。

■ くらしモードランプ

くらしモード(P.32)の設定状態を表します。

- 在宅:消灯
- 夜間:青点灯
- 外出:赤点灯

■ SDカードランプ(青)

SDカードをご使用の場合に、データの読み出し中や書き込み中に点滅します。

■ [ボタン表示] ボタン

映像に重なって表示されるタッチボタンやアイコンを消すことができます。
(ボタンをタッチするごとに表示/非表示の切り替えができます)

③スピーカー

④通話ボタン・ランプ(ボタン中央:青)

本書での表記: 通 話

ランプは、ドアホンや子機からの着信中に点滅、通話中は点灯します。

⑤終了ボタン

本書での表記: 終 了

⑥マイク

⑦SDカード挿入口

⑧リセットスイッチ

動作がおかしいときは、先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)

画面(タッチパネル)について

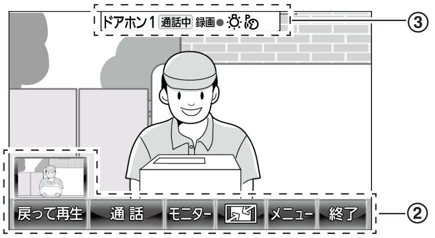
指で触れて操作します。

- **市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。**(誤動作の原因)
- タッチパネルは傷つきやすいので、ボールペンなど先端が硬く鋭利なものや爪先で操作しないでください。
- タッチパネルを強く押さえたり、こすったりしないでください。
- 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、タッチパネルの内側がくもったり露(水滴)が生じるおそれがあります。くもりや露(水滴)が消えるまで操作しないでください。

■ トップメニュー

日時設定後に画面をタッチすると表示されます。
背景のデザインは、3か月ごとに自動で変わります。(4種類)

■ 映像表示画面



① **カレンダー表示部**

新しいお知らせがあるときは、下記の表示に変わります。
[確認する] をタッチして、詳細を確認してください。

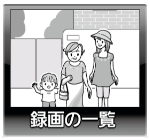
② **タッチボタン**

ボタンに直接タッチして操作します。(タッチしたボタンはオレンジ色に変わります)
表示されるボタン名は、場面に応じて変わります。

③ **状態表示アイコン**

現在の状態をアイコンなどで表示します(P.17)

■ トップメニューのボタンについて

ボタン	動作
	録画一覧を表示する（P.28） ● 新しく録画された未確認画像があるときは、ボタン上部に「新着の未確認あり」と表示されます。
モニター 様子を見る	ドアホン側やカメラ側をモニターする（P.23、48）
子機と 話す	子機を呼び出す（P.24）
くらし モード	くらしモード画面を表示する（P.32）
設定/情報	機能設定画面（P.78）や、情報表示画面（P.64）を表示する
お手入れ	お手入れ画面を表示する（P.13）
終了	操作を終了する

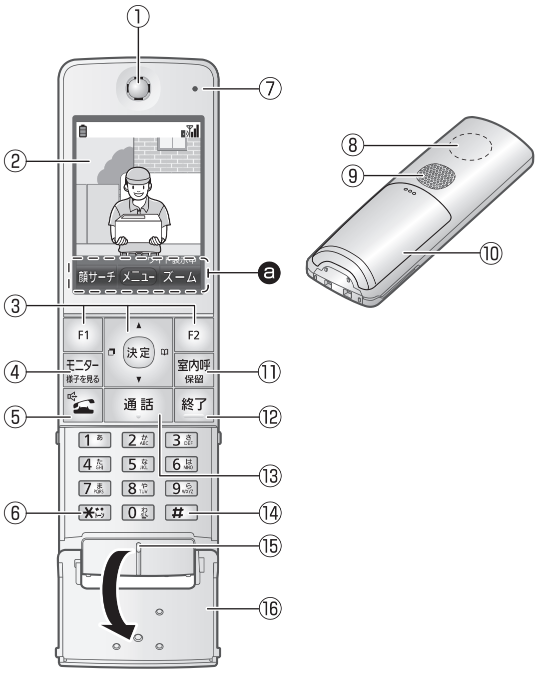
■ 映像表示画面の主なボタンについて

ボタン	動作
	戻って再生画面を表示する（P.72）
通 話	表示中の相手と通話する
モニター	表示中の相手をモニターする（映像と音声で確認する）
通話転送	ドアホン通話を子機に転送する（P.25）
メニュー	音や表示の設定メニューを表示する（P.74）
	ワイド表示を全体表示にする（P.73）
録画	表示中の映像を録画する（P.27）
戻る	前の画面に戻る

■ 状態表示アイコンについて

アイコン	意味
ドアホン 1～3	着信中・通話中・モニター中のドアホン（「1」～「3」は機器番号）
カメラ 1～4	着信中・モニター中のカメラ（「1」～「4」は機器番号）
通話中	ドアホンとの通話中
ﾓﾆﾀｰ中	ドアホン側やカメラ側をモニター中
録画●	録画中
	ドアホンの照明がON（P.74）
	プレストーク通話中（P.22）

各部のなまえとはたらき（子機）



①受話口

②液晶ディスプレイ

③マルチファンクションキー

画面下部 a に表示された機能を操作したり、画面上の項目を選択するときに使います。

- a には F1 、決定 、F2 で操作できる機能が表示されます。

  本書の表記例： F1（顔サーチ）
  決定（メニュー）
  F2（ズーム）

- ◀ ▲ ▼ ▶ に表示される▲は、決定 で使えるキーの向きを表します。
- 決定 のその他の機能
  - ：音量調整
  - ：電話帳（P.36、39）※1
  - ：再ダイヤル（P.35）※1

④モニター（様子を見る）ボタン

ドアホン側やカメラ側をモニターします。（P.23、48）

⑤外線・スピーカーホンボタン※1

電話をかけたり、スピーカーホン通話するときに使います。

⑥スター（⁎）ボタン ※1

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときなどに使います。（トーン：P.35）

⑦充電ランプ

充電中に点灯します。（P.20）

⑧アンテナ部（内蔵）

使用中、手でおおわないでください。
（電波の状態が悪くなります）

⑨スピーカー

⑩電池カバー

電池パックを入れたり、交換するときに開けます。（P.20）

⑪室内呼・保留ボタン

- 室内の相手を呼び出します。
  （ドアホンの室内呼：P.24）
  （電話内線：P.36）※1
- 外線通話を保留します。（P.37）※1

⑫終了ボタン

本書での表記：終了

⑬通話ボタン

本書での表記：通話

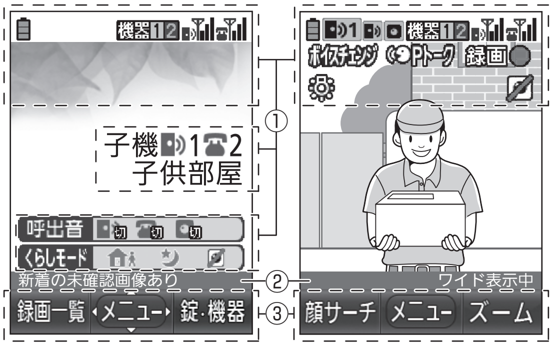
⑭シャープ（＃）ボタン

⑮マイク（送話口）

⑯フリップ

※1　電話の機能です。（電話/ファクスに増設すると使えます）

画面について



待ち受け画面　　映像表示画面

① 状態表示アイコン
現在の状態をアイコンなどで表示します。(下記)

② お知らせしたい内容、現在の状態説明、操作の案内などを表示します。

③ マルチファンクションキー(F1 、 決定 、 F2)で操作できる機能などを表示します。

■ 状態表示アイコンについて

アイコン	意味
(電池アイコン)	電池残量の目安(P.20)
機器12	電気錠やエアコンなどの現在の状態(P.62)
(ドアホン電波アイコン) (電話電波アイコン)※1	(ドアホン電波アイコン): ドアホン親機からの電波の状態 (電話電波アイコン): 電話/ファクス親機からの電波の状態 電波状態表示 強い　弱い　圏外 この範囲でご使用ください ● 電波が弱いときや圏外のときは親機に近づけてください。
(ドアホン)1	ドアホン親機に対する子機番号
(電話)2 ※1	電話/ファクス親機に対する子機番号
子供部屋(例)	機能設定で登録した「電話子機の名前」(P.84)
(ドアホン)切	ドアホンの呼出音量が「切」
(電話)切 ※1	電話(外線)の呼出音量が「切」
(カメラ)切	カメラの呼出音量が「切」

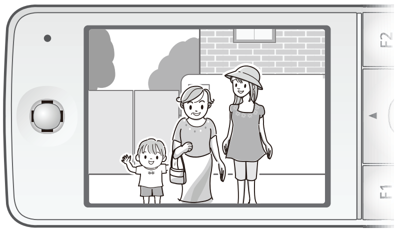
アイコン	意味
(外出アイコン)	くらしモードが「外出」
(夜間アイコン)	くらしモードが「夜間」
(休止アイコン)	カメラ(センサー検知)が休止中
(ドアホン)1	映像表示中(着信中・通話中・モニター中)のドアホン番号(「1」は機器番号)
(カメラ)1	映像表示中(着信中・モニター中)のカメラ番号(「1」は機器番号)
(ドアホン)	他機器と通話中・モニター中に、別のドアホンから呼び出し中(P.66)
(カメラ)	他機器と通話中・モニター中に、別のカメラから呼び出し中(P.66)
ボイスチェンジ	ボイスチェンジ中(P.37、74)
PTトーク	プレストーク通話中(P.22)
録画●	録画中
(照明アイコン)	ドアホンの照明が「ON」(P.74)
SPホン ※1	スピーカーホン通話中(P.36)
ミュート ※1	ミュート中(P.36)
録音● ※1	外線通話の録音中(P.37)

※1　電話の機能を利用(電話/ファクスに増設)したときのみ表示されます。

横画面表示について

映像表示画面で子機を横にすると、子機の持ち方に合わせて画面も回転します。このとき、縦画面で表示されているアイコンなどが消えるので、映像全体が見やすくなります。

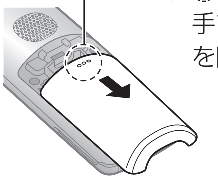
● 横画面表示中、マルチファンクションキー(P.18)は使えません。



子機を設置・充電する

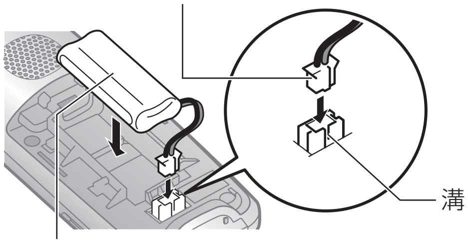
電池パックの取り付けと充電

1　電池パックを入れる



① ◌部を押し下げながら手前に引き、電池カバーを開ける

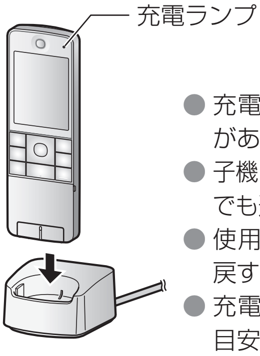
② コネクターを溝に合わせて差し込み、電池パックを入れる



フィルムをはがさないでください。

③ 電池カバーを元のように閉める

2　電源コンセント(AC100 V)に接続した充電台に子機を置き、約10時間充電する



充 電 中:	**点灯**
充電完了:	**消灯**

- 充電時間は長くなることがあります。(P.93)
- 子機は充電台に置いたままでも過充電されません。
- 使用後は充電台に子機を戻すことをお勧めします。
- 充電完了後の使用時間の目安について(P.93)

■ **電池残量の目安**

			(点滅)
多い	中くらい	少ない	充電が必要

お願い

- 1週間以上、子機を充電台から外したり、電源プラグを抜くときは、電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため電池パックを外してください。(次に使うときは充電してください。)

電池パックの交換について

電池パックは消耗品です。約10時間充電しても通話数分後に電池残量表示( )が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

■ **交換の際は、別売品「KX-FAN57」(P.94)をお使いください**(仕様:ニッケル水素電池、DC 2.4 V、630 mAh)

■ **古い電池パックはリサイクルに…**

Ni-MH

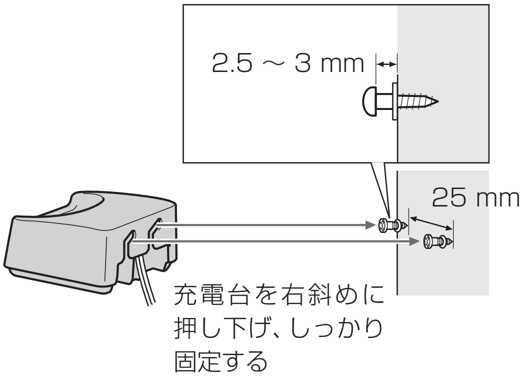
- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープをはるかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
  - 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
  - 一般社団法人JBRC および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

一般社団法人JBRC のホームページ http://www.jbrc.net/hp/

- リサイクル時のお願い
  - 電池パックはショートしないようにしてください。 火災・感電の原因になります。
  - 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
  - 電池パックを分解しないでください。

充電台を壁(柱)に掛けるとき

壁掛け時の注意(P.10)をよくお読みのうえ、取り付けてください。



日時（時計）を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。必ず設定してください。（未設定時は「お知らせランプ」が点滅し、画面をタッチしたときに日時設定を促すお知らせ画面が表示されます）

1 **お知らせ画面の［日時を設定する］をタッチする**

2 **［+］または［−］をタッチして日時を合わせる**

● ［+］または［−］をタッチし続けると数字が早く切り替わります。

3 **日時を合わせたら、［決定］をタッチする**

お知らせ

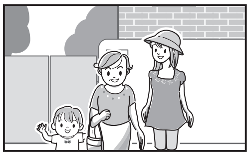
● 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
● 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。
● 日時の変更は、機能設定の「日時設定」で行います。（P.78）

ワイド／ズーム設定をする

ドアホンの映像を画面に映し出すときの、表示のしかたを設定します。

● 来客時やモニター時の表示について、それぞれ、下記の3つから選んで設定できます。
● 設定はドアホン親機で行います。

ワイド表示

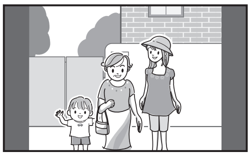


（お買い上げ時の設定）

ズーム表示

（ワイド表示の約2倍）

全体表示



（ドアホン親機のみ）

（ワイド表示の場合、ドアホン親機では全体表示に比べて、上下の映像が少し切れます。）

1 **トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［最初の設定］→［ワイド／ズーム設定］→設定するドアホンをタッチする**

2 **［来客時］または［モニター時］をタッチし、表示のしかた（ズーム、ワイド、全体）をタッチする**

3 **終わったら、［終了］を押す**

お知らせ

● 「ズーム」に設定したとき
- 録画の際は、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
- ドアホンの設置場所によっては、来客が画面の端に映ったり、画面に映りきらない場合があります。「ズーム位置設定」でズーム位置を調整してください。

ズーム位置設定をする

ドアホンの映像を画面にズームで映し出すとき、映像のどの位置をズームするかを設定します。

● 人物がなるべく中心に映るような位置を設定してください。
● 設定はドアホン親機で行います。

1 **トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［最初の設定］→［ズーム位置設定］→設定するドアホンをタッチする**

● 現在のドアホン映像がワイドで表示されます。

2 **ズームで映したい位置をタッチし、［この位置に決定］をタッチする**

来客の呼び出しに応答する

ドアホンの呼出ボタンが押されると呼出音が鳴り、相手の映像が映ります。
応答すると、最大約2分間、通話ができます。

基本の受けかた

「使ってみましょう」(P.6)とあわせて、お読みください。

1　呼出音が鳴ったら、[通話]を押し、相手と話す

2　終わったら、[終了]を押す

ボタンを押さずに声で応答する（音声応答）

ドアホン親機のみ

「音声応答」(P.79)の設定をしておくと、声で応答できます。

1　呼出音が鳴ったら、「はーい」などの声で応答し、相手と話す

2　終わったら、[終了]を押す

お知らせ

- 着信(ドアホンからの呼び出し)は約30秒です。
- 通話時は、マイクから約50 cm以内で相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。
- ドアホン親機の場合、通話時間が約1分近くになると、通話を続けるかの確認画面が表示されます。
  [通話を続ける]をタッチすると、約1分延長できます。
- 音声応答設定時は、周囲音（ペットの鳴き声、テレビの音、子機の呼出音など）に反応して応答してしまうことがあります。
- 「ただいまコール」(P.15)の呼びかけには、音声応答できません。
- 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。
  ドアホンの周囲で「ブー」「ザー」のように一定の連続音が聞こえるような環境では、「屋外ノイズ軽減」の設定を「ON」にすると、通話の途切れを改善できることがあります。(P.79)
  ただし、この設定は非連続の音(車や電車、ペットの鳴き声など)や、室内側の音には効果がありません。(このようなときは、下記のプレストーク通話をお使いください)

周囲が騒がしく話しにくいとき(プレストーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式です。
自分や相手の周囲が騒がしいときでも、声が伝わりやすくなります。

1　通話中、「ピッ」と鳴るまで[通話]を約2秒間押す

- (子機では)が表示され、プレストーク通話に切り替わります。

2　相手と話す

■ 話すとき(送話)

[通話]を押したまま話す(押している間、相手の声は聞こえません)

■ 聞くとき(受話)

[通話]から指を離す(こちらの声は相手に聞こえません)

玄関（ドアホン側）をモニターする

玄関の様子を、映像と音で確認できます。(最大約３分)

- モニター中、室内の声は玄関側（ドアホン側）には聞こえません。
- 「使ってみましょう」(P.7)とあわせて、お読みください。

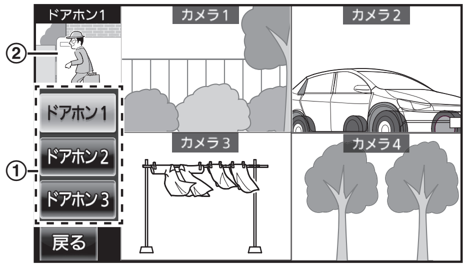
ドアホン親機の場合

1　トップメニューの[モニター様子を見る]をタッチする

■ **下の画面が出たときは**
①(ドアホン番号)→②(映像)の順にタッチして、モニターしたいドアホンを選ぶ

（例：ドアホンが複数あるとき）

（例：ドアホンとカメラがあるとき）



2　モニター先の映像と音声を確認する

3　終わったら、[終 了]を押す

子機の場合

1　[モニター 様子を見る]を押す

■ **下の画面が出たときは**
[▲▼]でモニターしたいドアホンを選び、[決定]を押す

2　モニター先の映像と音声を確認する

3　終わったら、[終 了]を押す

お知らせ

- モニター中に、[通 話]を押して相手に話しかけることもできます。
- ドアホン親機の場合、モニター中に何も操作をしないと約90秒でモニター画面が終了します。（ズーム表示するなど、何か操作をすると最大約3分まで延長されます）

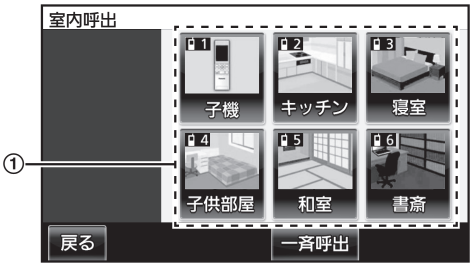
室内の相手を呼び出す

「使ってみましょう」(P.8)もあわせてお読みください。
VL-SVDシリーズ(子機なしモデル)の場合、別売の子機を増設すると、この機能が使えます。

ドアホン親機から子機を呼び出す

1 トップメニューの[子機と話す]をタッチする

■ 下の画面が出たときは
相手(①)を選んでタッチする
● [一斉呼出]をタッチして、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 「プー」音に続けて相手に呼びかける
● 相手が出たら、通話もできます。

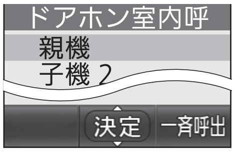
3 終わったら、[終了]を押す

子機からドアホン親機または別の子機を呼び出す

1 [室内呼 保留]を押す

■ 下の画面が出たときは
[▲▼]で[ドアホン室内呼]を選び、
[決定]を押す

■ 下の画面が出たときは
[▲▼]で相手を選び、[決定]を押す
● [F2]([一斉呼出])を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 「プー」音に続けて相手に呼びかける
● 相手が出たら、通話もできます。

3 終わったら、[終了]を押す

お知らせ

● 室内呼び出しは約30秒、室内通話は最大約60秒です。

室内呼び出しに応答するには

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、[通話]を押して話す

ドアホン通話を転送する

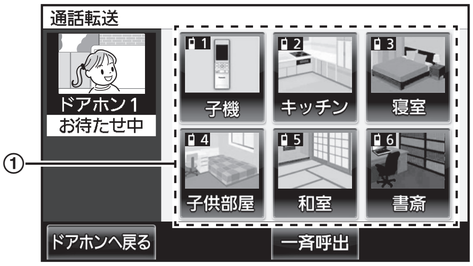
ドアホン通話中に、別の部屋にいる相手を呼び出し、通話を転送できます。
VL-SVDシリーズ(子機なしモデル)の場合、別売の子機を増設すると、この機能が使えます。

ドアホン親機から子機へ転送する

1 **ドアホン通話中に[通話転送]をタッチする**

■ **下の画面が出たときは**
相手(①)を選んでタッチする

● [一斉呼出]をタッチして、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 **「プー」音に続けて相手に呼びかける**

● 相手が出ないとき、ドアホン通話に戻るには、[来客と話す]をタッチする

3 **相手が出たら、通話を転送することを伝え、[子機で来客と話してもらう]をタッチする**

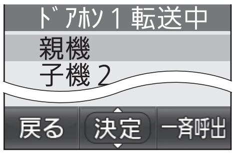
● 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できます。

子機からドアホン親機または別の子機へ転送する

1 **ドアホン通話中に [室内呼/保留] を押す**

■ **下の画面が出たときは**
[▲▼] で相手を選び、[決定] を押す

● [F2] ([一斉呼出]) を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 **「プー」音に続けて相手に呼びかける**

● 相手が出ないとき、ドアホン通話に戻るには、[通話] を押す

3 **相手が出たら、通話を転送することを伝え、[終了] を押す**

● 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できます。

お知らせ

● 室内通話中の音声は、ドアホン側には聞こえません。

ドアホン通話の転送を受けるには

1 **「プー」音や呼びかけが聞こえたら、[通話] を押し、転送元の相手と話す**

2 **転送元との室内通話が終了してドアホンの映像が映ったら、ドアホン側の相手と話す**

録画・録音機能について

本機では、SDカードまたは本体メモリー(ドアホン親機)を使って録画・録音を行います。
記録先(SDカード/本体メモリー)によって、記録できる内容や件数などが異なります。
(ドアホン通話の録音や、カメラ映像・音声の録画や録音は、SDカードがないとできません)

- SDカード挿入時は自動的に記録先がSDカードになります。(記録先は選べません)
- 使用可能なSDカードやSDカードの取り扱いについては(P.14、92)
- 本体メモリーに記録した画像はSDカードにコピーできます。(P.90)
- SDカードに記録した画像はパソコンで再生できます。(P.91)

SDカードと本体メモリーの録画仕様

内容 ＼ 記録先と録画対象機器		SDカード(2 GB～64 GB)		本体メモリー(SDカード未挿入時)
		ドアホン(1～3)	カメラ(1～4)	ドアホン(1～3)
最大録画件数		合わせて3000件※1		50件
最大保護件数		合わせて20件		20件
1件の録画内容	着信時(自動録画)	動画(最大約30秒)	動画＋音声(最大約30秒)	約1秒おきの静止画(最大8枚)
	モニター時(手動録画)			
	通話時※2	動画＋音声(最大約120秒)	—	録画できません

※1　録画件数は、SDカードの容量によって異なります。(件数の目安は下表)
※2　「ドアホン通話全記録」の設定が「する」のときに、自動録画します。(P.27、80)

録画がいっぱいになったとき(録画の自動更新)

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。
(手動で画像を消去しなくても、録画できます)
ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。(P.29)

SDカードの容量と録画件数の目安

下表は、未使用のSDカードに、お買い上げ時の設定(ドアホン着信自動録画「する」、ドアホン通話全記録「しない」、カメラ検知自動録画「する」)で録画をしたときの目安です。

録画内容 ＼ 容量	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
ドアホン録画のみ(映像のみ)	125件	255件	520件	1040件	2090件	3000件(最大件数)	
カメラ録画のみ(映像と音声)	135件	270件	550件	1100件	2200件	3000件(最大件数)	

- カメラをご使用の場合は、4 GB以上のSDカードをお使いいただくことをお勧めします。

ドアホンの録画・録音

着信時や通話時の録画（自動録画）

次の機能を使って、自動で録画できます。

ドアホン着信自動録画

来客から呼び出しがあると、約2秒後に相手の映像を自動で録画する機能です。

- お買い上げ時の設定：「する」(P.80)

ドアホン通話全記録（SDカード使用時のみ）

ドアホンとの通話を開始してから終了するまでの通話の内容（映像と会話）すべてを、SDカードに自動で録画・録音する機能です。

- お買い上げ時の設定：「しない」
- この機能を使うには設定変更が必要です。(P.80)

モニター時の録画（手動録画）

必要に応じて、手動で録画してください。

ドアホン親機の場合

1 モニター映像を表示中に、[録画]をタッチする

子機の場合

1 モニター映像を表示中に、［決定］（メニュー）を押す

2 ［▲▼］で[録画]を選び、［決定］を押す

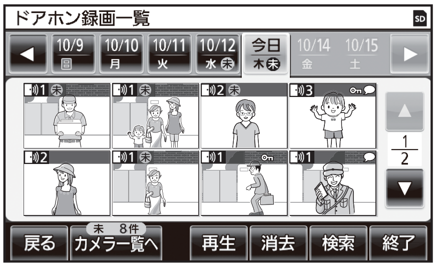
お知らせ

- 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。
- 1件あたりの録画内容は記録先（SDカード/本体メモリー）によって異なります。(P.26)
- 自動録画した画像のうち、留守などで呼び出しに応答しなかったときの着信画像は未確認画像として記録され、次のように通知されます。（その他の録画は、確認済み扱いになります）
  - ドアホン親機：お知らせランプが点滅し、トップメニューに「新着の未確認あり」を表示
  - 子機：待ち受け画面に「新着の未確認画像あり」を表示
- 「ドアホン着信自動録画」について
  ドアホンとの通話中やモニター中に別のドアホンから呼び出しがあったときは、今の通話やモニターを終わらせ、着信中のドアホン映像を画面に表示しないと録画されません。
- 「ドアホン着信自動録画」「ドアホン通話全記録」の設定をどちらも「する」にしているとき
  来客からの呼び出しに通話応答すると、着信から通話終了までを1件の動画として記録します。

ドアホン親機で録画を再生する

1 **トップメニューの [録画の一覧] をタッチする**

● 録画一覧画面が表示されます。

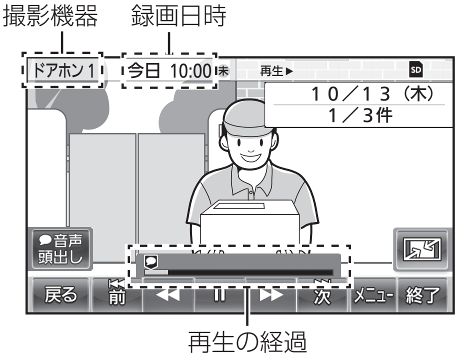


● カメラの録画一覧を見るには、[カメラ一覧へ] をタッチする

2 **録画を見たい日付ボタンをタッチし、[再生] をタッチする**

● 選んだ日付以降のすべての録画画像が、古い順に自動再生されます。

● [再生] の代わりに、表示画像を直接タッチすると、選んだ1件のみを再生できます。



3 **終わったら、[終了] を押す**

■ 録画一覧画面のボタンについて

ボタン	はたらき
◀ / ▶	前の週へ/次の週へ
▲ / ▼	前のページへ/次のページへ (録画件数が9件以上で表示)
戻る	トップメニューへ
カメラ一覧へ	カメラの録画一覧へ
ドアホン一覧へ	ドアホンの録画一覧へ
再生	選んだ日付以降の録画を すべて再生
消去	選んだ日付の録画(1日分)を消去
検索	検索メニューを表示(P.29)
終了	操作を終了

■ 画像再生中のボタンについて

ボタン	はたらき
戻る	録画一覧画面へ
⏮前 / ⏭次	前の件へ/次の件へ
コマ戻し / コマ送り	前のコマへ/次のコマへ
◀◀ / ▶▶	早戻し/早送り
Ⅱ	再生の一時停止
▶	再生の再開(停止位置から再開)
メニュー	保護や消去、再生音量や明るさを 設定するためのメニューを表示
(全画面アイコン)	全画面表示へ
(ワイドアイコン) / ワイド	ワイド表示へ
音声頭出し	音声の開始位置から再生
終了	操作を終了

■ 録画一覧や画像再生中のアイコンについて

アイコン	意味
SD	SDカード再生
未	未確認画像がある、 または未確認画像のとき
1	撮影機器(左の例はドアホン1)
1	撮影機器(左の例はカメラ1)
/ 保護	保護設定した画像
再生▶ 一時停止❚❚ 早戻し◀◀ 早送り▶▶	現在の再生状態 (再生中·一時停止中·早戻し中·早送り中)
消音	消音中
	録音あり

再生音量や画面の明るさを変える

1 **画像再生中に[メニュー]→[音量·明るさ]をタッチする**

2 **下記の操作をする**

■ **音量を変えるとき**

[小さく]または[大きく]をタッチする

● 音を消す(消音する)には、消音が表示されるまで[小さく]をタッチし続ける(解除するには[大きく]をタッチ)

■ **明るさを変えるとき**

[暗く]または[明るく]をタッチする

画像を保護する

最大保護件数は20件(P.26)

1 **画像再生中に[メニュー]→[保護]をタッチする**

保護解除するとき

1 **保護画像を再生中に[メニュー]→[保護解除]をタッチする**

画像を消去する

「画像全消去」もできます。(P.80)

再生中の画像を消去するとき

1 **画像再生中に[メニュー]→[消去]→[はい]をタッチする**

1日分をまとめて消去するとき

1 **録画一覧画面の日付ボタン→[消去]→[はい]をタッチする**

検索メニューを使って画像を探す

1 **録画一覧画面の[検索]をタッチする**

(例) SDカード使用時の検索メニュー

カレンダーボタン

● [カレンダー]または[カレンダー(カメラ)]と表示される場合もあります。

2 **検索方法を選んで操作する**

■ **カレンダーから探すとき**

① カレンダーボタンをタッチする

② カレンダーの中から、画像を探したい日付ボタンをタッチする

● 録画一覧画面が表示されます。(あとは28ページの手順2へ)

■ **保護画像から探すとき**

① [保護のみ表示]をタッチする

② 保護画像の中から、見たい画像をタッチする

子機で録画を再生する

1　待ち受け画面で F1 （録画一覧）を押す

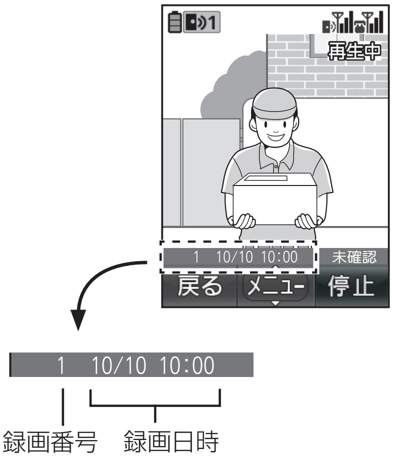
● 録画一覧画面が表示されます。

● カメラの録画一覧を見るには、
F2 （カメラ）を押す

2　▲▼ で録画を見たい日付を選び、 決定 を押す

3　決定 を押す

● 選んだ日付以降のすべての録画画像が、古い順に自動再生されます。



4　終わったら、 終了 を押す

■ 録画一覧画面のボタンについて

ボタン	はたらき
F2 （カメラ）	カメラの録画一覧へ
F2 （ドアホン）	ドアホンの録画一覧へ

■ 画像再生中のボタンについて

ボタン	はたらき
F1 （戻る）	録画一覧へ
決定 （メニュー）	保護や消去、再生音量や明るさを設定するためのメニューを表示
F2 （停止）	再生を停止
F2 （再生）	停止した画像の頭から再生を再開
▲ / ▼	前の件へ/次の件へ

■ 録画一覧や画像再生中のアイコンについて

アイコン	意味
未	未確認画像あり
ドアホン1	撮影機器（左の例はドアホン１）
カメラ1	撮影機器（左の例はカメラ１）
消音	消音中（P.31）
再生中	再生中
停止中	停止中
未確認	未確認画像
保護	保護設定した画像

再生音量や画面の明るさを変える

1 画像再生中に 決定 (メニュー)を押す

2 ▲▼ で変更する項目(音量/明るさ)を選び、決定 を押す

■ 音量を選んだとき

▲▼ で音量を変更する

● 音を消す(消音する)には、消音 が表示されるまで ▼ を押し続ける(解除するには ▲ を押す)

■ 明るさを選んだとき

◁▷ で明るさを変更する

画像を保護する

最大保護件数は、ドアホン親機側での設定と合わせて20件です。

1 画像再生中に 決定 (メニュー)を押し、▲▼ で[保護]を選んで 決定 を押す

保護解除するとき

1 保護画像を再生中に 決定 (メニュー)を押し、▲▼ で[保護解除]を選んで 決定 を押す

画像を消去する

子機では、再生中の画像のみ消去できます。

1 画像再生中に 決定 (メニュー)を押し、▲▼ で[一件消去]を選んで 決定 を押す

2 F1 (はい) を押す

お知らせ

● 画像再生中に 決定 (メニュー)を押して再生音量や明るさ変更などをした場合、設定が終わると、再度、再生中の画像の頭から再生を開始します。

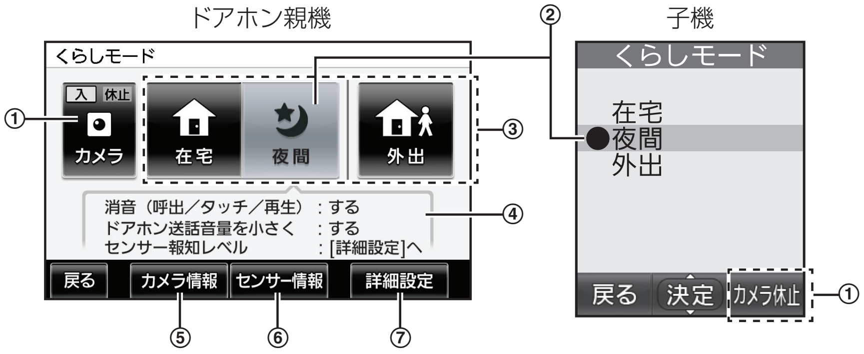
くらしモード（在宅/夜間/外出）について

くらしモードとは、在宅/夜間/外出の場面に合わせて、本システムの動作や設定を簡単に切り替えられる機能です。別売のカメラや窓/ドアセンサーと連携している場合に、より便利にお使いいただけます。

● 画面や説明は、カメラと窓/ドアセンサー利用時の状態を例にしています。

くらしモード画面について

くらしモード画面の表示のしかたは「くらしモードの切り替えかた」(P.33)を参照ください。



① カメラのセンサー検知（入/休止）の切り替え(P.49)
② 現在の設定モード（例：夜間）
③ 設定モードの切り替え
④ 選んだモードの設定状態
⑤ カメラ情報画面へ(P.50)
⑥ センサー情報画面へ(P.60)
⑦ モードの詳細設定画面へ(P.33)

在宅/夜間/外出モードのお買い上げ時の動作

	ドアホン/カメラから呼び出しがあると…	窓やドアが開いて、窓/ドアセンサーが反応すると…
在宅モード くらしモードランプ　**消灯**	• 呼出音が鳴り、映像が表示されます。	本機や窓/ドアセンサーは報知レベル「低い」で動作します。(★)
夜間モード くらしモードランプ　**青点灯**	• 呼出音は鳴りません。（★） • ドアホン通話時は、外に聞こえる送話音量が「小」になります。（★） • ドアホン親機では、操作時のタッチ確認音が鳴りません。（★）	
外出モード くらしモードランプ　**赤点灯**	• 呼出音が鳴り、映像が表示（★）されます。	本機や窓/ドアセンサーは報知レベル「高い」で動作します。(★)

● (★)印の設定は、くらしモードの詳細設定で変更できます。(P.33)

● 窓/ドアセンサーの報知レベルと動作について詳しくは(P.59)

くらしモードの切り替えかた

ドアホン親機の場合

1 トップメニューの[くらしモード]をタッチする

● くらしモード画面(P.32)が表示されます。

2 モードを選んでタッチする

3 終わったら、[終了]を押す

子機の場合

1 待ち受け画面で[決定](メニュー)を押し、[◀▶]で[ドアホン]メニューを開く

2 [▲▼]で[くらしモード]を選び、[決定]を押す

● くらしモード画面(P.32)が表示されます。

3 [▲▼]でモードを選び、[決定]を押す

4 終わったら、[終了]を押す

お知らせ

● 現在の設定状態によっては、モードの切り替え時にメッセージが表示されることがあります。このときは、メッセージに従って操作してください。

くらしモードの詳細設定を変更する

各モードの詳細設定をドアホン親機で変更できます。

1 くらしモード画面(P.32)で[詳細設定]→変更するモードをタッチする

2 設定項目の中から、変更する内容を選んでタッチする

夜間モードのタイマー設定をするには

毎日指定した時間帯に、自動で夜間モードに切り替わるよう、タイマー設定することができます。

1 くらしモード画面(P.32)で[詳細設定]→[夜間]→[タイマー設定]→[あり]をタッチする

2 [＋]または[－]をタッチして時間帯を指定し、[決定]をタッチする

● [＋]または[－]をタッチし続けると、数字が早く切り替わります。

■ タイマー設定を解除するには

上記手順1で[タイマー設定]を[なし]にする

[　]はお買い上げ時の設定

モード	設定できる内容	
在宅	センサー報知レベル	エリア1～3：OFF、[低い]、高い
夜間	タイマー動作	あり、[なし]
	消音(呼出/タッチ/再生)	[する]、しない
	ドアホン送話音量を小さく	[する]、しない
	センサー報知レベル	エリア1～3：OFF、[低い]、高い
外出	着信時に画面を表示	[する]、しない
	センサー報知レベル	エリア1～3：OFF、低い、[高い]

● センサー報知レベルは、窓/ドアセンサー使用時のみ設定できます。(P.59)

● 消音「する」設定で鳴らない音は

- ドアホンとカメラの呼出音
- ドアホン親機の操作中に、スピーカーから出る音(タッチ確認音、録画再生の音声など)

電話/ファクスとの連携について

電話/ファクスで来客応答(ドアホン通話)したり、VL-SWDシリーズに付属の子機(VL-WD614)を、電話/ファクスの子機として使うことができます。

● 連携できる電話/ファクスは1台のみ。(対応機種はP.95)
 電話/ファクスの説明書と合わせて、よくお読みください。
● 子機(VL-WD614)で利用できる電話機能は、連携する電話/ファクスによって異なります。(P.97)

電話/ファクスで来客応答ができるようにする(ワイヤレスアダプター機能登録)

ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で登録します。

電話/ファクス親機の操作(例:KX-PD703)

1 機能をタッチする

2 [#] [1] [6] [4] を押す

3 増設をタッチする

● 続けて、約2分以内にドアホン親機で下記の操作をしてください。

ドアホン親機の操作

4 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[登録/減設]→[登録]→[ワイヤレスアダプター機能]をタッチする

5 登録が終わったら、[終了] を押す

■ **登録完了後、すべてのドアホン(1～3)の呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認してください。**
● この操作をしないと、電話/ファクス親機からドアホンへの呼びかけができません。

子機(VL-WD614)で電話ができるようにする(電話/ファクス登録)

電話/ファクス親機へ子機を登録(増設)します。

● 登録操作中は、電話/ファクスの電話機コードを抜いてください。

電話/ファクス親機の操作(例:KX-PD703)

1 機能をタッチする

2 [#] [1] [2] [3] を押す

3 登録する子機番号をタッチする

● 続けて、約2分以内に子機で下記の操作をしてください。

子機の操作

4 待ち受け画面で [決定] (メニュー)を押し、[十字キー] で[設定]メニューを開く

5 [▲▼] で[子機増設]を選び、[決定] を押す

6 [▲▼] で[電話/ファクス]を選び、[決定] を押す

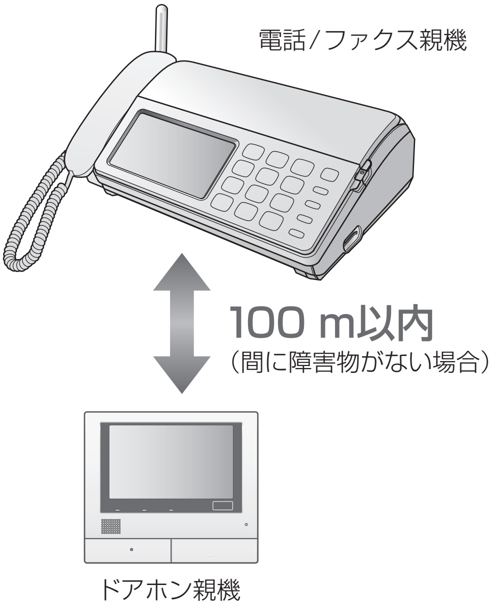
7 [決定] (登録)を押す

お知らせ

● ドアホンアダプター(VE-DA10/VE-DA10-H)を使って、ドアホン親機と電話/ファクス親機を接続することはできません。
● ワイヤレスアダプター機能で親機同士を登録しても、ドアホン親機と電話/ファクス間での内線通話や、ドアホン通話の転送はできません。
● 子機を電話/ファクス親機に登録(増設)した場合、登録後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。
(ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備をしているためで、故障ではありません)

電話/ファクス連携時のお願い

連携時は、電話/ファクス親機とドアホン親機間で電波を使って通信を行います。電話/ファクス親機は、できるだけドアホン親機の近く(電波の強い場所)に設置してください。



- ワイヤレスアダプター機能で親機同士を登録したときは、ドアホン親機の情報表示画面で電波状態を確認できます。(P.64)
- 次の場合は、電話/ファクスでのドアホン通話や子機の電話機能が使えないことがあります。
  - 親機同士が離れすぎている
  - 100 m以内でも、別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがある(P.11)
- 中継アンテナのご利用について
  - 親機間には中継アンテナは使えません。
  - 連携時は、中継アンテナの登録台数や登録番号が制限されます。(P.87)

電話をかける/受ける

基本のかけかた/受けかた

電話をかけるとき

1 [外線] を押し、「ツー」音が聞こえたら、フリップを開けてダイヤルする

2 通話が終わったら、[終了] を押す

■ **構内交換機に接続しているときのかけかた**
外線発信番号(例:「0」)→ [F1] (ポーズ)を押し、ダイヤルしてから [外線] を押す

■ **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき**
相手につながったあと、[＊](トーン)を押す

電話を受けるとき

1 呼出音が鳴ったら、[外線] を押す

2 通話が終わったら、[終了] を押す

同じ相手にもう一度かける(再ダイヤル)

10件まで記憶できます。

1 [▲] を押し、[▲▼] で相手を選ぶ

2 [外線] を押す

再ダイヤルの履歴を消去するには

1 上記の手順1を行う

2 [F2] (一件消去) → [F1] (はい)を押す

3 終わったら、[終了] を押す

電話をかける/受ける(つづき)

電話帳でかける

事前に電話帳の登録が必要です。(P.39)

1 📖 を押す

2 ▲▼ で検索方法を選び、決定 を押す

■ [一覧で探す]を選んだときは
手順3へ

■ [フリガナで探す]を選んだときは
フリガナを入力し、決定 を押す

● 文字入力のしかた(P.68)

■ [グループで探す]を選んだときは
▲▼ でグループを選び、決定 を押す

3 ▲▼ で相手を選び、📞 を押す

子機を机の上などに置いたままかける(スピーカーホン通話)

1 📞 を約2秒間押す

● SPホン が表示され、スピーカーホン通話に切り替わります。

2 フリップを開けてダイヤルし、送話口に向かって話す(約50 cm以内)

● 受話口での通話に切り替えるには、再度 📞 を約2秒間押す

● 天気予報など、相手の声を聞くだけの場合に、周囲の音で相手の声が途切れるときは、F2 (ミュート)を押す(ミュート と表示)

・ ミュートを解除するには
再度 F2 (ミュート)を押す

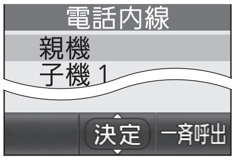
電話/ファクス親機や別の子機にかける(電話内線)

1 室内呼 保留 を押す

2 ▲▼ で[電話内線]を選び、決定 を押す

■ 下の画面が出たときは
▲▼ で相手を選び、決定 を押す

・ F2 (一斉呼出)を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



3 相手が出たら、話す

お知らせ

● 電話/ファクス親機で「内線呼出」設定を「音声」にしているときは、上記手順1〜2の操作後、呼出音が2回聞こえたら、相手に呼びかけてください。

電話内線の呼び出しを受けるとき

1 呼出音が鳴ったら、通話 を押して話す

外線通話中にできること

相手に待ってもらう（保留）

1 室内呼 保留 を押す

- 保留中は４秒ごとに「ピーッ」と鳴り、相手には、電話/ファクス親機で設定した保留メロディが流れます。
- 通話に戻るには、 を押す

キャッチホンを受ける（NTTとの契約が必要）

1 F1（キャッチ）を押す

- 元の通話に戻るには再度押す

通話を録音する（通話録音）

３者通話の録音はできません。

1 決定（メニュー）を押し、 で［通話録音］を選び、決定 を押す

2 相手に警告の音声を流すかどうかを選んで録音する

■ 警告の音声を流して録音するときは

F1（はい）を押す

■ 警告の音声を流さず録音するときは

F2（いいえ）を押す

- 録音中は、「録音●」が表示されます。
- 録音をやめるには、決定（メニュー）を押し、 で［録音中止］を選んで 決定 を押す

録音した通話の再生/消去について

録音した通話は、留守番電話の用件と一緒に、電話/ファクス親機に記録されます。
再生/消去のしかたは（P.41「用件を再生する」）

相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）

スピーカーホン通話中はできません。

1 決定（メニュー）を押し、 で［ボイスセレクト］を選び、決定 を押す

2 で音質を調整する

自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）

1 決定（メニュー）を押し、 で［ボイスチェンジ］を選び、決定 を押す

2 F1（はい）を押す

- ボイスチェンジ が表示されます。
- ボイスチェンジは通話が終わると解除されますが、通話中に解除するには、再度手順１～２の操作をしてください。

お知らせ

- 次の場合、ボイスチェンジは使えません。
  - 電話をかけたとき
  - 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
  - 並列電話機（電話/ファクスの取扱説明書参照）で受けた電話に、あとで子機で出たとき
  - 内線通話中のとき（P.36）
  - ３者通話中のとき（P.39）
  - 通話録音中のとき（P.37）

迷惑な電話をお断りする（通話拒否）

外線着信中や通話中の相手に、通話を拒否するメッセージを流して電話を切ることができます。
通話中は、チャイムを鳴らして来客があったようにして、電話を切ることもできます。

- キャッチホンで受けた電話には、この機能は使えません。

メッセージを流して通話を拒否する

外線着信中に拒否する場合

1 呼出音が鳴っているときに、F1（通話拒否）→ F1（はい）を押す

- 相手にメッセージが2回流れ、自動的に電話が切れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき（右上）

外線通話中に拒否する場合

1 通話中に、決定（メニュー）を押す

2 ▲▼で［通話拒否］を選び、決定を押す

3 ▲▼で［音声］を選び、決定を押す

- 相手にメッセージが2回流れ、自動的に電話が切れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき（右上）

チャイムを鳴らして通話を拒否する

1 外線通話中に、決定（メニュー）を押す

2 ▲▼で［通話拒否］を選び、決定を押す

3 ▲▼で［チャイム］を選び、決定を押す

- 相手にチャイムが聞こえます。
  （電話は切れません）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき（右上）

4 来客があったことにして電話を切る

通話拒否した相手の電話を次回から受けないようにする（ナンバー・ディスプレイサービスご利用時）

通話拒否した相手からの電話を、次回から受けないように設定できます。

1 通話拒否（左記）の操作後、電話を切る前に迷惑設定（または拒否設定）をするかどうかの確認メッセージが表示される

2 F1（はい）を押す

相手の声を確認して電話に出る（あんしん応答）

外線着信中に、相手に名前を尋ねるメッセージを流して相手の声を確認したあと、電話に出たり、電話を切ったりすることができます。

1 呼出音が鳴っているときに、F2（あんしん応答）を押す

- 名前を尋ねるメッセージが相手に流れます。

2 スピーカーから相手の声を聞いて、下記のいずれかの操作をする

■ **電話に出るとき**
スピーカーボタンを押す

■ **お断りのメッセージを流して電話を切るとき**
F1（おことわり）を押す

- 通話を拒否するメッセージが流れたあと、自動的に電話が切れます。

■ **もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき**
F2（くりかえし）を押す

■ **電話を切るとき**
終了を押す

電話をまわす/3者通話にする

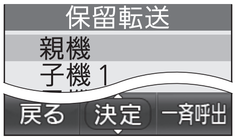
電話/ファクス親機や別の子機に電話をまわしたり、外の相手と3人で3者通話をすることができます。

1　外線通話中に [室内呼 保留] を押して保留にし、[F2]([内線呼出])を押す

■ 下の画面が出たときは

[▲▼] で相手を選び、[決定] を押す

● [F2]([一斉呼出])を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



2　相手が出たら、下記の操作をする

■ 電話をまわすとき

まわすことを伝え、[終了] を押す

■ 外の相手と3人で話すとき(3者通話)

3人で話すことを伝え、[室内呼 保留] を押す

お知らせ

● 電話をまわす相手が出ないとき、外線通話に戻るには、[外線] を押してください。

● 電話/ファクス親機で「内線呼出」設定を「音声」にしているときは、上記手順1の操作後、呼出音が2回聞こえたら、相手に呼びかけてください。

電話をまわす相手が近くにいるとき

1　外線通話中に [室内呼 保留] を押して保留にする

2　電話に出てほしい相手に声をかける

● 電話に出る人は、電話/ファクス親機の受話器を取る、または子機で外線ボタンを押すと、外の相手と通話できます。

電話帳に登録する

150件まで登録できます。

● 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)は登録済み。(修正・消去できます)

● 相手をグループ1〜9に分けて登録すると、電話をかけるときにグループ別に相手を探せます。

新規入力して電話帳に登録する

1　[電話帳] → [F1]([登録])を押す

2　フリップを開けて名前(全角10文字/半角20文字まで)を入力し、[決定] を押す

● 文字入力のしかた(P.68)

3　フリガナ(半角12文字まで)を確認し、間違っていれば修正して [決定] を押す

4　電話番号(24ケタまで)を市外局番から入力し、[決定] を押す

5　[▲▼] でグループを選び、[決定] を押す

● 続けて登録するときは、再度手順2へ

6　終わったら、[終了] を押す

登録した内容を確認するには

1　[電話帳] を押す

2　[▲▼] で[一覧で探す]を選び、[決定] を押す

3　[▲▼] で登録内容を確認する

● 選んだ相手の詳細内容も確認するには、[F1]([詳細])を押す

4　終わったら、[終了] を押す

電話帳を使って電話をかけるには

「電話帳でかける」(P.36)を参照ください。

電話帳に登録する(つづき)

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 を押す

2 で相手を選び、（登録）を押す

3 あとは、「新規入力して電話帳に登録する」(P.39)の手順2からの操作を行う

● 電話番号の入力は不要です。

電話帳を修正する

1 を押す

2 で[一覧で探す]を選び、を押す

3 で相手を選び、（修正）を押す

4 あとは、「新規入力して電話帳に登録する」(P.39)の手順2からの操作を行う

電話帳を消去する

「電話帳全消去」もできます。(P.85)

相手を選んで消去するとき

1 を押す

2 で[一覧で探す]を選び、を押す

3 で相手を選び、F2（一件消去）→F1（はい）を押す

4 終わったら、終了を押す

電話帳を転送する

電話/ファクス親機や別の子機に電話帳を転送できます。子機を電話/ファクス親機の近くに持ってきて、操作してください。

1 → F2（転送）を押す

2 で転送先を選び、を押す

3 で転送方法を選び、を押す

■ [個別]を選んだときは

で相手を選び、を押す

・ 続けて転送するにはこの操作を繰り返す

■ [一斉]を選んだときは

を押す

4 終わったら、終了を押す

お知らせ

● 機能設定メニュー(P.85)から[電話帳転送]を選んで操作することもできます。

ファクスを受ける

子機をファクスに登録したときは、子機でファクス受信の操作ができます。

1 呼出音が鳴ったら、を押す

2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき（メニュー）を押す

3 で[ファクス受信]を選び、を押す

留守番電話を使う

留守セットする／留守セットを解除して新しい用件を聞く

1 待ち受け画面で [決定] (メニュー) を押し、◀▶ で [電話] メニューを開く

2 ▲▼ で [留守操作] を選び、[決定] を押す

3 留守セットまたは解除の操作をする

■ 留守セットするとき
F2 (設定) を押す

■ 留守セットを解除して新しい用件を聞くとき
① F2 (解除) を押し、用件を聞く
② 再生後、用件消去のメッセージが出たら、
F1 (はい) を押し、用件を消す
● 用件を残すには F2 (いいえ) を押す

用件を再生する

留守セットしたまま、または留守セットしていないときに、新しい用件やすべての用件の再生ができます。(通話録音があるときは、同時に再生されます)

1 待ち受け画面で [決定] (メニュー) を押し、◀▶ で [電話] メニューを開く

2 ▲▼ で [留守操作] を選び、[決定] を押す

3 F1 (再生) を押す

4 ▲▼ で [新規のみ再生] または [すべて再生] を選び、[決定] を押す

5 再生後、用件消去のメッセージが出たら、F1 (はい) を押し、用件を消す

● 用件を残すには F2 (いいえ) を押す

再生中にできること

音量を変える	▲▼
前の用件を聞く、または再生中の用件の頭から聞き直す	◀
次の用件を聞く	▶
1件目の用件から聞き直す	F2 (最初へ)
再生を終わる (待ち受け画面に戻る)	F1 (停止)

■ フリップを開けて行う操作

再生中の用件を1件ずつ消す	＊ → 4 → F1 (はい)
一時停止／再開する	2
10秒戻る	7
30秒進む	8
再生中の用件をすべて消す	＊ → 5 → F1 (はい)
新しい用件を1件目の頭から聞き直す	4
すべての用件を1件目の頭から聞き直す	5

● 再生中に [決定] (ガイド) を押すと、上記の操作方法を画面で確認できます。

すべての用件を消去する

通話録音も含めてすべての用件が消去されます。

1 「用件を再生する」の手順1～3を行う

2 F2 (全消去) → F1 (はい) を押す

ナンバー・ディスプレイサービス

子機を登録した電話/ファクスでナンバー・ディスプレイサービスの契約をしている場合に利用できます。

ナンバー・ディスプレイサービスでは

電話がかかってくると、相手の電話番号を表示します。電話帳に登録した相手なら、名前と電話番号を表示します。

- 日時と電話番号は、電話/ファクス親機の着信履歴に記憶され、子機でも確認できます。
- 電話番号が表示できないときの表示について
  「非通知」: 相手が電話番号を通知していない
  「公衆電話」: 公衆電話から
  「表示圏外」: 海外など番号を通知できない電話
  (表示なし): 回線状態が悪い、または電話番号の信号が送られてきていない
- 「外線鳴り分け」(P.85)の設定をすると、かけてきた相手によって呼出音を変えられます。

着信履歴を確認する

1 待ち受け画面で [決定] (メニュー) を押し、[十字キー] で[電話]メニューを開く

2 [十字キー] で[着信履歴]を選び、[決定] を押す

- 電話に出なかった着信履歴の件数が表示されます。(例:「新規(⁎) 3件」)

3 [十字キー] を繰り返し押し、履歴を確認する

- 履歴に表示されるマーク
  ⁎: 電話に出なかったとき
  拒: 「迷惑設定」や「拒否設定」しているとき

4 終わったら、[終了] を押す

着信履歴から電話をかける

1 上記の手順1～3を行い、相手を選ぶ

2 [外線] を押す

着信履歴から電話帳に登録する/受けたくない電話を拒否設定する

1 「着信履歴を確認する」の手順1～3を行い、相手を選ぶ

2 目的に応じて下記の操作をする

■ 電話帳に登録するとき

① [決定] (メニュー) を押し、[十字キー] で[電話帳登録]を選んで [決定] を押す

② あとは、「新規入力して電話帳に登録する」(P.39)の手順2からの操作を行う

- 電話番号の入力は不要です。

■ 受けたくない電話を拒否設定するとき

① [決定] (メニュー) を押し、[十字キー] で[迷惑設定]または[拒否設定]を選ぶ

- [拒否設定]は非通知/公衆電話/表示圏外を選んだときに表示されます。

② [決定] → [F1] (はい) を押す

3 終わったら、[終了] を押す

着信履歴を消去する

1件ずつ消去するとき

1 「着信履歴を確認する」の手順1～3を行い、相手を選ぶ

2 [F2] (一件消去) → [F1] (はい) を押す

3 終わったら、[終了] を押す

すべての着信履歴を消去するとき

1 「着信履歴を確認する」の手順1～2を行う

2 [F2] (全消去) → [F1] (はい) を押す

電話/ファクスで
窓/ドアセンサーを登録して使っているとき

子機を登録した電話/ファクスに、窓/ドアセンサーが登録されているときは、窓やドアが開いてセンサーが反応したときに、子機で通知を受けたり、窓/ドアの開閉状態の確認や報知レベルの設定変更ができます。

● ドアセンサーに非対応の電話/ファクスに登録したときは、表示や操作の一部が異なります。

窓/ドアが開いたときの動作について

電話/ファクス側で設定した報知レベルによって動作が変わります。

● 子機で報知レベルの設定を変えることもできます。(右下)

報知レベル	子機の動作
高い	音と表示で約3分間お知らせ 音:プルルルプルルル(最大音量) 表示:開いた窓やドアの情報 〈ドアセンサーをご使用のとき〉 帰宅時などでドアを開けるときのため、最大音量で音が鳴るまでに、約3分間のドア予備報知時間(ピポピポ…と小さな音が鳴る)が設定されています。※1
低い	音(約3秒)と表示(約10秒)でお知らせ 音:ポンポンポンポン (外線の呼出音量に連動)※2 表示:開いた窓やドアの情報
留守	留守セットしているとき 報知レベル「高い」と同じ動作 留守セットしていないとき 報知レベル「低い」と同じ動作

※1 ドア予備報知時間は、電話/ファクス親機で設定変更できます。

※2 外線の呼出音量が「切」のときは、「小」の音量で鳴ります。

最大音量で鳴る音をすぐに止めるには

1 [F1]([停止])または[終了]を押す

お知らせ

● 音(報知音)が鳴っているときは、外線やドアホンから呼び出しがあっても、呼出音は鳴りません。

● 外線やドアホンなどとの通話中も、窓/ドアセンサーからの通知を受けることができます。

窓/ドアの開閉状態(センサー情報)を確認する

1 待ち受け画面で[決定]([メニュー])を押し、[◀▶]で[電話]メニューを開く

2 [▲▼]で[窓/ドアセンサー]を選び、[決定]を押す

3 [▲▼]で[センサー情報]を選び、[決定]を押す

● エリア(1～3)の状態が表示されます。
「全て閉」:すべての窓/ドアが閉まっている
「開あり」:開いている窓/ドアがある
「確認」:圏外や電池切れのセンサーがある

■「開あり」や「確認」の表示が出たときは
[▲▼]でエリアを選んで[決定]([詳細])を押し、個々の窓/ドアの状態を確認する

● 前/次ページを見るとき:[◀▶]

4 終わったら、[終了]を押す

■「圏外」と表示された窓/ドアがあったとき
電波が届いていないため、通信できません。
窓/ドアセンサーの状態を確認してください。

■「電池切」と表示された窓/ドアがあったとき
窓/ドアセンサーの電池を交換してください。

報知レベルの設定を変える

1 上記の手順1～2を行う

2 [▲▼]で[報知レベル設定]を選び、[決定]を押す

3 [▲▼]でエリアを選び、[決定]を押す

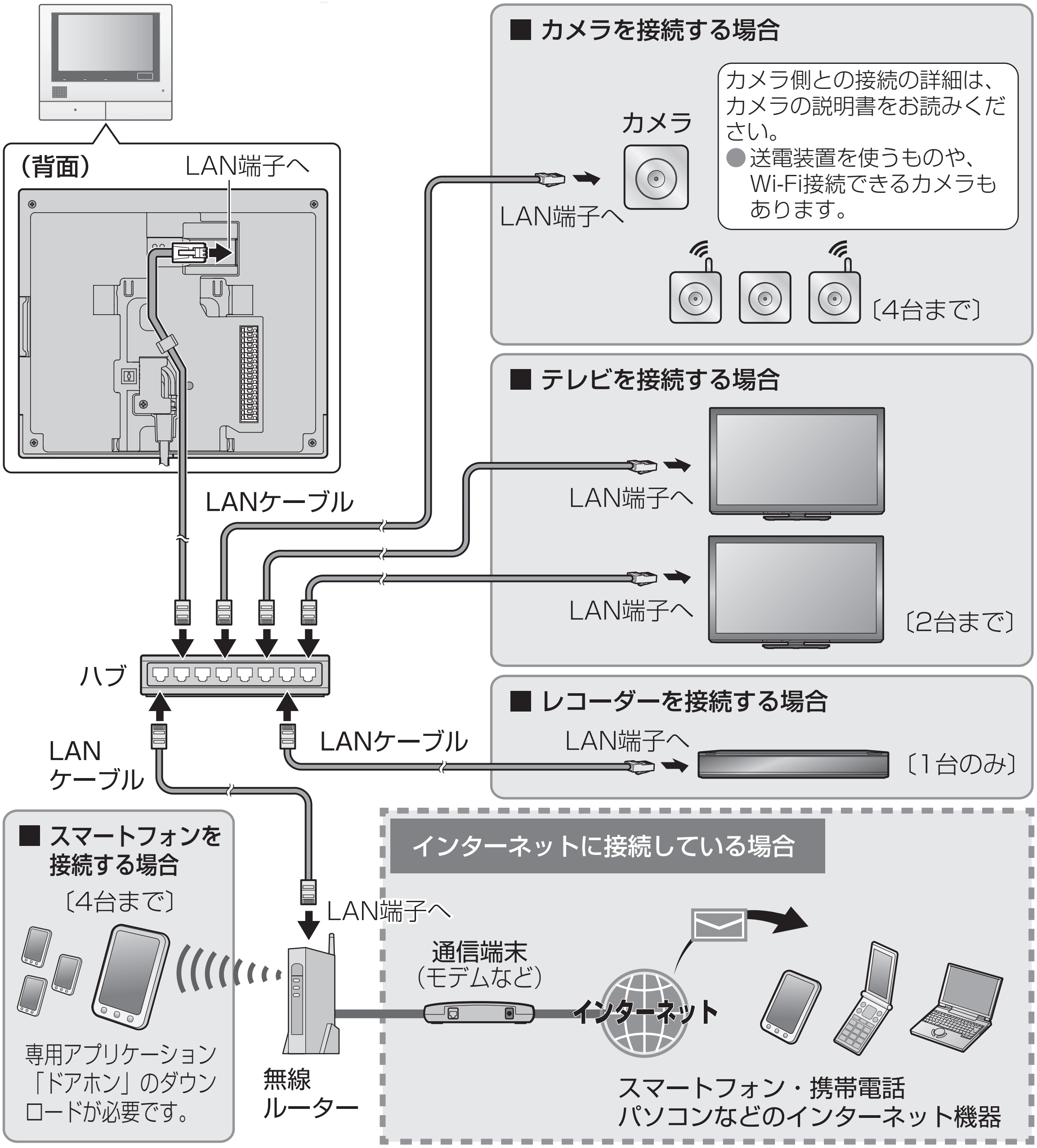
4 [▲▼]でレベルを選び、[決定]を押す

5 終わったら、[終了]を押す

スマートフォン/カメラ/AV機器（テレビ・レコーダー）と連携するために

ドアホン親機と各機器のネットワーク接続について

- ドアホン親機との間は、市販のLANケーブル（ストレートケーブル）やハブで接続します。
- 各機器を利用するにはドアホン親機へ登録が必要です。
- 下図は接続例です。〔　〕内の台数は、ドアホン親機と連携できる最大の台数です。
- ハブ、ブロードバンドルーター、LANケーブルは、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。



お知らせ

- スマートフォンは、Wi-Fi® 機能をONにして無線アクセスポイント（無線ルーター）に接続します。接続のしかたはスマートフォンと無線ルーターの説明書をお読みください。

スマートフォンとの連携について

専用アプリケーションを利用することにより、スマートフォンでドアホンの来客応答などができます。
● 連携できるスマートフォンは最大4台まで。(対応のスマートフォンはP.95)

連携したスマートフォンでできること

主な機能は下記のとおりです。
- ● ドアホンの来客やカメラ(センサー検知時)の呼び出しを受ける
- ● ドアホン側やカメラ側をモニターする
- ● ドアホン親機と連携した警報器やコール機器、窓/ドアセンサーからの通知や呼び出しを受ける
- ● 電気錠やエアコンなどを操作する

連携するまでの流れ

① ネットワークに接続する（P.44）
② 専用アプリケーションをダウンロードする(下記)
③ スマートフォンをドアホン親機に登録する(右記)

専用アプリケーションをダウンロードする

専用アプリケーション「ドアホン」(以降、「ドアホンアプリ」と表記)を、スマートフォンでダウンロードします。
- ● 下記のサポートサイトから、ダウンロードサイトに簡単に接続できます。ドアホンアプリの説明書も、このサイトからダウンロードしてお読みください。
  http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/smp/
- ● アプリケーションのダウンロードには、通信料がかかります。ダウンロードに使う無線LANのインターネット利用料やスマートフォンの通信料をご確認ください。契約によっては、通信料が高額になる場合があります。

スマートフォンをドアホン親機に登録する

スマートフォンの操作の詳細は、ドアホンアプリの説明書をお読みください。

スマートフォンの操作

1 ドアホンアプリを起動する

2 表示された「使用許諾契約」を読んで、[同意する]をタップする
- ● 続けて、ドアホン親機で下記の操作をしてください。

ドアホン親機の操作

3 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[登録／減設] →[登録]をタッチする

4 画面右下の ▼ をタッチし、[スマートフォン]→登録するスマートフォン番号をタッチする
- ● 続けて約2分以内に、スマートフォンで下記の操作をしてください。

スマートフォンの操作

5 表示された画面を確認して、[登録]をタップする
- ● スマートフォンがドアホン親機に登録されます。

■ **登録が終わったら**

ドアホン親機の [終 了] を押す

カメラとの連携について

本機でカメラ側の様子をモニターしたり、カメラのセンサーが反応したときにカメラからの通知(呼出音と映像)を受けることができます。また、SDカードを使用すると、カメラの映像や音声を録画することもできます。

● 連携できるカメラは最大4台です。(対応機種はP.95)
　カメラの説明書とあわせて、よくお読みください。

連携するまでの流れ

① ネットワークに接続する（P.44）
② カメラをドアホン親機に登録する（下記）
③ センサーの検知状況確認や設定変更、録画のテストをする（右記～P.48）

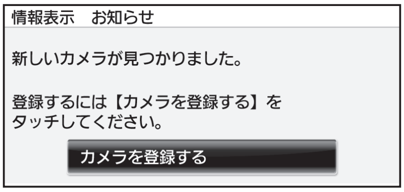
カメラをドアホン親機に登録する

ネットワークに接続したカメラの電源を入れると、ドアホン親機がカメラを自動的に認識し、トップメニューで下記のようにお知らせします。

● 登録操作はこの画面から行います。

1　トップメニューの [確認する] をタッチする

● お知らせ画面が表示されます。



2　[カメラを登録する] をタッチする

3　登録するカメラ番号をタッチする

● ネットワークに接続されたカメラが表示されます。

4　登録したいカメラの右にある [決定] をタッチする

● 選んだカメラがドアホン親機に登録されます。
● ネットワークの接続環境によっては、確認メッセージが表示されます。このときは表示に従って操作してください。

■ 上記手順1のお知らせ画面が出ないとき
機能設定の「登録」を使って、登録操作をしてください。(P.83)

センサーの検知状況を確認する

カメラの機能設定の「センサー確認」で、人感（熱）センサー・動作検知・外部センサー（市販品接続時）による検知状況を確認できます。

● 操作はドアホン親機で行います。

1　トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] →確認するカメラ番号→ [センサー設定] をタッチする

2　画面右下の ▼ をタッチし、[センサー確認] をタッチする

3　表示された画面を確認して、[はい] をタッチする

● カメラ側がセンサー検知待ち状態になり、現在のカメラ映像が表示されます。

4　カメラ側でセンサーを反応させ、検知状況を確認する

● センサーが反応すると、ドアホン親機には、検知映像と、被写体を検知したセンサー名（人感センサー/動作検知など）が表示されます。
● 次のことを確認してください。
　・ 検知させたいエリアや人物の進行方向で、センサーが適切に検知しているか
　・ 検知させたくない被写体（道路を行き来する通行人や車など）をセンサーが誤検知していないか

5　終わったら、 終了 を押す

お知らせ

● センサー確認で表示されるカメラ映像は約20分で終了します。確認の途中で終了したときは、最初からやり直してください。

センサーの設定を変更する

動作確認結果やカメラの設置環境などに応じて、センサーの設定を変更できます。

■ 人感（熱）センサーの場合

- 感度を変えるとき
  「人感センサー」（P.53）の設定を変更する
- 検知する時間帯を変えるとき
  「検知タイマー」（P.53）の設定を変更する

■ 動作検知の場合

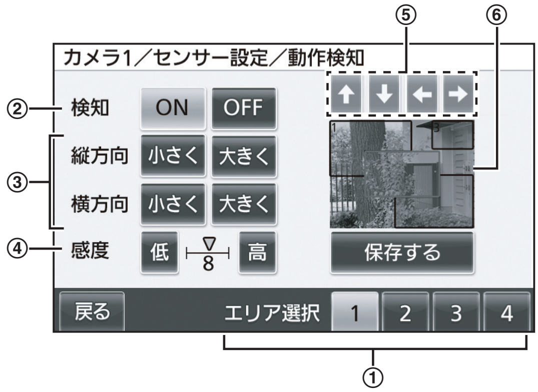
- 検知エリアや感度を変えるとき
  （下記）
- 検知する時間帯を変えるとき
  「検知タイマー」（P.53）の設定を変更する

動作検知の検知エリアや感度を変えるとき

動作検知では検知エリアを最大4つまで指定でき、それぞれのエリアについて感度も変更できます。

1 **トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［接続機器の設定］→［カメラ］→変更するカメラ番号→［センサー設定］→［動作検知］をタッチする**

- 動作検知の設定画面が表示されます。



2 **下記を参照のうえ、検知エリアや感度を設定して、［保存する］をタッチする**

- 設定画面の項目の見かた

番号	説明
①	設定したいエリアを選択します。
②	選択したエリアの検知をON/OFFします。［OFF］を選ぶと、検知されなくなります。
③	選択したエリアの大きさを変更します。
④	選択したエリアの感度を変更します。（15段階） 小さな動きの変化も検知したいときは［高］、過度に検知したくないときは［低］をタッチします。
⑤	選択したエリアを上下左右に移動します。
⑥	エリアを指定する画面です。 現在設定しているエリアが赤く表示されます。

3 **終わったら、［終了］を押す**

カメラとの連携について(つづき)

センサー検知による録画のテストをする

センサー検知による録画で、被写体が適切な位置に映るかどうかをテストします。

- 操作はドアホン親機で行います。
 (このテストはSDカードがなくてもできます)

1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→[カメラ]→確認するカメラ番号→[センサー設定]をタッチする

2 画面右下の ▼ をタッチし、[録画のテスト]をタッチする

- カメラ側がセンサー検知待ち状態になり、現在のカメラ映像が表示されます。

3 カメラ側でセンサーを反応させる

- 反応時の映像(静止画で4枚)が一時的に録画され、完了すると画面の左下に[戻って再生]が表示されます。

4 [戻って再生]をタッチして、録画した画像を確認する

- [戻って再生]の見かた(P.72)

5 終わったら、終了を押す

お知らせ

- 録画のテストで表示されるカメラ映像は約20分で終了します。確認の途中で終了したときは、最初からやり直してください。

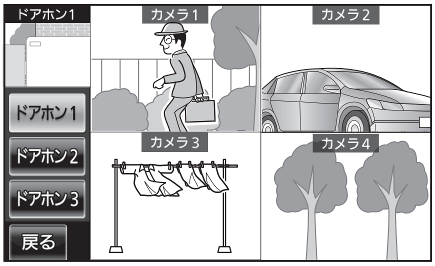
カメラ側をモニターする

カメラ側の様子を、映像と音で確認できます。(最大約3分)

- 室内側の声はカメラ側には聞こえません。

ドアホン親機の場合

1 トップメニューの[モニター 様子を見る]をタッチする



例:ドアホン3台、カメラ4台

2 モニターしたいカメラ映像をタッチする

- 選んだカメラの映像が全画面で表示され、カメラ側の音声が聞こえます。

3 終わったら、終了を押す

子機の場合

1 モニター様子を見るを押し、▲▼でモニターしたいカメラを選び、決定を押す

- 選んだカメラの映像が表示され、カメラ側の音声が聞こえます。

2 終わったら、終了を押す

お知らせ

- ドアホン親機の場合、モニター中に何も操作をしないと約90秒でモニター画面が終了します。(ズーム表示するなど、何か操作をすると最大約3分まで延長されます)

カメラのセンサーが反応したとき

1　センサーが反応すると、呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

● カメラ側の音声は聞こえません。
● 映像は約30秒で終了します。

■ カメラ側の音声を聞くなど、カメラ側をモニターするとき

- ドアホン親機：[モニター] をタッチする
- 子機　　　　：[モニター 様子を見る] を押す

お知らせ

● 一度センサーが反応すると、約45秒間は次のセンサー検知を行いません。
● センサーが反応しても、呼出音を鳴らさないようにしたいときは
- カメラの「呼出音量」を「切」にする（P.76）
- くらしモードを「夜間」に切り替える（P.33）

カメラからお知らせ音を鳴らすには

下記の操作でカメラから音を鳴らして、カメラ側の相手にお知らせすることができます。

● お知らせ音の種類や音量は、カメラの機能設定の「お知らせ音」で設定できます。（P.55）

ドアホン親機の場合

1　着信中やモニター中に、[音でお知らせ] をタッチする

子機の場合

1　着信中やモニター中に [決定] （メニュー） を押し、[▲▼] で [お知らせ音] を選び、[決定] を押す

カメラのセンサー検知を休止する

カメラの設置場所で作業をする場合など、センサー検知を一定時間休止することができます。

● 休止中は、室内への通知（呼出音、映像表示）や自動録画もされません。
● 複数のカメラがある場合、一斉に休止します。
● 「くらしモード」を「外出」にしているときは、センサー検知を休止できません。

ドアホン親機の場合

1　トップメニューの [くらしモード] をタッチする

● [カメラ] ボタンに、現在の検知状態が黄色表示されます。

2　[カメラ] →休止時間をタッチする

● 設定が完了すると、[カメラ] ボタンの表示が変わります。

3　終わったら、[終了] を押す

子機の場合

1　待ち受け画面で [決定] （メニュー） を押し、[▲▼] で [ドアホン] メニューを開く

2　[▲▼] で [くらしモード] を選び、[決定] を押す

● くらしモード画面が表示されます。

3　[F2] （カメラ休止） を押し、[▲▼] で休止時間を選び、[決定] を押す

● 設定が完了すると、画面の右下に「カメラ休止中」と表示されます。

4　終わったら、[終了] を押す

お知らせ

● 設定時間を過ぎると、センサー検知の休止は自動で解除されますが、時間内に解除することもできます。（P.50）

カメラのセンサー検知を休止する（つづき）

休止時間内に設定を解除するには

ドアホン親機の場合

1 トップメニューの［くらしモード］→［カメラ］をタッチする

● センサー検知が［入］になります。

2 終わったら、終了 を押す

子機の場合

1 待ち受け画面で 決定（メニュー）を押し、 で［ドアホン］メニューを開く

2 で［くらしモード］を選び、決定 を押す

● くらしモード画面が表示されます。

3 F2（カメラ入）を押す

4 終わったら、終了 を押す

カメラ情報を確認する

カメラの休止状態などを「カメラ情報」で確認できます。

1 トップメニューの［くらしモード］→［カメラ情報］をタッチする

（例：カメラ４台を接続しているとき）

● 数字は登録したカメラ番号を表します。

● 通信できない状態のときは × を表示します。カメラとの接続、またはカメラの設定を確かめてください。

● カメラのセンサー検知が休止中のときは 休 が表示されます。

2 終わったら、終了 を押す

カメラの録画・録音（SDカード録画）

SDカードをご使用の場合のみ、カメラの映像や音声を録画・録音できます。（1件につき最大約30秒）

● 録画の再生のしかたは、ドアホン録画の場合と同じです。（P.28、30）

センサー反応時の録画（自動録画）

次の機能を使って、自動で録画できます。

カメラ検知自動録画

センサーが反応すると、映像と音声を自動で録画する機能です。
映像は検知1秒前から録画、音声は検知直後から録音します。（最大約30秒）

● お買い上げ時の設定：「する」（P.80）

モニター時の録画（手動録画）

必要に応じて、手動で録画してください。

ドアホン親機の場合

1 モニター映像を表示中に［録画］をタッチする

子機の場合

1 モニター映像を表示中に [決定]（メニュー）を押す

2 [▲▼] で［録画］を選び、[決定] を押す

お知らせ

● 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。
● センサー反応時の自動録画では、複数のカメラの着信が重なった場合でも、それぞれのカメラの映像を同時に録画できます。（ただし、映像の動きは通常よりも遅くなります）
● カメラをモニター中の場合、モニター中のカメラが人などを検知してセンサー反応しても、検知時の映像は自動録画されません。
● 自動録画した画像のうち、留守などで応答（モニターなど）しなかったときの着信画像は未確認画像として記録され、次のように通知されます。
（その他の録画は、確認済み扱いになります）
- ドアホン親機：お知らせランプが点滅し、トップメニューに「新着の未確認あり」を表示
- 子機：待ち受け画面に「新着の未確認画像あり」を表示。

カメラの機能設定のしかた

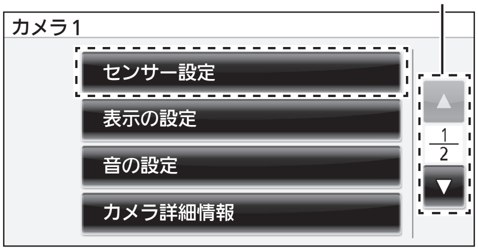
1 **トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→[カメラ]→設定するカメラ番号(1～4)をタッチする**

2 **設定する項目名(①)→設定する機能名(②)をタッチする**

● 各項目で設定できる機能は、設定一覧(P.53～55)を参照ください。

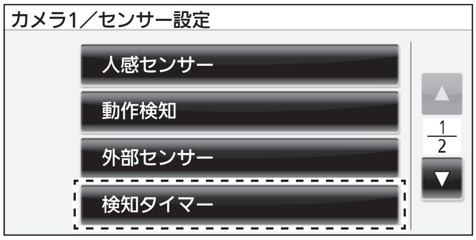
①カメラの項目一覧画面

前ページ/次ページへ



2ページ目

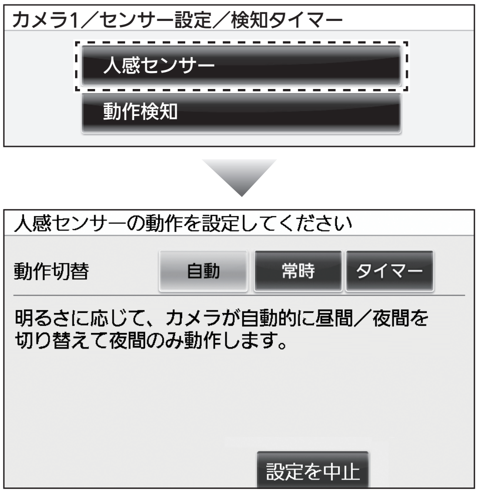
②機能一覧画面(例)



3 **各機能の設定内容を選んでタッチする**

● 選んだ機能によっては、サブメニュー(③)が表示されます。表示に従って操作してください。

③サブメニュー(例)



4 **終わったら、[終了]を押す**

カメラの機能設定一覧

■ 項目名「 センサー設定 」の機能一覧

機能名やサブメニュー		設定内容など	初期値
人感 センサー	—	**高感度、標準、低感度、超低感度、検知しない** ● 人感(熱)センサーの設定を行います。 ・ 検知しにくいときは「高感度」、検知しすぎるときは「低感度」や「超低感度」を選びます。 ・ 外部センサー使用時など、人感(熱)センサーを使用しないときは「検知しない」を選びます。	標準
動作検知	—	● 動作検知の検知エリアや感度設定を行います。(詳細はP.47)	※1
外部 センサー	(端子 1～3)※2	**OFF、アラーム入力(短絡)、アラーム入力(開放)** ● 外部センサー接続時に、接続機器の仕様に合わせて「アラーム入力(短絡)」または「アラーム入力(開放)」を選びます。	OFF
検知 タイマー	人感 センサー	動作切替 : **自動、常時、タイマー** ● 人感センサーをどのように動作させるかを設定します。 「自動」　：夜間など、周囲が暗いときだけ動作します。(昼夜の切り替えは、周囲の明るさによって、カメラが自動で行います) 「タイマー」：タイマー設定した時間帯だけ動作します。「タイマー」を選んだときは、[＋][－]をタッチして動作させたい時間帯を設定し、[決定]をタッチします。	自動
	動作検知	動作切替 : **常時、タイマー** ● 動作検知をどのように動作させるかを設定します。「タイマー」の機能や設定方法は、上記の「人感センサー」と同じです。	常時
センサー 確認	—	● カメラの設置時など、人感(熱)センサー、動作検知、外部センサーが適切に検知するかを確認します。(詳細はP.46)	—
録画の テスト	—	● センサー検知による録画で、検知前後の映像が適切に録画できているかを確認します。(詳細はP.48)	—

※1　検知エリア「全画面」、検知「ON」、感度「8」
※2　屋内タイプのカメラを接続時のみ表示されます。

カメラの機能設定一覧(つづき)

設定のしかた(詳しくはP.52)

トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → 設定するカメラ番号(1～4) → 設定する項目名 → 設定する機能名やサブメニュー → 設定内容をタッチする

● 終わったら、[終了]を押す

■ 項目名「表示の設定」の機能一覧

機能名やサブメニュー		設定内容など	初期値
明るさ	—	0、1、2、3、4、5、6、7、8 ● 設定画面が出たら、[◀暗く]または[明るく▶]をタッチして明るさを設定し、[決定]をタッチします。	4
逆光補正	—	ON、OFF ●「ON」のときに逆光補正を行います。(被写体の背景によっては、効果がない場合があります)	OFF
照明 ● ライト付きカメラのみ	—	**自動(暗い間ずっと点灯)、検知時のみ(いつでも)、検知時のみ(暗いときのみ)、検知(いつでも)＋モニター(暗いとき)、検知(暗いとき)＋モニター(暗いとき)、消灯** ● カメラのライトを点灯させる条件を設定します。(明るさの判断は、カメラが自動で行います)	検知(いつでも)＋モニター(暗いとき)
ポジション設定 ● パン・チルトカメラのみ	設定	● センサー検知時やモニター時、最初にカメラを向ける位置(ホームポジション)の登録や解除を行います。 ・ **設定するとき** カメラ映像が表示されたら、画面にタッチして登録したい位置を表示させ、[ポジション登録]をタッチします。 ・ **解除するとき** カメラ映像が表示されたら[ポジション解除]をタッチします。	—
	解除		
オートスローシャッター	—	**OFF1/30秒(0.03秒)、最大2/30秒(0.06秒)、最大4/30秒(0.13秒)、最大6/30秒(0.20秒)、最大10/30秒(0.33秒)、最大16/30秒(0.53秒)** ● 夜間など、暗いときのシャッター速度を自動的に遅くする設定です。シャッタースピードを遅く設定すればするほど、露光時間が長くなるため、映像は明るくなります。(ただし、被写体はぶれやすくなります)	OFF 1/30秒
ズーム倍率指定	—	1.5倍、2.0倍、3.0倍	2.0倍

■ 項目名「 音の設定 」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
お知らせ音		
お知らせ音入切	ボタン押下時と検知時に鳴る、ボタン押下時だけ鳴る、検知時だけ鳴る、お知らせ音は鳴らない ● お知らせ音の動作を設定します。「ボタン押下時」とは、お知らせ音を鳴らす操作(P.49)をしたときのことを表します。	ボタン押下時だけ鳴る
お知らせ音音量	大きめ、標準、小さめ	標準
お知らせ音種類	ピポ ピポ ピポ、プルルル プルルル、ポゥ ポゥ ポゥ ポゥ、わん わん、わん わん わん わん、ブゥ ブゥ	ピポ ピポ ピポ
受話音量（マイク感度）	マイク 強、マイク 中、マイク 弱 ● カメラのマイクで音声を集音するときの感度を選びます。	マイク 中

■ 項目名「 カメラ詳細情報 」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
詳細情報	● カメラ自身の情報(型番、MACアドレス、IPアドレス、自己診断、ステータス)を表示します。接続に異常があるときなどは、機器の状況(異常の内容)も表示します。	—
検知履歴	● カメラのセンサー検知の履歴(日時と検知したセンサー名)を、新しい順に27件まで表示します。	—

■ 項目名「 その他の設定 」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
電源ランプ	常時、アクセス時、人感センサー反応時、消灯 ● カメラの電源ランプの点灯のしかたを設定します。「アクセス時」を選ぶと、センサー検知やモニター時など、カメラからの映像を本機に表示中の場合のみ、ランプが点灯します。	常時
PRIVACYボタン(プライバシーボタン)	許可する、許可しない ● カメラのPRIVACYボタン(プライバシーボタン)を押しても、かくれンズに設定できないようにするには「許可しない」を選びます。	許可する
カメラ再起動	● カメラを再起動します。	—
設定と登録の初期化	● 本機で設定したカメラの設定内容（ポジション設定を除く）をお買い上げ時の状態に戻します。 また、ドアホン親機との登録状態も解除します。 （テレビドアホンと連携するには、再登録が必要です）	—

テレビとの連携について

ドアホンの映像をテレビに表示することができます。
- 連携できるテレビは2台まで。(対応機種はP.96)
  テレビの説明書とあわせて、よくお読みください。

連携するまでの流れ

① ネットワークに接続する（P.44）
② ドアホン親機をテレビに登録する（右記）
③ テレビ側の「くらし機器設定」で、
「ビエラリンクニューに表示する設定」を行う
- テレビの「ビエラリンク」メニューから、
  ドアホンの映像を見るための設定です。
  操作方法は、テレビの説明書をお読みください。

ドアホン親機をテレビに登録する

テレビの操作

1 「くらし機器設定」を行い、「くらし機器一覧」画面を表示させる
- 操作方法は、テレビの説明書をお読みください。
- 画面が表示されたら、続けてドアホン親機の操作（下記手順2～3）を行います。

ドアホン親機の操作

2 トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → [登録／減設] → [登録] をタッチする

3 画面右下の ▼ をタッチし、[AV機器] をタッチする
- ドアホン親機が登録モードになります。

テレビの操作

4 上記に続けて約5分以内に、テレビ側で登録操作を行う
- 登録が完了すると、くらし機器一覧の「機器登録設定」画面に、ドアホン親機の情報が表示されます。

■ 登録が終わったら
- テレビ側　　　　：[元の画面] を押す
- ドアホン親機側：[終了] を押す

お知らせ
- テレビに表示されるドアホン映像は、動画ではありません。（約1秒おきの連続静止画）
  使用環境によっては、静止画の更新速度が遅くなることがあります。
- マルチ表示対応のテレビをお使いでも、マルチ画面に表示できるドアホン映像は「ドアホン1」のみです。

レコーダーとの連携について

ドアホンの映像をレコーダーに録画（最大約30秒）することができます。

● 連携できるレコーダーは1台のみ。(対応機種はP.96)
レコーダーの説明書とあわせて、よくお読みください。

連携するまでの流れ

① ネットワークに接続する（P.44）
② ドアホン親機をレコーダーに登録する（右記）

ドアホン親機をレコーダーに登録する

レコーダーの操作

1 「ドアホン・センサーカメラ接続設定」を行う

● 操作方法は、レコーダーの説明書をお読みください。
● レコーダーの説明書に従い、設定の途中でドアホン親機の操作（下記手順2～3）を行います。

ドアホン親機の操作

2 トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［登録／減設］→［登録］をタッチする

3 画面右下の ▼ をタッチし、［AV機器］をタッチする

● ドアホン親機が登録モードになります。

レコーダーの操作

4 上記に続けて約5分以内に、レコーダー側で設定の続きを行い、登録を完了させる

● 登録が完了すると、「登録が完了しました」と表示され、レコーダーの本体表示窓にが点灯します。

■ 登録が終わったら

● レコーダー側　：［戻る］を数回押して終了する
● ドアホン親機側：［終了］を押す

お知らせ

● レコーダーに表示されるドアホン映像は、動画ではありません。（約0.1秒おきの連続静止画）
使用環境によっては、静止画の更新速度が遅くなることがあります。

窓/ドアセンサーとの連携について

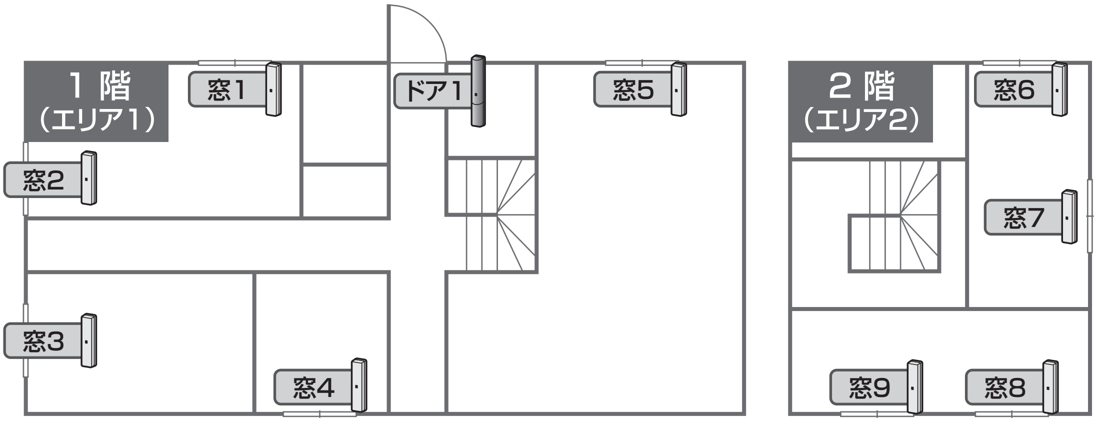
窓/ドアが開いたときに、センサーからの通知(開いた窓やドアの情報)を受けたり、本機を使って窓/ドアの開閉状態を確認したりすることができます。

- 連携できる窓/ドアセンサーは合わせて20台まで。(対応機種はP.95)
- 連携するにはドアホン親機への登録が必要です。窓/ドアセンサーの取扱説明書もよくお読みください。

■ **窓 / ドアセンサーは設置場所に応じて最大 3 つのエリアに分けて管理できます**

登録の際にエリアを割り当てることで、複数のセンサーをエリアごとに区分・管理できます。

(例) 1階の窓センサーとドアセンサーを「エリア1」に、2階の窓センサーを「エリア2」に割り当てる



窓/ドアセンサーをドアホン親機に登録する

ドアホン親機の操作

1 **トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → [登録/減設] → [登録] をタッチする**

2 **画面右下の ▼ をタッチし、[窓/ドアセンサー] をタッチする**

3 **登録するセンサー番号をタッチする**

4 **メッセージを確認して[次へ]をタッチし、登録するセンサーの名前をタッチする**

5 **メッセージを確認して[次へ]をタッチし、登録するエリアをタッチする**

- 続けて、約5分以内に窓/ドアセンサーで右記の操作をしてください。

登録する窓/ドアセンサーの操作

6 **モード切替スイッチを「モード1」側に合わせる**

7 **電池を入れ、2分以内に登録ボタンを先端の細いもので3秒以上押す**

- 「ピッ ピッ ピッ」のあと、「ピー」と約1秒間鳴ったら登録完了です。

■ **登録が終わったら、**

ドアホン親機の [終了] を押す

窓/ドアが開いたときの動作について

現在のくらしモードで設定されている報知レベル(P.33)によって、動作が変わります。

● お買い上げ時の設定のままご使用になるときは…
- くらしモードを「外出」にすると、報知レベルが「高い」に設定されます。
- くらしモードを「夜間」または「在宅」にすると、報知レベルが「低い」に設定されます。

<table>
<tr><th>くらしモード
(報知レベル)</th><th>ドアホン親機や子機の動作</th><th>窓/ドアセンサーの動作</th></tr>
<tr><td rowspan="2">外出モード
(報知レベル
「高い」)</td><td>音と表示で約3分間お知らせ
音　:プルルルプルルル(最大音量)
表示:開いた窓やドアの情報
● ドアホン親機では、お知らせランプも点滅します</td><td>音で約30秒間お知らせ
音　:ヒュンヒュンヒュン(最大音量)</td></tr>
<tr><td colspan="2">〈ドアセンサーをご使用のとき〉
帰宅時などでドアを開けるときのため、上記のように最大音量で音が鳴る前に、小さな音でお知らせする時間(ドア予備報知時間:お買い上げ時は「3分」)が設定されています。詳しくは(P.60)</td></tr>
<tr><td>夜間モード/
在宅モード
(報知レベル
「低い」)</td><td>音(約3秒)と表示(約10秒)でお知らせ
音　:ポンポンポンポン
(音量:「小」)※1
表示:開いた窓やドアの情報</td><td>音でお知らせ(音量は「小」固定)
窓　:ピーピーピーピー(約3秒)
ドア:ピーピー(約1秒)</td></tr>
</table>

※1 「呼出音量」(P.76)の設定で、「切」にすることもできます。

■ 最大音量で鳴る音をすぐに止めたいとき

ドアホン親機で[音を止める]をタッチする、または、子機で 終了 を押す

● ドアホン親機やすべての子機、窓/ドアセンサーの音が止まります。

● 窓やドアを閉めても音は止まりません。

お知らせ

● 報知レベルが「高い」ときは、下記のような場面で窓/ドアセンサーの反応通知を優先します。
- ドアホン通話中などの場合(通話が切れて通知画面に変わります)
- 窓/ドアセンサー反応中(ドアホンからの呼び出しは受けられません)

● 子機が電話の子機でもあるとき
- 外線や内線通話中に窓/ドアが開くと、受話口から音を鳴らしてお知らせします。(通話は切れませんが、早めに通話を終わらせて反応した窓やドアを確認してください)
- 窓/ドアセンサー反応中は、電話をかける/受ける以外の操作はできません。

● ドアホン親機のお知らせランプは、報知レベル「高い」でセンサーが反応したときのみ点滅し、留守中などの異常をお知らせします。(帰宅後など、ドアホン親機のトップメニューを表示すると消灯します)

窓/ドアセンサーとの連携について(つづき)

報知レベルを「高い」に設定してドアセンサーを使うとき

家の人がスムーズに外出/帰宅できるように、
下記のように動作します。

外出するとき

1　くらしモードを[外出]に切り替える
- 報知レベルが「高い」に設定されます。

2　切り替え後、3分以内に外出する
- 3分間は、ドアを開けても本機やドアセンサーの音が鳴りません。(ドア報知遅延時間)
- ドア報知遅延時間を過ぎてドアを開けると、下記手順1の「ドア予備報知時間」になります。

帰宅したとき

1　帰宅時にドアを開ける
- ドアを開けると小さな音が鳴ります。
  - 本機「ピポピポピポン」(約3分:ドア予備報知時間)
  - ドアセンサー「ピーピー」(約1秒)
- 3分経過(ドア予備報知時間が終了)すると、大きな音に変わります。
  - 本機「プルルルプルルル」(約3分)
  - ドアセンサー「ヒュンヒュンヒュン」(約30秒)

2　ドアを開けて3分以内に、ドアホン親機で [終了] を押し、くらしモードを「在宅」または「夜間」に切り替える
- 報知レベルが「低い」に設定されます。

お知らせ

(例)

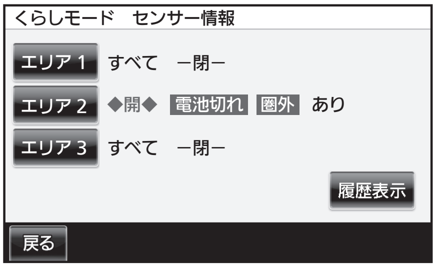
- ドア報知遅延時間内は、ドアホン親機のトップメニューやくらしモード画面に [報知遅延] が表示されます。
- ドア報知遅延時間やドア予備報知時間はお買い上げ時「3分」ですが、設定により変更できます。(P.81)

窓/ドアの開閉状態を確認する(センサー情報を見る)

ドアホン親機では、窓/ドアセンサーの反応履歴も確認できます。(最新情報を99件まで)

ドアホン親機の場合

1　トップメニューの[くらしモード]→[センサー情報]をタッチする



■ **各エリア内の詳細を確認するには**
見たいエリアのボタンをタッチする

■ **窓/ドアセンサーの反応履歴を確認するには**
[履歴表示]をタッチする

2　終わったら、[終了] を押す

子機の場合

1　待ち受け画面で [決定] ([メニュー])を押し、[◀▶] で[ドアホン]メニューを開く

2　[▲▼] で[センサー情報]を選び、[決定] を押す
- センサー情報画面が表示されます。

3　各エリアの状態を確認する
- 各エリアの選択は [◀▶]、ページ移動は [▲▼]

4　終わったら、[終了] を押す

センサー情報の表示について

- 「圏外」の窓/ドアがあったとき
  電波が届いていないため、通信できません。
  窓/ドアセンサーの状態を確認してください。
- 「電池切れ(電池切)」の窓/ドアがあったとき
  窓/ドアセンサーの電池を交換してください。
- 履歴表示で(遅)や(予)が表示されたとき
  (遅)はドア報知遅延時間を表します。
  (予)はドア予備報知時間を表します。

警報器やコール機器と連携して使う

警報器(火災警報器など)が反応したり、コール機器から呼び出しがあったときに、本機でその通知を受けることができます。

- 連携できるのは、警報器またはコール機器のいずれか1種類のみ。(対応機種はP.95)
- 連携したい機器をドアホン親機の「外部入力」端子に接続してください。(接続方法は各機器の説明書と本機の施工説明書をお読みください)
- コール機器をご使用の場合は、接続後にドアホン親機で「外部入力」設定を「コール機器」に変更してください。(P.81)

連携時の動作について

■ 通知音と画面表示について

連携場面	ドアホン親機や子機の動作
警報器が反応	音と表示でお知らせ(最大約3分)※1 音　：ピロピロピロピロン(最大音量) 表示：「警報器が反応しました」 ● ドアホン親機では、お知らせランプも点滅します。
コール機器から呼び出し	音と表示でお知らせ(最大約3分)※1 音　：プップー・プップー(音量：「大」)※2 表示：「コールです」 ● ドアホン親機では、お知らせランプも点滅します。

※1 警報器の反応やコール機器からの呼び出しが終了すると、通知音や画面表示も終了します。
※2 「呼出音量」(P.76)の設定で、「小」「切」にすることもできます。

■ 最大音量で鳴る音をすぐに止めたいとき

ドアホン親機や子機で 終了 を押す

- 音の鳴り始めから約5秒間は終了できません。

お願い

- 警報器やコール機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

- 下記のような場面では、警報器の反応やコール機器からの呼び出しを優先します。
  - ドアホン通話中などの場合(通話が切れて通知画面に変わります)
  - 警報器の反応中やコール機器から呼び出し中(ドアホンからの呼び出しは受けられません)
- 子機が電話の子機でもあるとき
  - 外線や内線通話中に警報器などが反応すると、受話口から音を鳴らしてお知らせします。(通話は切れませんが、早めに通話を終わらせて反応した警報器などを確認してください)
  - 警報器の反応中やコール機器から呼び出し中は、電話をかける/受ける以外の操作はできません。
- ドアホン親機のお知らせランプの点滅は、警報器などからの通知終了後、トップメニューを表示すると消灯します。
- 警報器やコール機器からの通知履歴をあとで確認することもできます。(P.64「情報表示画面」の③)

光るチャイムやメロディサインなどと連携して使う

対応の機種(P.95)と連携すると、連携した機器を本機に連動させることができます。

- 連携できるのは、光るチャイムやメロディサインなどの中からいずれか1種類のみ。
- 連携したい機器をドアホン親機の「A接点出力」端子に接続してください。(接続方法は各機器の説明書と本機の施工説明書をお読みください)

光るチャイムなどが本機に連動する場面

- ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき
  - お買い上げ時の設定では、すべてのドアホンやカメラの呼び出しに連動します。
  - 特定のドアホンやカメラにだけ連動させるには、「A接点出力」設定を変更してください。(P.81)
- 警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあったとき
- 報知レベルを「高い」に設定した窓/ドアセンサーが反応したとき

電気錠やエアコンなどと連携して使う

本機で電気錠やエアコンなどの各機器の操作（施錠/解錠やON/OFF）ができます。

- 連携できる電気錠などの機器は2台まで。（対応機種はP.95）
  連携するにはドアホン親機への接続と下記の設定が必要です。
- 接続方法は、各機器の説明書と本機の施工説明書をお読みください。

ドアホン親機で電気錠・機器ボタンの設定をする

接続した電気錠やエアコンを操作するためのボタンを設定します。

1 **トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［接続機器の設定］をタッチする**

2 **画面右下の ▼ をタッチし、［電気錠・機器ボタン］をタッチする**

3 **登録先の機器番号 → 登録する機器名（電気錠または機器）をタッチする**

- エアコンなど、電気錠以外の機器を登録するときは［機器］を選びます。

4 **終わったら、 終了 を押す**

設定後の画面表示について

設定が終わるとドアホン親機のトップメニューやドアホン着信画面などで、［終了］ボタンが［電気錠］などの操作ボタンに変わります。

（ボタン表示例）

登録した機器名を表示

機器番号
（登録した番号のみ表示）

登録機器名	表示
電気錠のみ	電気錠
機器のみ	機器
電気錠と機器	錠・機器

- 子機では、下記のアイコンが表示されます。

機器番号

- 電気錠・機器の状態は、親機、子機ともに登録した機器番号の色で確認できます。
  - 電気錠・機器が施錠またはONのとき：緑
  - 電気錠・機器が解錠またはOFFのとき：黒

電気錠やエアコンなどの機器を操作する

ドアホン親機の場合

ドアホンとの通話中、ドアホンやカメラの着信中・モニター中、トップメニュー表示中に操作できます。

1 **ドアホンとの通話中などに表示される、操作ボタン（[電気錠] / [機器] / [錠・機器]）をタッチする**

- 操作できる機器のボタンと現在の状態が表示されます。

電気錠が2台ある場合

現在の状態

エアコンなどの機器が2台ある場合

現在の状態

2 **操作したい機器のボタンをタッチする**

- タッチするごとに、施錠/解錠（またはON/OFF）が切り替わります。

子機の場合

ドアホンとの通話中・モニター中、カメラのモニター中、待ち受け画面表示中に操作できます。

通話中やモニター中に操作するとき

1 **ドアホンとの通話中などに、[決定]（メニュー）を押す**

2 **F2（錠・機器）を押す**

- 電気錠などが1台の場合は、現在の状態に応じて、施錠/解錠（またはON/OFF）が切り替わります。
- 電気錠などが2台ある場合は、[▲▼] で操作する機器を選び、[決定] を押すと、施錠/解錠（またはON/OFF）が切り替わります。

待ち受け画面を表示中に操作するとき

1 **上記の手順2の操作を行う**

本機の情報を見る（情報表示画面）

情報表示画面では、ご利用のシステムに応じた様々な情報を見ることができます。

1 **トップメニューの［設定/情報］→［情報を見る］をタッチする**

● 情報表示画面が表示されます。

2 **見たい情報のボタン（①～⑤）を選んでタッチする**

（例）

① 確認してほしいお知らせがあるときにその内容を表示します。表示される案内に従って操作してください。

② ドアホンやカメラの現在の呼出音量を表示します。

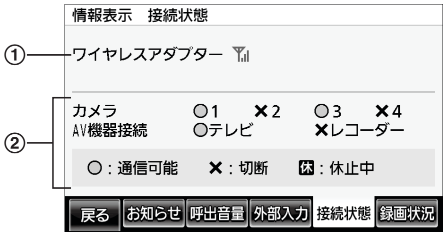
③ 警報器やコール機器との連携時、各機器からの通知履歴（最新情報を45件まで）を表示します。

④ ワイヤレスアダプター機能で接続した電話/ファクス、ネットワーク接続したカメラやテレビ・レコーダーの接続状態を表示します。（画面表示について詳しくは右上参照）

⑤ 現在の記録先と、その録画状況（空き容量の目安など）を表示します。

3 **確認が終わったら、［終了］を押す**

接続状態画面について



① ワイヤレスアダプター機能（P.34）で接続した電話/ファクス親機からの電波状態を ～ で表示します。

- 電波状態表示が、 または の場所でご利用ください。
- 「圏外」と表示されたときは、電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません。

② ネットワークに接続してご使用のカメラやAV機器（テレビ・レコーダー）の通信状態を表示します。

● ✕ が表示されているときは通信できません。接続状態を確認してください。
テレビやレコーダーで接続に問題がないときは、テレビ・レコーダー側の設定も確認してください。

● カメラの場合、センサー検知が休止中のときは 休 が表示されます。

通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき（ドアホン親機）

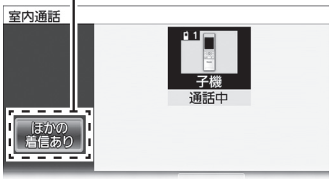
ドアホン親機で通話中・モニター中に、別のドアホンやカメラから呼び出し(着信)があったときは、呼出音が鳴り、下記のように通知します。

例①: ドアホン１と通話中に、
ドアホン2とカメラ2から着信

例②:カメラ１をモニター中に、
ドアホン１とカメラ2～4から着信

例③:室内通話中に、
ドアホンまたはカメラから着信

主画面



Ⓐ 着信中のドアホンを表すボタン
Ⓑ 着信中のカメラを表す副画面(着信順に上から表示)
Ⓒ 着信中のドアホンを表す副画面
Ⓓ 着信中のドアホンやカメラがあることを知らせるボタン

- 映像に重なって表示されるⒶ～Ⓒは、［ボタン表示］をタッチすることで消すこともできます

■ 画面の状態と動作について

現在の状態	新たにドアホンから着信すると…	新たにカメラから着信すると…
ドアホンと通話中/モニター中	着信中のドアホンがボタン(Ⓐ)で表示されます。 ● ドアホンボタン(Ⓐ)をタッチすると、主画面の通話やモニター映像が終了し、着信中のドアホン映像に切り替わります。	着信中のカメラ映像が副画面(Ⓑ)で表示されます。 ● ドアホンとの通話中に副画面(Ⓑ)をタッチすると、主画面と副画面の映像が入れ替わります。(通話は継続できます) ● ドアホンをモニター中に副画面(Ⓑ)をタッチすると、主画面のモニター映像が終了し、着信中のカメラ映像に切り替わります。
カメラをモニター中	着信中のドアホン映像が副画面(Ⓒ)で表示されます。 ● 副画面(Ⓒ)をタッチすると、主画面のモニター映像が終了し、着信中のドアホン映像に切り替わります。	着信中のカメラ映像が副画面(Ⓑ)で表示されます。 ● 副画面(Ⓑ)をタッチすると、主画面のモニター映像が終了し、着信中のカメラ映像に切り替わります。
室内通話中	着信を知らせるボタン(Ⓓ)が表示されます。 ● ボタン(Ⓓ)をタッチすると、室内通話が終了し、着信中のドアホン映像またはカメラ映像に切り替わります。	

着信中に別の呼び出しがあったとき

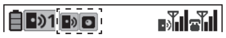
ドアホンやカメラの着信中に別のドアホンやカメラから呼び出し(着信)があると、下記のように動作します。
- ドアホン同士の着信が重なったときは、あとの着信が優先になり、画面が切り替わります。
- カメラ同士の着信が重なったときは、あとの着信が主画面に表示され、元の着信は副画面で表示されます。
- ドアホンとカメラの着信が重なったときは、着信の順序に関わらず、ドアホンの着信が主画面に表示され、カメラは副画面で表示されます。

通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき(子機)

子機で通話中･モニター中に、別のドアホンやカメラから呼び出し(着信)があったときは、呼出音が鳴り、下記のように通知します。

- 電話の子機としても利用しているときは、ドアホン通話中に電話を受けたり、電話中にドアホンからの呼び出しを受けたりすることもできます。

■ 画面の状態と動作について

<table>
<tr><th>現在の状態</th><th>新たにドアホンやカメラから着信すると…</th><th>外線着信(電話)があると…</th></tr>
<tr><td>ドアホンと通話中/モニター中</td><td rowspan="3">着信中の機器を表すアイコン(はドアホン、 はカメラ)が、画面上部に表示されます。
例)
● 着信中のドアホンやカメラの映像に切り替えるには、[終了]を押します。
・ 元の通話やモニター映像が終了し、画面が切り替わります。着信中の機器が複数あるときは[モニター 様子を見る]を押し、表示された機器選択の画面で機器を選んでください。</td><td rowspan="3">☎ が点滅し、画面には「外線着信中」と表示されます。
例)
● 電話に出るには、☎ を押します。
・ 元の通話やモニター映像が終了し、外線通話に切り替わります。</td></tr>
<tr><td>カメラをモニター中</td></tr>
<tr><td>室内通話中</td></tr>
<tr><td>外線通話中</td><td rowspan="2">[通話] または [モニター 様子を見る] が点滅し、画面には着信中の機器を表すアイコン(1 はドアホン1、 1 はカメラ1)と映像が表示されます。
例)
● 着信中のドアホンやカメラに応答するには、点滅中の[通話]または[モニター 様子を見る]を押します。
・ 外線通話は保留になり、ドアホンとの通話やカメラのモニター画面に切り替わります。(内線通話は終了します)
・ 保留した外線通話に戻るには、☎ を押します。(ドアホンとの通話などは終了します)</td><td>―</td></tr>
<tr><td>内線通話中</td><td>☎ が点滅します。
(画面表示に変化はありません)
● 電話に出るには、☎ を押します。</td></tr>
</table>

着信中に別の呼び出しがあったとき

■ ドアホンやカメラの着信中に、別のドアホンやカメラから呼び出し(着信)があったとき

- ドアホン同士またはカメラ同士の着信が重なったときは、あとの着信が優先になり、画面が切り替わります。
- ドアホンとカメラの着信が重なったときは、着信の順序に関わらず、ドアホンの着信映像が表示され、カメラの着信はアイコン( )で表示されます。
  - ・ カメラ側をモニターするには、[モニター 様子を見る]を押し、表示された機器選択の画面でカメラを選びます。

■ ドアホンやカメラの着信中に外線着信(電話)があったとき、または外線着信中にドアホンやカメラから呼び出し(着信)があったとき

画面上部には着信中の機器を表すアイコン(1 はドアホン1、 1 はカメラ1)と映像が表示され、画面中央に「外線着信中」と表示されます。

- 電話に出るには ☎、着信中のドアホンやカメラに応答するには、点滅中の[通話]または[モニター 様子を見る]を押します。

文字入力のしかた

ドアホン親機で文字を入力する

メールの送信設定(P.70)や固定IPアドレスの設定(P.82)を行うときに、文字入力が必要です。
ドアホン親機では、操作途中に表示される文字入力画面(ソフトキーボード)を使って入力を行います。
● 表示されるソフトキーボードは、文字入力の場面によって異なります。

1 **右のような文字入力画面(ソフトキーボード)が表示されたら、下記を参照のうえ、文字を入力する**

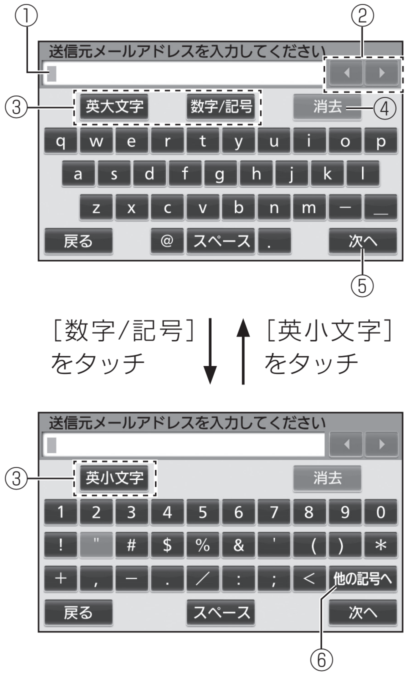
● 文字入力画面の見かた

番号	説明
①	カーソル(文字の入力位置)
②	文字入力後、カーソルを左右に移動する
③	文字の種類を切り替える
④	入力した文字を消去する
⑤	文字入力完了後、次の画面へ移行する
⑥	他の記号に切り替える

■ **文字を挿入するには**
挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■ **修正するには**
修正する文字にカーソルを移動し、[消去]で文字を消してから入力し直す

〈ソフトキーボードの例〉



2 **設定する文字の入力が終わったら、[次へ]をタッチし、メッセージを確認して[はい]をタッチする**

● 入力した文字が設定されます。

文字入力のしかた（つづき）

子機で文字を入力する

電話子機の名前（P.84）や電話帳（P.39）を登録するときに、文字入力が必要です。
子機では、操作途中に表示される文字入力画面で、下記の操作を行います。

1 **右のような文字入力画面が表示されたら、下記を参照のうえ、文字を入力する**

● 文字入力時のボタンのはたらき

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>はたらき</th></tr>
<tr><td>F1（文字）</td><td>文字の種類を切り替える
● ボタンを押すごとに切り替わります。
<table>
<tr><th>文字の種類</th><th>入力できる文字</th></tr>
<tr><td>かな</td><td>ひらがな・漢字・全角カタカナ</td></tr>
<tr><td>カナ</td><td>半角カタカナ</td></tr>
<tr><td>英字</td><td>英字・記号</td></tr>
<tr><td>数字</td><td>数字</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>0 ～ 9
＊</td><td>文字を入力する
● 入力できる文字は（P.69）</td></tr>
<tr><td>室内呼 保留</td><td>スペースを入れる</td></tr>
<tr><td>決定</td><td>「かな入力」で入力した文字を確定する</td></tr>
<tr><td>◀ ▶</td><td>文字入力後、カーソルを左右に移動する</td></tr>
<tr><td>▲ ▼</td><td>「かな入力」で入力した文字を変換する</td></tr>
<tr><td>F2（クリアー）</td><td>入力した文字を消去する
● 約2秒間押すと、カーソル以降の文字をすべて消去できます。</td></tr>
</table>

■ **文字を挿入するには**

挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■ **修正するには**

修正する文字にカーソルを移動し、F2（クリアー）で文字を消してから入力し直す

〈文字入力画面の例〉

カーソル（入力位置）

現在の文字の種類

お知らせ

● 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
● 希望の漢字に変換できないこともあります。

■「すずき」と入力するとき

● **文字の種類を「かな入力」にし、下記のように入力します。**

「す」：3（3回）

「ず」：（十字キー）※ → 3（3回）→ ＊（1回）

「き」：2（2回）

※同じボタンの文字を続けて入力するときにカーソルを右へ移動させます。

● **ひらがなのまま入力するとき**

（決定）**を押して文字を確定します。**

名前を入力 すずき	▶	名前を入力 すずき

● **漢字などに変換するとき**

（十字キー）**を押して変換後、**（決定）**を押します。**

名前を入力 鈴木	▶	名前を入力 鈴木

変換候補を表示

変換中の文字の区切りを変えるには

① 変換中に F2（クリアー）を押し、ひらがなに戻す

② （十字キー）で、変換する最後の文字にカーソルを移動し、（十字キー）を押す

名前を入力 ただのりこ

（左の例では「ただ」までが変換されます）

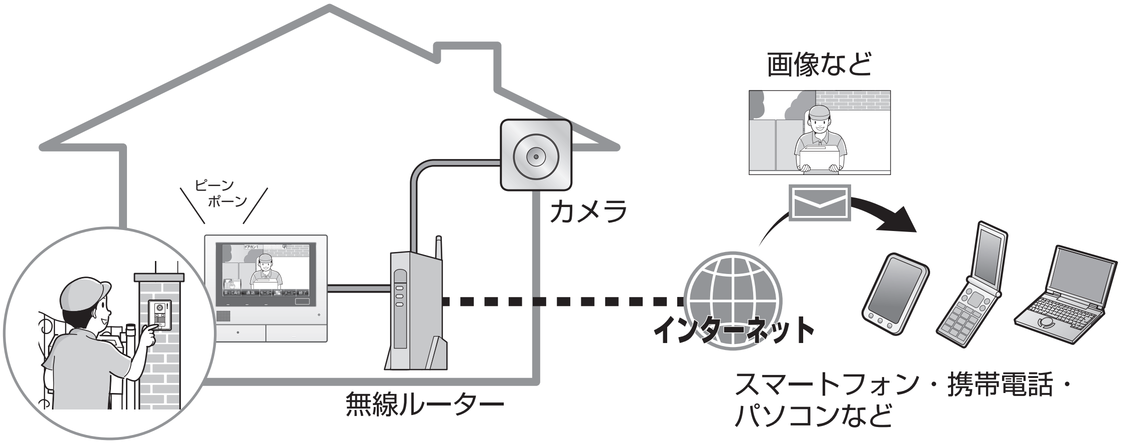
文字列一覧表

ボタン＼表示	かな	カナ	英字	数字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@ . _ -（ハイフン） & $ ¥ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	わをんー（長音）	ワヲンー（長音）	! ? / -（ハイフン） ＊ # , ; : | . ' " ( ) [ ] { } < > 「 」	0
＊	゛（濁点）゜（半濁点）、 。	゛（濁点）゜（半濁点）、 。	、 。	

● 一覧表の文字とディスプレイの文字は、形や位置が異なる場合があります。

携帯電話などにドアホンやカメラの画像をメールで送る（メール送信機能）

この機能を使うと、ドアホンの来客画像やカメラ(センサー検知時)の画像などを、外出先の携帯電話などで確認することができます。



■ メール送信できる情報について

送信できる情報	送信される場面
着信時のドアホン画像(静止画で1枚)	ドアホン(1～3)から呼び出しがあったとき
着信時のカメラ画像(静止画で2枚)	カメラ(1～4)が反応したとき
警報器やコール機器からの通知情報(「警報器反応」など)	外部入力機器(警報器やコール機器)から呼び出しがあったとき
窓/ドアセンサーからの通知情報(開いた窓/ドアの情報)	窓/ドアセンサー(報知レベル「高い」)が反応したとき

メール送信ができるようになるまでの流れ

① ネットワークに接続する (P.44)

② メール送信設定に必要な送信元情報を準備する

- インターネットサービスプロバイダーのメールサービスを使うときは、インターネットの契約書類などでご確認ください。(不明な場合は、プロバイダーへご確認ください)
- 無料で取得できるフリーメールサービスを使うときは、サービス提供元のヘルプなどを参照ください。

③ メール送信設定をする (P.71)

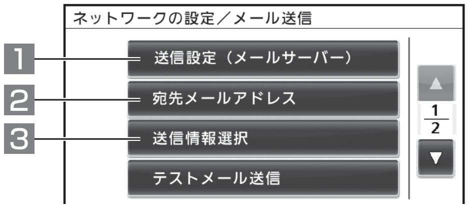
設定に必要な情報
Ⓐ プロバイダーやフリーメールサービスから取得した、あなたのメールアドレス(携帯電話のメールアドレス以外)
Ⓑ ご使用になる送信メールサーバー名(一般的にはSMTPから始まる名前です)
Ⓒ メール送信に使うSMTPポート番号
Ⓓ SSL(暗号化)設定の必要の有無
Ⓔ SMTP認証設定の必要の有無と、必要な場合のアカウント名(ユーザー名)とパスワード ・ SMTP認証は、メール送信のたびに送信者の認証を行い、サーバー側が認証できたときにメールを送信する方式です。

お知らせ

- メールの受信側で迷惑メール対策をしていると、受信できないことがあります。
  送信元として設定するメールアドレスを受信できるように、受信側の設定を変更してください。
- ネットワーク環境の状態によっては、メールが送信できない場合があります。

メール送信設定をする

1 **トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[ネットワークの設定]→[メール送信]をタッチし、下記の画面が出たら、1 ～ 3 の各項目を設定する**



1 送信設定(メールサーバー)

送信メールサーバーの設定をします。

[送信設定(メールサーバー)]をタッチし、下記の設定項目をそれぞれタッチして設定する

● 事前に準備した送信元情報(P.70の②)を参照しながら設定してください。

送信元メールアドレス
P.70のⒶを入力します。※1
送信メールサーバー(SMTP)
P.70のⒷを入力します。※1
送信ポート番号(SMTP)
P.70のⒸを入力します。※1
SSL(暗号化)
P.70のⒹの確認結果で、暗号化が必要なときは、設定画面で[使用する]をタッチします。
SMTP認証
P.70のⒺの確認結果で、認証が必要なときは、設定画面で[設定する]をタッチして、アカウント名(ユーザー名)とパスワードを入力します。※1

※1 入力後は[次へ]をタッチし、確認画面に表示された内容が正しいことを確認して[はい]をタッチしてください。
(文字入力のしかたの詳細はP.67)

● 設定が終わったら、[戻る]をタッチして次の手順へ進んでください。

2 宛先メールアドレス

最大4つのメールアドレスを設定できます。

[宛先メールアドレス]→入力する宛先のボタン(1～4)をタッチし、メールアドレスを入力する

● 入力後は[次へ]をタッチし、確認画面に表示された内容が正しいことを確認して[はい]をタッチしてください。
● 設定が終わったら、[戻る]をタッチして次の手順へ進んでください。

3 送信情報選択

お買い上げ時は、メール送信できる情報(P.70)のすべてを送信する設定になっています。
送信したくない情報があるときは、下記の設定をしてください。

[送信情報選択]→情報を送信したくない機器→[送信しない]をタッチする

● 警報器やコール機器からの通知情報の送信をやめるには[外部入力]をタッチします。
● 複数の機器の設定をするときはこの操作を繰り返します。
● 設定が終わったら、[戻る]をタッチして次の手順へ進んでください。

2 **1 ～ 3 の設定が終わったら、[テストメール送信]をタッチし、送信確認画面が出たら[はい]をタッチする**

● 送信完了画面が出たら[了解]をタッチし、設定した宛先メールアドレスにメールが届いているかを確認してください。
● その他の画面が出たときは、正しく設定されていません。P.107も参照のうえ、正しい情報を設定し直してください。

3 **終わったら、終了 を押す**

着信画面に誰も映っていないとき（戻って再生）

ドアホン親機のみ

ドアホンやカメラの呼び出しに応答しようとしたとき、すでに来客などが帰ってしまい、着信画面に誰も映っていないことがあります。
「戻って再生」機能を使うと、着信直後の録画画像（最大４枚）を表示するので、誰が来ていたかをすぐに確認できます。

1 **ドアホンやカメラの着信中に[戻って再生]をタッチする**

- 戻って再生画面が表示されます。
- ４枚の録画画像は、それぞれの画像をタッチして拡大表示できます。

■ **戻って再生画面に表示される録画画像について**

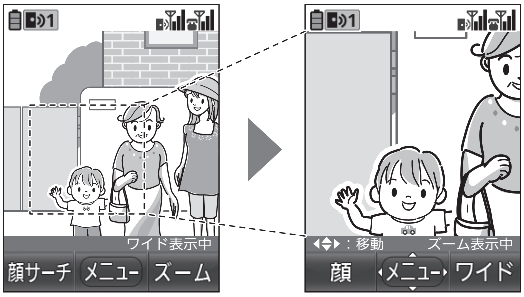
- ドアホンの場合
  着信の約２秒後から、約１秒おきの画像
- カメラの場合
  検知直前から、約0.7秒おきの画像

顔を探してズームする（顔サーチ）

子機のみ

子機でドアホン映像を表示中に「顔サーチ」機能を使うと、映っている人の顔を自動で検知し、ズームすることができます。

- ワイド表示中のみ操作できます。
- カメラ映像や録画画像にはこの機能は使えません。



1 **ドアホン映像を表示中に、**
F1 （顔サーチ）を押す

- 検知した顔がズーム表示されます。
  - 複数の人の顔を検知したときは、F1 （顔）を押すごとに、検知した顔を切り替えて表示します。
- ワイド表示に戻るには、F2 （ワイド）を押します。

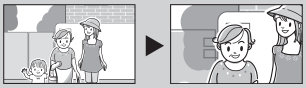
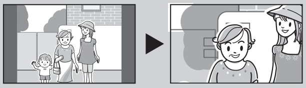
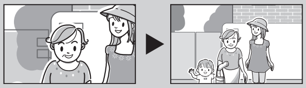
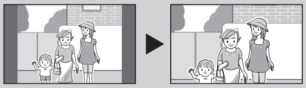
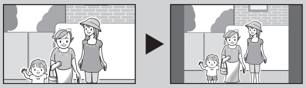
お知らせ

- 顔を検知できなかったときは、顔サーチ が表示されません。
- 下や後ろを向いた顔は検知できません。帽子をかぶっているときなど、正面を向いていても検知できないことがあります。
- 顔サーチでは、F1 （顔サーチ）を押したときに検知した顔とその場所を記憶してズームします。次のような場合は、ズームした画面に顔が映らないことがあります。
  - 顔サーチ操作後、映っていた人が場所を移動したとき
  - 顔サーチ操作後、新たに人が映ったとき

映像表示中にワイド/ズーム、パン・チルトする

映像表示中に、ワイド/ズームの切り替えやパン・チルト(表示位置の切り替え)ができます。

- パン・チルトの操作は、ズーム表示中に行います。
- パン・チルト対応のカメラをご使用の場合
  - パン・チルトの操作で、カメラレンズの向きが変わります。
  - 子機では、ワイド表示中もパン・チルトの操作ができます。

表示の切り替え	ドアホン親機の操作	子機の操作
パン・チルト	見たい位置をタッチする	
ワイド ズーム 	拡大したい位置をタッチする	F2 (ズーム)
全体表示 ズーム 		—
ズーム ワイド 		F2 (ワイド)
全体表示 ワイド 		—
ワイド 全体表示 		—

お知らせ

- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
- 映像表示中にワイド/ズームやパン・チルトをしても、画面を終了して次に映像を表示するときは下記のように動作します。
  - ドアホン映像の場合、「ワイド/ズーム設定」や「ズーム位置設定」に従って表示します。(P.21)
  - カメラ映像の場合、常にワイドで表示します。設定の変更はできません。
    パン・チルト対応のカメラをご使用のときは、「ポジション設定」で登録した位置の映像を表示します。(P.54)
- ドアホン親機の場合、録画再生時に画像をワイド/ズームしたり、パン・チルトしたりすることもできます。

通話中・モニター中に変更できる音や表示の設定

ドアホンとの通話中・モニター中や、カメラのモニター中は、下記の設定変更ができます。

通話中やモニター中の機器	音に関する設定	表示に関する設定
ドアホン	● 室内側の受話音量 ● ドアホン側に聞こえる送話音量 ● ボイスチェンジ（ドアホン側へ流す自分の声を低くする）	● ドアホンの照明設定（手動ON/OFF） ● ドアホン映像の逆光補正 ● 画面の明るさ設定
カメラ（モニター中のみ）	● 室内側の受話音量	● 画面の明るさ設定

● 送話音量の設定は、ドアホン親機でのみ変更できます。
● 表示に関する設定は、ドアホンやカメラの着信中にも変更できます。

ドアホン親機の場合

1 操作する場面に応じて下記の操作をする

■ **ドアホンとの通話中・モニター中**
[メニュー]をタッチし、[音]または[表示]をタッチする

■ **カメラのモニター中**
[メニュー]をタッチする

2 変更したい項目を設定する

室内側の受話音量を変える
[小さく]または[大きく]をタッチして調整する
ドアホン通話の送話音量を変える
[送話音量]をタッチする (タッチするごとに「小」と「標準」が切り替わる)
ボイスチェンジをする
[ボイスチェンジ]をタッチする (タッチするごとに「OFF」と「ON」が切り替わる)
画面の明るさを変える
[暗く]または[明るく]をタッチして調整する
ドアホンの逆光補正をする
[逆光補正]をタッチする (タッチするごとに「－」「OFF」「＋」が切り替わる)
ドアホンの照明をON/OFFする
[照明]をタッチする (タッチするごとに「OFF」と「ON」が切り替わる)

子機の場合

1 （メニュー）を押す

2 で変更したい項目を選び、詳細を設定する

室内側の受話音量を変える
[受話音量]→ → で調整する
ボイスチェンジをする
[ボイスチェンジ]→
画面の明るさを変える
[明るさ]→ → で調整する
ドアホンの逆光補正をする
[逆光補正]→ → で「－」「OFF」「＋」を切り替える
ドアホンの照明をON/OFFする
[ドアホン照明]→ → で「OFF」と「ON」を切り替える

お知らせ

● ご使用のドアホン（別売品）によっては、逆光補正や照明設定ができない場合もあります。また、逆光補正の設定内容（「－」「OFF」「＋」）が異なる場合もあります。

呼出音を変える（ドアホン/カメラ/外線）

ドアホンやカメラからの呼出音を変える

ドアホンの場合は、呼出音の鳴りかたも変更できます。

ドアホン親機の場合

1 トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［呼出音の設定］→［呼出音］→呼出音を変えたい機器をタッチする

2 選んだ機器に応じて下記の操作をする

■ ドアホンの場合
① 音を選んでタッチし、表示されたメッセージ画面で［はい］→［了解］をタッチする
② 鳴りかたを選んでタッチする

■ カメラの場合
音を選んでタッチし、表示されたメッセージ画面で［はい］をタッチする

3 終わったら、［終了］を押す

子機の場合

1 待ち受け画面で［決定］（メニュー）を押し、［▲▼］で［設定］メニューを開く

2 ［▲▼］で［呼出音］を選び、［決定］を押す

3 ［▲▼］で呼出音を変えたい機器を選び、［決定］を押す

4 設定する機器に応じて下記の操作をする

■ ドアホンの場合
① ［▲▼］で音を選び、［決定］を押す
② ［▲▼］で鳴りかたを選んで［決定］を押す

■ カメラの場合
［▲▼］で音を選び、［決定］を押す

5 終わったら、［終了］を押す

呼出音の種類

■ ドアホンからの呼出音

音1	ピーンポーン	音4	プルルルルルル…
音2	ピーンポーンピーンポーン	音5	ポンピンパンポン
音3	ポーンポーンポーン	音6	ピンパンピーピンパンピンポーン

※「音5」「音6」は、ドアホン親機の場合のみ設定できます。

■ カメラからの呼出音

音A	ピポッ	音C	ポーンポーン
音B	ポポポポポポ…	音D	ピーンポーン

呼出音を変える（ドアホン/カメラ/外線）（つづき）

外線の呼出音を変える

子機のみ

子機の場合、電話がかかってきたとき（外線）の呼出音を変更できます。（電話の子機として利用時のみ）

1 待ち受け画面で [決定]（メニュー）を押し、[▲▼] で［設定］メニューを開く

2 [▲▼] で［呼出音］を選び、[決定] を押す

3 [▲▼] で［外線］を選び、[決定] を押す

4 [決定]（変更）を押し、[▲▼] で音を選んで [決定] を押す

5 終わったら、[終了] を押す

■ **呼出音の種類**

ベル	ベル1〜ベル8（8種類）
メロディ	JUPITER／ヴァルキューレの騎行／CANTATA（主よ、人の望みの喜びよ）／くるみ割り人形

- ベル6〜8：
  © 2011 Akiyuki Ishida Creative Room. Associate with Office Y.K All Rights Reserved.
- メロディ：
  © 2006 Copyrights Vision Inc.

呼出音量を変える

下記の場合の呼出音量を変更できます。

● ドアホンやカメラからの呼び出し ● 室内呼び出し ● コール機器からの呼び出し ● 窓/ドアセンサーからの呼び出し（報知レベル「低い」設定時のみ）	ドアホン親機や子機でそれぞれ設定
● 外線（電話）の呼び出し（電話の子機として利用時のみ）	子機でのみ設定

ドアホン親機の場合

1 トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［呼出音の設定］→［呼出音量］→音量を変えたい項目をタッチする

2 音量を選んでタッチする

3 メッセージを確認し、［はい］をタッチする

4 終わったら、[終了] を押す

子機の場合

1 待ち受け画面で [▲▼] を押し、音量を変えたい項目を選び、[決定] を押す

2 [▲▼] で音量を調整する

- 「室内呼/内線」以外の音量は、「切」（音を鳴らさない）にすることもできます。
  - 「切」にするとき
    [切] が出るまで [▼] を押し続ける
  - 「切」を解除するとき
    [▲] を押す

3 終わったら、[終了] を押す

特定のドアホンやカメラの着信を受けたくないとき（鳴り分け設定）

鳴り分け設定を使うと、特定のドアホンやカメラの着信を受けないようにすることができます。

● 設定はドアホン親機で行いますが、着信を受ける室内機器（ドアホン親機や子機、連携使用する電話/ファクスやスマートフォン）のそれぞれについて設定ができます。

1 **トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → [応答の設定] → [鳴り分け] をタッチする**

2 **下記の操作で、鳴り分け設定する機器を選ぶ**

■ ドアホン親機を設定するとき
[親機] をタッチする

■ 電話/ファクスを設定するとき
[ワイヤレスアダプター] をタッチする

■ 子機やスマートフォンを設定するとき
① [子機] または [スマートフォン] をタッチする
② 表示された一覧から設定する機器をタッチする

3 **着信を受けたくないドアホンまたはカメラをタッチし、[鳴らない] をタッチする**

4 **終わったら、終了 を押す**

お知らせ

● 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
- ドアホンとの通話中・モニター中や、カメラのモニター中
- 室内呼び出し中、室内通話中

■ 鳴り分け設定を利用して、録画再生するドアホンやカメラの画像を制限できます

２世帯などで、複数のドアホンやカメラを世帯ごとに分けてご利用の場合に、鳴り分け設定で「鳴らない」に設定したドアホンやカメラの録画画像を、再生できないようにすることができます。

● 録画の再生制限をするには、「鳴り分け設定による再生制限」を「する」に設定してください。(P.80)

ドアホン親機の機能設定のしかた

1　トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]をタッチする

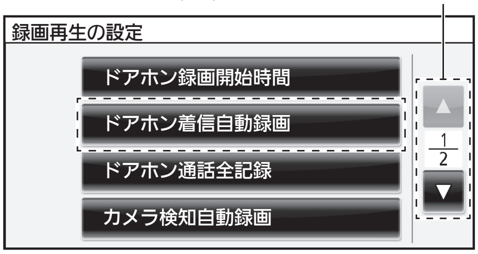
2　設定する項目名(①)→設定する機能名(②)をタッチする

● 各項目で設定できる機能は、設定一覧(P.78～83)を参照ください。

①項目一覧画面

②機能一覧画面(例)

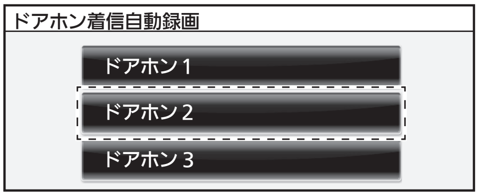
前ページ/次ページへ



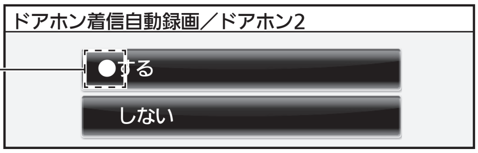
3　各機能の設定内容を選んでタッチする

● 選んだ機能によっては、サブメニュー(③)が表示されます。また、設定確認のメッセージが表示される場合もあります。
表示に従って操作をしてください。

③サブメニュー(例)



「●」が現在の設定



4　終わったら、[終了]を押す

ドアホン親機の機能設定一覧

■ 項目名「最初の設定」の機能一覧

機能名やサブメニュー			設定内容など	初期値
日時設定	―		● 設定画面が出たら、[＋][－]をタッチして現在の日時を設定し、[決定]をタッチします。	2014年 1月1日 0時00分
ワイド/ズーム設定	ドアホン(1～3)	来客時	**ズーム、ワイド、全体**	ワイド
		モニター時	● ドアホンの映像表示の設定をします。(詳細はP.21)	
ズーム位置設定	ドアホン(1～3)		● ズーム画面のとき、最初に表示する位置を設定します。(詳細はP.21)	**ワイド画面の中央**

■ 項目名「 呼出音の設定 」の機能一覧

機能名やサブメニュー		設定内容など		初期値
呼出音量 ● 詳細は(P.76)	ドアホン	大、中、小、切		大
	カメラ	大、中、小、切		大
	室内呼	大、中、小		大
	外部入力(コール機器)	大、小、切		大
	センサー(報知レベル：低い)	小、切		小
呼出音 ● 詳細は(P.75)	ドアホン(1～3)	音1～音6(6種類)	押すたび(押されるたびに鳴る)、繰り返し(5秒ごとに鳴る)、連打防止(連続押しで鳴らない)	ドアホン1 音1/押すたび ドアホン2 音2/押すたび ドアホン3 音3/押すたび
	カメラ(1～4)	音A～音D(4種類)		音A

■ 項目名「 応答の設定 」の機能一覧

機能名やサブメニュー			設定内容など	初期値
音声応答	—		する、しない ● ドアホンからの呼び出しに音声応答(P.22)できるようにするには「する」を選びます。(「する」に設定しても通話ボタンでの応答はできます)	しない
鳴り分け	親機	ドアホン(1～3) カメラ(1～4)	鳴る、鳴らない ● 着信を受けたくない機器は「鳴らない」を選びます。(詳細はP.77)	鳴る
	子機(1～6)	ドアホン(1～3) カメラ(1～4)		
	ワイヤレスアダプター	ドアホン(1～3)		
	スマートフォン(1～4)	ドアホン(1～3) カメラ(1～4)		
屋外ノイズ軽減	ドアホン(1～3)		ON、OFF ● ドアホンの周囲で「ブー」「ザー」のように一定の連続音が聞こえるような環境では、「ON」にすると通話の途切れを改善できることがあります。(ただし、来客の声などの音質も多少変わります)	OFF

設定のしかた(詳しくはP.78)

トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→ 設定する項目名→
設定する機能名やサブメニュー→ 設定内容をタッチする

● 終わったら、終了 を押す

■ 項目名「録画再生の設定」の機能一覧

機能名やサブメニュー		設定内容など	初期値
ドアホン録画開始時間	—	**標準、遅い** 「標準」: 呼び出しの約2秒後に録画を開始 「遅い」: 呼び出しの約3秒後に録画を開始 ● ドアホン着信自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選びます。	**標準**
ドアホン着信自動録画	ドアホン(1～3)	**する、しない** ● 機能の詳細は(P.27)	**する**
ドアホン通話全記録	ドアホン(1～3)	**する、しない** ● 機能の詳細は(P.27)	**しない**
カメラ検知自動録画	カメラ(1～4)	**する、しない** ● 機能の詳細は(P.51)	**する**
鳴り分け設定による再生制限	—	**する(「鳴る」機器のみ再生)、しない(全画像を再生)** ● 2世帯でご利用の場合など、録画再生時に、鳴り分け設定した機器の画像だけを再生するようにしたいときは「する」を選びます。	**しない**
画像全消去	本体メモリー	**すべての画像を消去、保護画像を残して消去**	—
	SDカード		
SDカードのフォーマット	—	● 詳細は(P.90)	—
本体からSDカードへのコピー	—	● 詳細は(P.90)	—

■ 項目名「接続機器の設定」の機能一覧

機能名やサブメニュー			設定内容など	初期値
カメラ		カメラ(1～4)	● カメラに関する各種機能の設定をします。(詳細はP.52～55)	—
ドアホン接続		ドアホン(1～3)	**あり、自動判定、なし** ● 使わなくなったドアホンがあれば、「なし」を選びます。	ドアホン1 あり ドアホン2～3 自動判定
ドアホンの名前		ドアホン(1～3)	**ドアホン(1～3)、玄関、門、勝手口** ● 設定した名前は、ドアホン側をモニターするときなどに表示されます。	ドアホン(1～3)
子機の名前		子機(1～6)	**子機、子供部屋、書斎、寝室、洋室、和室、リビング、キッチン** ● 設定した名前は、室内通話で子機を呼び出すときなどに表示されます。	—
外部入力		—	**警報器、コール機器** ● 外部入力端子の接続機器を選びます。	警報器
A接点出力		ドアホン(1～3) カメラ(1～4)	**ON、OFF** ● A接点機器(光るチャイムなど)を連動させたくないドアホンやカメラがあれば、「OFF」を選びます。	ON
窓/ドアセンサー				
	センサーの名前	センサー(1～20)	**窓1またはドア1、居間、洋室1…など全26種類**	—
	エリアの変更	(エリア1)窓1:寝室など、登録状態に応じて表示	**エリア1、エリア2、エリア3**	—
	ドア報知遅延時間(外出時)	—	**1分、3分、5分** ● 機能の詳細は(P.60)	3分
	ドア予備報知時間(帰宅時)	—	**1分、3分、5分** ● 機能の詳細は(P.60)	3分
電気錠・機器ボタン		電気錠・機器(1～2)	**電気錠、機器、なし** ● 詳細は(P.62)	なし
AV機器		登録機器一覧	● 登録されているAV機器(テレビ・レコーダー)の詳細情報を表示します。	—
ドアホン照明自動点灯		ドアホン(1～3) 来客時 / モニター時	**する、しない**	する

ドアホン親機の機能設定一覧（つづき）

設定のしかた(詳しくはP.78)

トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→ 設定する項目名→ 設定する機能名やサブメニュー→ 設定内容をタッチする

● 終わったら、［終了］を押す

■ **項目名「ネットワークの設定」の機能一覧**

機能名やサブメニュー			設定内容など	初期値
IPアドレス	IPアドレス自動設定		**する、しない** ● IPアドレスを固定にして使うときに設定します。	**する**
	DNS自動設定			
メール送信 ● 詳細は(P.70)	送信設定（メールサーバー）	送信元メールアドレス	● 送信元の情報を入力します。	—
		送信メールサーバー(SMTP)		
		送信ポート番号(SMTP)		
		SSL(暗号化)	**使用する、使用しない**	**使用しない**
		SMTP認証	**設定する、設定しない**	**設定しない**
	宛先メールアドレス	宛先(1～4)	● 宛先メールアドレスを入力します。	—
	送信情報選択	ドアホン(1～3) カメラ(1～4) 外部入力 窓/ドアセンサー	**送信する、送信しない** ● どの機器からの着信や通知をメール送信するかを設定します。	**送信する**
	テストメール送信		● 設定した宛先へテストメールを送信します。	—
	メール送信情報		● 送信元や宛先メールアドレスなど、メールの送信情報を表示します。	—
ネットワーク情報	—		● ドアホン親機のIPアドレスやMACアドレスなど、ネットワークに関する情報を表示します。	—
ソフトウェアの更新通知	—		**する、しない** ● 機能の詳細は(P.12)	**する**
ネットワーク設定の初期化	—		● ネットワークの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—

■ 項目名「 登録／減設 」の機能一覧

機能名やサブメニュー		設定内容など	初期値
登録	子機	● 子機を登録する（詳細はP.86）	—
	増設モニター	● 増設モニターを登録する（詳細はP.86）	
	カメラ	● カメラを登録する **〈サブメニューの「カメラ」をタッチ後の操作〉** P.46の「カメラをドアホン親機に登録する」の手順３～４を行ってください。	
	ワイヤレスアダプター機能	● 電話/ファクス親機を登録する（詳細はP.34）	
	中継アンテナ	● 中継アンテナを登録する（詳細はP.88）	
	窓/ドアセンサー	● 窓/ドアセンサーを登録する（詳細はP.58）	
	AV機器	● テレビ･レコーダーを登録する(詳細はP.56､57)	
	スマートフォン	● スマートフォンを登録する（詳細はP.45）	
減設	子機/増設モニター	● 各機器を減設する（詳細はP.89）	
	カメラ		
	ワイヤレスアダプター機能		
	中継アンテナ		
	窓/ドアセンサー		
	AV機器		
	スマートフォン		

■ 項目名「 その他の設定 」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
お知らせランプ点滅	**する、しない** ● 新しいお知らせや新しく録画した未確認画像があっても、お知らせランプが点滅しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
タッチ確認音	**ON、OFF** ● タッチしたときに鳴る「ピッ」音を出さないようにするには、「OFF」を選びます。	ON
親機の初期化	**親機の設定を元に戻す、本体メモリー画像全消去、出荷時に戻す** ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—
展示モード（販売店専用）	**ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、商品説明（専用のSDカードが必要）、しない** **通常は使わないでください。** **（店頭販売時の展示用などに使うモードです）**	しない

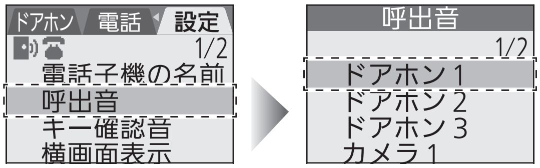
子機の機能設定のしかた

1 待ち受け画面で 決定 （メニュー）を押し、決定 で［設定］メニューを開く

2 決定 で設定する機能名（①）を選び、決定 を押す

● 選んだ機能によっては、
サブメニュー（②）が表示されます。

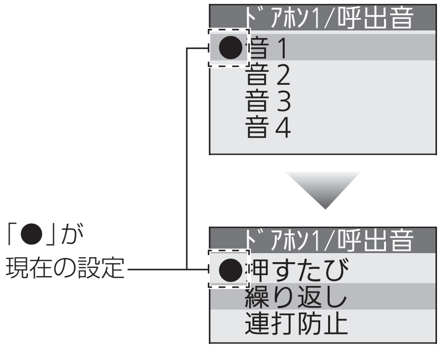
①機能一覧画面（例）　　②サブメニュー（例）



3 決定 で設定する内容を選び、決定 を押す

● 選んだ機能によってはこの操作を繰り返し行い、
設定が終わったら、終了 を押してください。

● 手順2で［電話帳全消去］や［設定の初期化］を
選んだときは、メッセージを確認して
F1 （はい）を押してください。



子機の機能設定一覧

（★）の付いた機能は、子機を電話／ファクスに登録してご使用のときに表示されます。

機能名やサブメニュー		設定内容など		初期値
電話子機の名前（★）	—	● 電話の子機としての名前をつけます。（待ち受け画面のほか、内線呼び出しで相手の画面にも表示されます） **〈名前の入力画面が出たら〉** 名前を入力（全角6文字／半角12文字まで）→ 決定 →フリガナを確認・修正（半角8文字まで）→ 決定 ● 文字入力のしかた（P.68）		—
呼出音 ● 詳細は（P.75）（P.76）	ドアホン（1～3）	**音1～音4（4種類）**	**押すたび、繰り返し、連打防止**	**ドアホン1 音1/押すたび ドアホン2 音2/押すたび ドアホン3 音3/押すたび**
	カメラ（1～4）	**音A～音D（4種類）**		**音A**
	外線（★）	**ベル1～ベル8（8種類）、JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形**		**ベル1**

機能名やサブメニュー		設定内容など	初期値
キー確認音	—	ON、OFF ● ボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を出さないようにするには、「OFF」を選びます。	ON
横画面表示	—	**する、しない** ● 子機を左右に90度回転したとき、映像を横画面表示にしたくないときは「しない」を選びます。	**する**
オフフック応答(★)	—	**する、しない** ● 電話(外線・内線)の応答方法を設定します。 「する」を選ぶと、充電台から子機を取るだけで電話を受けられます。	**しない**
外線鳴り分け(★)	グループ(1～9)	**登録しない、ベル1～ベル8(8種類)、JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形** ● 電話をかけてきた相手ごとに、別々の呼出音を設定できます。(ナンバー・ディスプレイサービスご利用時のみ) ・ グループ別に鳴り分けするには、電話帳でのグループ登録が必要です。(P.39) ・ 電話帳に未登録の相手からの電話は「呼出音/外線」(P.76)で設定した呼出音で鳴るため、ここでは「呼出音/外線」で設定した呼出音以外を選ぶことをお勧めします。	**登録しない**
	非通知		
	公衆電話		
	表示圏外		
電話帳転送(★)	親機	**個別、一斉** ● 電話帳の内容を電話/ファクス親機や別の子機に転送します。 「電話帳転送」を選択後の操作は、P.40の「電話帳を転送する」の手順2～4を参照してください。	—
	子機※1		
電話帳全消去(★)	—	● 子機の電話帳の内容をすべて消去します。	—
動作モード	—	**ドアホン/電話、ドアホン、電話** ● 電話とドアホンの両方の機能を使う場合は「ドアホン/電話」、ドアホン専用子機として使う場合は「ドアホン」、電話専用子機として使う場合は「電話」を選びます。 ● 電話/ファクス親機に増設していないときは、「ドアホン」以外選べません。(表示されません)	※2
子機増設		● 親機への登録が必要なときに操作します。 ・ 電話/ファクス親機に登録するとき(詳細はP.34) ・ ドアホン親機に登録するとき (付属の子機は登録済みです。再登録が必要なときはP.86)	—
設定の初期化		● 子機の設定のみをお買い上げ時の状態に戻します。 (ご使用のドアホン親機や電話/ファクス親機には登録されたままです)	—

※1 操作している子機以外の子機番号が表示されます。
※2 電話/ファクスに未登録のときは「ドアホン」になります。(「ドアホン」以外の選択肢は表示されません)
電話/ファクスに登録すると自動的に「ドアホン/電話」になります。

子機を増やす（増設）・増設モニターを接続して使う

別売のワイヤレス子機や増設モニター（P.94）を、本機の子機として増設できます。

- 増設できる台数は、ワイヤレス子機が付属の子機と合わせて6台まで、増設モニターは1台のみです。（ただし、ワイヤレス子機と増設モニターを併用するときは合わせて6台まで）
- 各機器を使うにはドアホン親機への登録が必要です。ワイヤレス子機や増設モニターの説明書とあわせて、よくお読みください。また、増設モニターの場合は、ドアホン親機への接続も必要です。（接続方法は本機の施工説明書をお読みください）

ワイヤレス子機をドアホン親機に登録するとき

ドアホン親機の操作

1 **トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［登録／減設］→［登録］→［子機］→増設する子機の名前→増設する子機番号をタッチする**

- 続けて**約2分以内**に子機で下記の操作を行ってください。

子機の操作（例：VL-WD614）

2 **子機の状態に応じて下記の操作をする**

■ **お買い上げ時の状態の場合（画面に「増設してください」と表示）**

F2（増設）を押す

■ **電話/ファクスに登録済みの場合**

① 待ち受け画面で［決定］（メニュー）を押し、［▲▼］で［設定］メニューを開く

② ［▲▼］で［子機増設］を選び、［決定］を押す

3 **［▲▼］で［ドアホン］を選び、［決定］を押す**

4 **［決定］（登録）を押す**

■ **登録が終わったら**

ドアホン親機の［終了］を押す

増設モニターをドアホン親機に登録するとき

登録操作はドアホン親機のみで行います。

- **あらかじめ増設モニターをドアホン親機に接続し、電源を入れておいてください。**
- 増設モニターは「子機6」として登録されます。

1 **トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［登録／減設］→［登録］→［増設モニター］をタッチする**

2 **登録する名前を選んでタッチし、［次へ］をタッチする**

3 **登録が終わったら、［終了］を押す**

中継アンテナを使用する

子機や窓/ドアセンサーがドアホン親機から離れていたり、壁などの障害物(P.11)があって、下記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナ「KX-FKD2」を設置すると改善できることがあります。

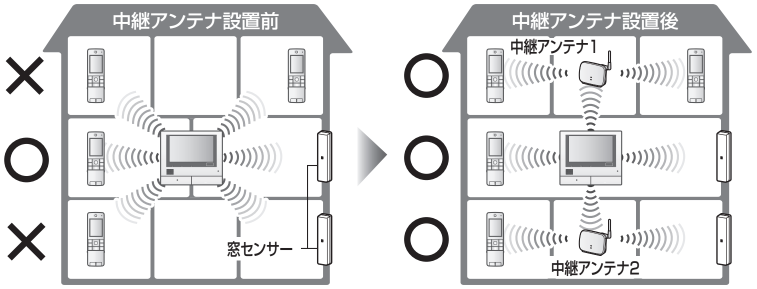
- 子機での通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- 「圏外」で使えないとき

● 設置は2台まで。中継アンテナ1台につき、複数の子機と窓/ドアセンサーへ電波を中継できます。
中継アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

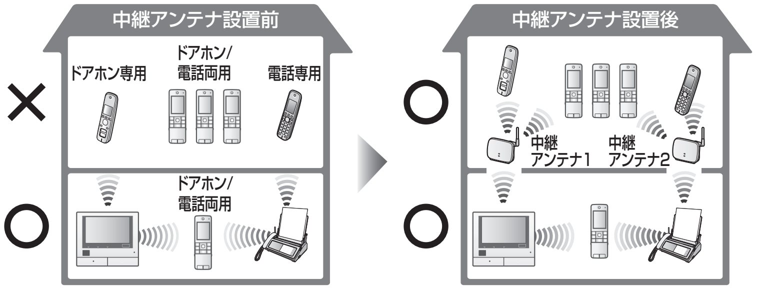
中継アンテナの設置例と電波の中継イメージ

単独接続　**中継アンテナを1台ずつ単独で使って、ドアホン親機の電波を別方向に伸ばします。**

(例1)
電話/ファクス連携なし。
2台の中継アンテナでドアホン親機の電波を別方向に中継。



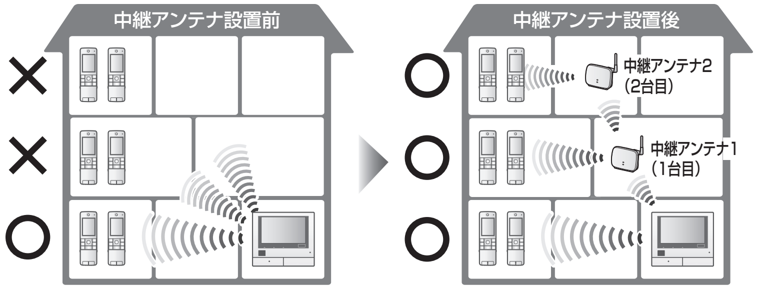
(例2)
電話/ファクス連携あり。
2台の中継アンテナでドアホン親機と電話/ファクス親機の電波をそれぞれ中継。



電話/ファクス連携時の中継アンテナ利用について
〈登録できる台数〉 ドアホン側と電話/ファクス側で合計2台まで。 〈中継アンテナの登録番号〉 ドアホン側と電話/ファクス側で別の番号にする。

● ドアホン/電話両用で使う子機を、両方の親機(ドアホン、電話/ファクス)から電波が届きにくい場所に設置すると、それぞれの親機からの電波を中継するために、中継アンテナが2台必要です。
● 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

連結接続　**2台の中継アンテナを連結接続して、ドアホン親機の電波をより遠くまで伸ばします。**



● 電話/ファクス連携時は、電話/ファクス側に中継アンテナが使えなくなります。

中継アンテナを使用する(つづき)

中継アンテナをドアホン親機に登録する

ドアホン親機の操作

1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[登録/減設] →[登録]をタッチする

2 画面右下の ▼ をタッチし、[中継アンテナ]をタッチする

3 登録する台数に応じて下記の操作をする

■ 1台目を登録するとき
登録する中継アンテナ番号をタッチする
- 続けて約2分以内に、中継アンテナで右記の操作を行ってください。

■ 2台目を登録するとき
① 登録する中継アンテナ番号をタッチする
② 接続方法(単独で接続/連結で接続)をタッチする
- 続けて約2分以内に、中継アンテナで右記の操作を行ってください。

中継アンテナの操作

4 電源を入れ、登録ボタンを約3秒間押す
- 電波レベル/登録ランプが緑点滅し、登録が完了すると点灯します。

■ 登録が終わったら
ドアホン親機の 終了 を押す

お知らせ
- 中継アンテナ登録後、子機では映像の更新速度が遅くなります。(故障ではありません)

使わなくなった機器を減設する

ドアホン親機に登録した各機器(子機・増設モニター、カメラ、電話/ファクス親機、中継アンテナ、窓/ドアセンサー、テレビ・レコーダー、スマートフォン)を使わなくなったときは、下記の操作で減設してください。

1　トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[登録／減設]→[減設]→減設する機器の種類をタッチする

- 機器によっては、画面右下の ▼ をタッチしてから選ぶ必要があります。
- 電話/ファクスの場合は、[ワイヤレスアダプター機能]を選んで、手順3へ進んでください。
- テレビやレコーダーの場合は、[AV機器]を選びます。

2　表示された一覧で、減設する機器をタッチする

- 連結接続で使用していた中継アンテナを減設するときは、遠い方の中継アンテナから減設してください。

3　メッセージを確認して[はい]をタッチする

4　終わったら、 終了 を押す

電話/ファクスの減設について

ドアホン親機から減設後、電話/ファクス側でも減設操作が必要です。操作方法はご使用の電話/ファクスの取扱説明書をお読みください。

ドアホン/電話両用で使っていた子機の減設について

- 電話の子機としての使用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。
  減設のしかたについては、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
- ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ず子機の「動作モード」(P.85)の設定を変更してください。
  動作モードを変更しないと、正しく動作しなかったり電波表示が「圏外」になったりして使えないことがあります。

お願い

- 誤動作防止のため、減設した子機の電池パックや窓/ドアセンサーの電池は外してください。

SDカードの操作（フォーマット・録画データのコピー・パソコン再生）

SDカードをフォーマットする

パソコンなどの他機器で使用していたSDカードをフォーマットする際は、事前にSDカード内の大切なデータをパソコンなどに保存してください。フォーマットするとデータはすべて消去されます。

1　フォーマットしたいSDカードを入れる

2　トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［録画再生の設定］→［SDカードのフォーマット］をタッチする

3　メッセージを確認して［はい］をタッチする

- フォーマット中は、SDカードランプが点滅します。

4　フォーマットが終わったら、［終了］を押す

本体メモリーの録画データをSDカードにコピーする

ドアホン親機の本体メモリーに記録した録画データを、SDカードにまとめてコピーできます。

- コピーするには、SDカードに16 MB以上の空き容量が必要です。
- コピーしたデータは、SDカードの「PRIVATE」フォルダーの中にある「BACKUP」フォルダーに保存されます。
  （フォルダー構造についてはP.91）
- 同じSDカードに再度コピーを行う場合、すでに「BACKUP」に保存されている録画データはすべて消去されます。（上書きコピー）
- コピーしたデータは、パソコンでのみ再生できます。（ドアホン親機では再生できません）

1　コピーしたいSDカードを入れる

2　トップメニューの［設定/情報］→［設定を変更］→［録画再生の設定］→［本体からSDカードへのコピー］をタッチする

3　メッセージを確認して、［はい］をタッチする

- コピー中は、SDカードランプが点滅します。

4　コピーが終わったら［終了］を押し、SDカードを取り出す

お願い

- SDカードランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ（P.16）を押したりしないでください。データが破壊され、正しい操作ができなくなることがあります。

データをパソコンで再生する

- SDカードに記録した画像・映像データはパソコンで再生することができます。
- 画像（JPEG形式）は、JPEG形式に対応した画像閲覧ソフトで再生できます。
- 映像（Motion JPEG形式）は、QuickTime Playerで再生できます。Windows® 7、Windows® 8の場合は、Windows Media® Playerでも再生できます。
- 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されない・正しく動作しない場合があります。
- 再生操作のしかたは、パソコンの取扱説明書または再生ソフトの取扱説明書をお読みください。

対応OS

Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Mac OS® X

お知らせ

- Microsoft® Windows Vista® operating system をWindows Vista と表記しています。
- Microsoft® Windows® 7 operating system をWindows 7 と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 operating system をWindows 8 と表記しています。

フォルダー構造とファイル形式

本機にSDカードを入れると、下記のフォルダーが自動的に作成されます。

- SDカード録画用フォルダー
- 本体メモリー（ドアホン親機）の録画データのコピー用フォルダー

SDカードに直接記録したデータと本体メモリーからコピーしたデータを、別のフォルダーに保存・管理することができます。

お願い

- パソコンでフォルダーやファイルの消去をしたり、名称の変更をしたりしないでください。本機で再生できなくなります。

SDカード録画用フォルダーについて

■フォルダー構造の例

DCIM/100_D701
（①：100）

① フォルダー番号（100～129）
他機器で記録済みのSDカードをご使用の場合、フォルダー番号は100～999になります。

■ファイル形式の例

DR1_0001.JPG
（②：DR1　③：0001　④：JPG）

② 撮影機器名
- DR1～DR3：ドアホン1～3
- CM1～CM4：カメラ1～4

③ ファイル番号
録画1件につき、同一番号が割り当てられます。
1つのフォルダーに作成されるファイル番号は0001～0100です。

④ ファイルの種類
録画1件につき、下記のファイルが作成されます。
- JPG：静止画（JPEG形式）
- MOV：動画（Motion JPEG形式）
- TXT：録画情報（TEXT形式）

本体メモリー（ドアホン親機）のコピー用フォルダーについて

■フォルダー構造の例

PRIVATE/PANA_GRP/DOOR/
BACKUP/20141013
（①：20141013）

① 録画した日付
例は、2014年10月13日を示しています。

■ファイル形式の例

13450000.JPG
（②：1345　③：00　④：00　⑤：JPG）

② 録画した時刻
例は、13時45分を示しています。

③ カウンタ番号
録画1件につき、同一番号が割り当てられます。

④ 録画1件あたりの画像番号
- 00：画像情報ファイル
- 01～08：8枚中の画像番号

⑤ ファイルの種類
録画1件につき、下記のファイルが作成されます。
- JPG：静止画（JPEG形式）
- TXT：録画情報（TEXT形式）

仕 様

ドアホン親機（モニター親機）

電　源	AC 100 V （50 Hz／60 Hz）
消費電力	待ち受け時：約1.5 W 動作時　　：約10 W
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	約183 ×210 × 29 （突起部除く）
質　量	約840 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～＋40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	約7型ワイド カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
取付方法	露出壁掛け（壁掛け金具付属）
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
A接点出力※1	定格負荷： AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷： DC 5 V／1 mA
外部入力	入力方式：無電圧メーク接点 検出確定時間：0.1 秒以上 接点抵抗値： • メーク時　：500 Ω以下 • ブレーク時：15 k Ω以上 端子間短絡電流：5 mA以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下
LANインター フェース	100BASE-TX 対応 （ケーブル：カテゴリー5以上）

※1 ドアホンから呼び出しがあった場合などに、A接点端子に接続した光るチャイムなどの機器へ信号を出力します。（詳細はP.61）

■対応の SD カード（SD 規格準拠品 ）

対応カード の種類	SDメモリーカード※2： 2 GB SDHCメモリーカード※2： 4 GB～32 GB SDXCメモリーカード※2： 48 GB、64 GB
フォーマット	SDメモリーカード： FAT16 SDHCメモリーカード： FAT32 SDXCメモリーカード： exFAT

- 動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/technic/sd.html
- SDカードの容量と録画件数の目安は（P.26）

※2 下記のカードも使えます。（専用アダプターが必要）
- miniSD メモリーカード /microSD メモリーカード
- miniSDHC メモリーカード / microSDHC メモリーカード
- microSDXC メモリーカード

ドアホン(カメラ玄関子機)

電　源	ドアホン親機より供給
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行) (突起部除く)	〈VL-V571L〉 約131 × 99 × 25 〈VL-V554L〉 露出時: 約170 × 119 × 25.4 埋込時: 約170 × 119 × 22.1 (奥行には、埋込部5.6含む)
質　量	〈VL-V571L〉 約170 g 〈VL-V554L〉 露出時:約370 g 埋込時:約330 g
使用環境条件	周囲温度:-10 ℃～+50 ℃ 湿度　:90 % 以下
最大画角	水平 約170°、垂直 約115°
取付方法	露出時: JIS 1個用スイッチボックス適合 埋込時(VL-V554Lのみ): JIS 3個用スイッチボックス適合
外観材質	〈VL-V571L〉 難燃樹脂 〈VL-V554L〉 金属部:アルミ合金 樹脂部:難燃樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防水性	〈VL-V571L〉 IPX3※3(旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」) 〈VL-V554L〉 IP54※4(IEC60529/旧JIS C 0920 防塵・防まつ形)

※3 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

※4 防塵性規格等級5:
機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル
防水性規格等級4:
あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

子　機(ワイヤレスモニター子機)

■本 体

電　源	専用ニッケル水素電池 (品番:KX-FAN57) (DC 2.4 V)(630 mAh)
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約170 × 52.5 × 25.5 (突起部除く)
質　量	約155 g(電池パック含む)
使用環境条件	周囲温度:0 ℃～+40 ℃ 湿度　:90 %以下
画面表示	約2.7型 カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式 (ドアホン通話)	音声交互自動切替方式
使用時間※5	ドアホン通話(スピーカーホン): 約1.5時間※6 外線通話※7(受話口での通話): 約5時間※8 待ち受け時間:約100時間
充電時間※9	約10時間
使用可能距離	約100 m/親機との見通し距離

※5 充電完了の状態で、使用環境温度が20 ℃のとき

※6 10分間隔で約2分間通話をした場合の累積通話時間

※7 電話/ファクス親機に増設時

※8 スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪いところで使う場合は、連続使用時間が短くなります。

※9 使用環境温度が20 ℃、電源電圧がAC100 Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

■充 電 台

電　源	AC100 V(50 Hz/60 Hz)
消費電力	待ち受け時:約0.14 W (子機を充電台から外しているとき) 充電時　:約0.6 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約39 × 75 × 73 (突起部除く)
質　量	約150 g
使用環境条件	周囲温度:0 ℃～+40 ℃ 湿度　:90 %以下

別売品・連携できる機器一覧

記載した情報は2014年6月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

別売品

価格、ご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

増設用のドアホン（玄関子機）	
カメラ玄関子機	〈露出型〉 VL-V571L-S※1 VL-V522L-S VL-V521L-S VL-V566-S 〈露出/埋込両用型〉 VL-V554L-S※2
音声玄関子機	VL-V500-K
増設用の子機など	
ワイヤレスモニター子機	VL-WD614※3 （ドアホン/電話両用）
ワイヤレス子機（音声タイプ）	VL-WD611 （ドアホン専用）
増設モニター	VL-V671K
その他	
ワイヤレス子機用電池パック	KX-FAN57※4
中継アンテナ	KX-FKD2

※1 VL-SWD701KL/SVD701KLに付属のドアホンと同じ仕様です。
※2 VL-SWD701KS/SVD701KSに付属のドアホンと同じ仕様です。
※3 VL-SWD701KL/SWD701KSに付属の子機と同じ仕様です。
※4 お買い上げの販売店にて、お取り寄せとなります。

● 付属と異なるドアホンや子機は仕様や機能が異なります。増設の際は事前にご確認ください。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/

パナソニックグループのショッピングサイト
Panasonic Store

連携できる機器一覧

パナソニック製の機器をご使用いただけます。(一部、他社製品もあります)

● 最新の情報は、サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/

電話/ファクス(ワイヤレスアダプター機能対応機種)※1	
電話機	VE-GDF61/GDW03/GDS01/GD23/GD32/GD51/GD53/GD71シリーズ
ファクス	KX-PD101/PD303 /PD502/PD551/PD552/PD603/PD702/PD703シリーズ
窓/ドアセンサー	
窓センサー	KX-FSD10 KX-FSD10W(2個入り)
ドアセンサー	ECID20A
カメラ	
センサーカメラ	〈屋内用〉 VL-CD215、VL-CD235 〈屋外用〉 VL-CD265(ライト付き)
スマートフォン(ドアホンアプリ対応) ●動作確認済みの機種は上記のサポートサイトでご確認ください。(一部の機種では使えない機能などもあります)	
iPhone、iPad	iOS 6.0 以降(iPhone 4S以降)
Androidスマートフォン	Android 4.0 以降
電気錠やエアコンなど(JEM-A対応機器※2)	
JEM-Aアダプタ※3	CZ-TA2
電気錠操作器	WQN4503W

※1 本機はドアホンアダプター「VE-DA10-H(VE-DA10)」での接続はできません。

※2 一般社団法人日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。
この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

※3 電気錠やエアコンなどの接続に必要なアダプタです。(接続は2台まで)

警報器やコール機器など ●いずれかを1種類のみ		
火災警報器	住宅用火災警報器※4(単独型、移報接点付き)	〈けむり当番〉 SH28413、SH38453K 〈ねつ当番〉 SH28113、SH38153K ● 以下、能美防災(株)製 〈煙検知式〉FSKJ219-S 〈熱検知式〉FSLJ009-S
火災警報器	移報接点アダプタ※5	SH2890(連動型用) SH3290(ワイヤレス連動型用)
ガス漏れ警報器		SH137K、SH13928
コール機器(コール用押釦)		WS65771、WS65311
光るチャイムやメロディサインなど ●いずれかを1種類のみ		
光るチャイム		EC170(P)
メロディサイン※6		〈乾電池式〉 EC5227W(P)、EC5117WKP EC5347 〈AC100 V式〉 EC710K、EC730W
警報ランプ付ブザー		EA5501
回転灯(株)パトライト製		KJS-110、KJSB-110、KES-110

※4 単独型の火災警報器は15台まで並列接続できます。

※5 連動型の火災警報器を接続するためのアダプタで、14台まで火災警報器を接続できます。(接続できる火災警報器は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください)

※6 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。
(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)

別売品・連携できる機器一覧（つづき）

テレビ/レコーダー（ビエラ/ディーガ）	
テレビ	ZT5/WT5/VT2/VT3/VT5/VT60/FT60/DT3/DT5/DT60/GT3/GT5/GT60/ET5/ST3/RT2B/V1/V2/D2/G1/G2/G3/E5/E60/S2/S3/R1/R2/R3/R2B/RB3/X1/X2/X3/X5/X6/X50/Z1/C1/C2/C10/C21/F1/PZR900/PZ800/PZ85/PZ80/PX80/LZ85/LZ80/LX80/LX8/PZ750SK シリーズ 〈ポータブルタイプ〉 DMP-BV300/DMP-HV200/DMP-HV150
レコーダー	BXT3000/BZT9000/BZT9300/BZT750/BZT830/BZT730/BZT920/BZT820/BZT720/BZT910/BZT810/BZT710/BZT900/BZT800/BZT700/BZT600/BWT3100/BWT2100/BWT1100/BWT3000/BWT2000/BWT1000/BWT650/BWT550/BWT630/BWT530/BWT620/BWT520/BWT510/BWT500/BW890/BW690/BW880/BW780/BW680/BW970/BW870/BW770/BW950/BW850/BW750/BW930/BW830/BW730/BW900/BW800/BW700/XW320/XW120/XW300/XW100/XW200V

子機の電話機能の制限について

子機は下記の電話/ファクス親機に増設できますが、増設した親機によって利用できない機能があります。

増設した親機の品番 ＼ 制限される子機の機能	コードレス電話機 VE- GD23	コードレス電話機 VE- GD32 GD51 GD53 GD71	コードレス電話機 VE- GDS01 GDW03	コードレス電話機 VE- GDF61	パーソナルファクス KX- PD101 PD303 PD502 PD551 PD552	パーソナルファクス KX- PD603 PD702 PD703
親機と子機間の内線通話(P.36)	○	○	×	○	○	
子機から親機への電話帳転送(P.40)	×	○	×	×	○	
ファクス受信(P.40)	×	×	×	×	○	

商標・ライセンスについて

商標などについて

- SDXC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- 子機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- “Wi-Fi”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad はApple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示されるGPLやLGPLのライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページへ掲載しています。
GPL、LGPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、パナソニックシステムネットワークス株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL／LGPLの利用許諾条件の下、実費にて、GPL／LGPLソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。
上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記URLをご参照ください。
http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
  (ii)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本製品には thttpd-2.25b、NetBSD、OpenSSL Project、Arcfour、MD5 message-digest algorithmで第三者よりライセンスされたソフトウェアも含まれています。
  このライセンスの情報は、下記のサポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/com/support/tvdfon/

困ったとき

ドアホン映像表示や録画画像について

人の顔が暗く映る

- ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。
  ➔ 逆光補正をしてください。(P.74)

映像がゆがんで見える

- カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。

背景が緑っぽく映る

- 夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがありますが、故障ではありません。

夜間の映像が暗く顔が識別できない

- 「ドアホン照明自動点灯」の設定が「しない」になっていませんか？ (P.81)
  ➔ 設定を「する」にしてください。
- ドアホンの照明（LEDライト）点灯時でも、撮影範囲の両端付近（ドアホンの真横など）はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。
  ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。

映像がはっきりしない（焦点が合わない）

- ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか？
  ➔ 柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ドアホンのレンズカバーが結露していませんか？
  ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。

映像全体が白っぽい、または黒っぽい

- 明るさの設定は適切ですか？
  ➔ 明るさを調整してください。(P.74)

映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される

- ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。（故障ではありません）
  ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。

画面全体がちらつく

- ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか？
  ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと（フリッカー現象）があります。（故障ではありません）

ズームで表示される最初の映像に、見たいエリアが映っていない

- ズーム位置が適切に設定されていません。
  ➔ 「ズーム位置設定」をしてください。(P.21)

子機の映像が乱れる（または映像の更新が遅い）

- 子機背面のアンテナ部(P.18)を手でおおっていませんか？
  ➔ アンテナ部から手を離してください。
- 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.11)がありませんか？
  ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。
- ドアホン親機に中継アンテナを登録していませんか？ (P.88)
  ➔ 中継アンテナを登録後は、子機では映像の更新速度が遅くなります。（故障ではありません）

夜間に録画されたドアホン画像が暗い

- 夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。
  ➔ ドアホン親機で、「ドアホン録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。(P.80)

青画面（画像なし）が録画されている

- 音声専用のドアホンを接続していませんか？
  ➔ 自動録画機能により、着信時に表示される青画面が録画されます。
  「ドアホン着信自動録画」の設定で、音声専用ドアホンの自動録画を「しない」にすることをお勧めします。(P.80)

困ったとき（つづき）

カメラの映像表示や録画画像について

人がいるのに、人物がまったく、または ほとんど映っていない

- 次のような場合、うまく撮影できないことがあります。
  - センサーの検知エリアの境界付近にいる人などの動き
  - カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人などの動き
  - カメラの近く（約1 m付近）を横切った人などの動き

映像がはっきりしない（焦点が合わない）

- カメラのドームカバー（レンズカバー）に汚れなどが付いていませんか？
  ➔ ドームカバー（レンズカバー）を柔らかい乾いた布で拭いてください。

映像が適切な明るさにならない

- カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。
  ➔ 約1秒お待ちください。自動で補正されます。

画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが判別しにくい

- 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが判別しにくくなります。（故障ではありません）
  ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。※1

被写体がぶれる

- 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません）
- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。
  ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。※1

映像に白点または色のついた光の点が表示される

- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。（撮像素子の特性で、故障ではありません）
  ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。※1

映像表示や録画がされない（または中断された）

- 屋内カメラをご使用の場合、カメラ側でプライバシーボタンを押す（かくれンズ設定をする）と、映像送信を終了します。
  このため、映像表示や録画が中断することがあります。

※1　屋外用カメラのLEDライトは侵入者に対する威嚇用で、撮影のための照明ではありません。

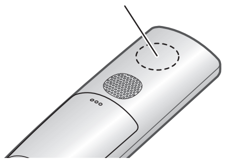
応答・通話

音声応答がうまくいかない

- 応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く（約1秒以上）伸ばしすぎたりすると、うまく応答できません。
  ➔ 「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。

通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない

- 自分または通話相手の周りで大きな音がしていると、通話が途切れることがあります。
  ➔ ドアホンの周囲で「ブー」「ザー」のように一定の連続音が聞こえるような環境では、「屋外ノイズ軽減」の設定を「ON」にすると、通話の途切れを改善できることがあります。(P.79)
  ➔ 非連続の音(車や電車、ペットの鳴き声など)や、室内側の音で通話が途切れるときは、プレストーク通話をお使いください。(P.22)
- 子機との通話の場合
  - 子機背面のアンテナ部（下記）を手でおおっていませんか？
    ➔ アンテナ部から手を離してください。
  - 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.11)がありませんか？
    ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。
    移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.87)



雑音（ハウリング）が聞こえて通話できない

- 通話中の相手との距離が近すぎると、雑音（ハウリング）が聞こえます。
  ➔ 少し離れた場所で通話してください。

呼出音

ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない

- 呼出音量が「切」になっていませんか？
  ➔ 呼出音量の設定を確認・変更してください。(P.76)
- くらしモードが「夜間」になっていませんか？
  ➔ 夜間モードの詳細設定の「消音」設定を確認してください。(P.33)
- 「鳴り分け」設定をしていませんか？
  ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。(P.77)
- 子機の電池が切れていませんか？
  ➔ 充電してください。(P.20)

子機（電話）

電話の呼出音が鳴らず、電話をかけることもできない（子機を電話/ファクス親機に近づけても電波表示が「圏外」になる）

- 電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか？ (P.35)
  ➔ ドアホン親機に近づけて設置し直してください。
- 電話/ファクス親機とドアホン親機の間にコンクリート壁などの障害物(P.11)がありませんか？
  ➔ 電話/ファクス親機は、ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物のない場所に設置し直してください。

相手の声が途切れる、または雑音が入る

- 子機背面のアンテナ部(P.18)を手でおおっていませんか？
  ➔ アンテナ部から手を離してください。
- 子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.11)がありませんか？
  ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に移動してください。

子機（充電）

充電台に置いたときに充電ランプが早点滅する

- 電池パックが入っていません。
  ➔ 電池パックを正しく取り付けてください。(P.20)

が点滅し、「ピッピッ」と鳴る

- 電池がなくなりかけています。
  ➔ すぐに充電してください。(P.20)

充電台に置いても充電ランプが点灯しない

- 電源プラグがコンセントから外れていませんか？
  ➔ しっかり取り付けてください。
- 充電台に正しく置いていますか？
  ➔ 正しく置いてください。
  （充電ランプが赤点灯します）
- 電池パックが新品、または電池が切れていませんか？
  ➔ 数分間、充電台に置いたままにしてください。

充電時間が長い（約10時間充電しても充電ランプが消灯しない）

- 次の場合は、充電完了までの時間が長くなります。
  - 充電の途中で、子機を使用したとき
  - 使用環境温度が20 ℃より低いときや、電源電圧がAC100 Vより低いとき
  - 子機に「」や「」が表示されているとき

  ➔ ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、子機の電波表示が「」になるまで、ドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけて充電してください。

充電完了まで充電しても、2、3回使うと が点滅する

- 電池パックの寿命です。
  ➔ 交換してください。(P.20)

子機、充電台が温かい

- 異常ではありません。（夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります）
  ➔ 非常に熱いときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

電話/ファクスとの連携

ワイヤレスアダプター機能で接続した電話／ファクスで
- **ドアホンの呼出音が鳴らない**
- **ドアホン通話が途切れる**

● ワイヤレスアダプターの設定（増設）は完了していますか？
➔ 設定を完了してください。(P.34)

● ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物(P.35)がありませんか？
➔ ドアホン親機で電波状態を確認(P.64)し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。
別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。

● 上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機のリセットスイッチ(P.16)を先端の細いもので押してください。（ドアホン親機に録画された画像、登録した設定内容などは消えません）

スマートフォン／カメラ／AV機器(テレビ・レコーダー)との通信について

スマートフォン／カメラ／AV機器（テレビ・レコーダー）と通信できない

● ドアホン親機に、各機器が登録されていますか？
➔ 登録しないと通信できません。各機器を登録してください。(P.45、46、56、57)

● ドアホン親機と各機器間のLANケーブルが、正しく接続されていますか？ (P.44)
➔ 各機器の説明書も参照のうえ、正しく接続されているか確認してください。
➔ テレビやレコーダーとの通信ができない場合はテレビやレコーダー側で、ドアホン親機とのネットワーク接続や設定も確認してください。

● ハブをご使用の場合、ハブのLinkランプが消灯していませんか？
➔ 電源や接続を確認してください。

● ルーターをご使用の場合は次のことを確認してくだい。
- ルーターの電源が入っていますか？
➔ ルーターの電源を入れてください。ルーターのDHCP機能により、各機器のIPアドレスが自動的に割り当てられると、ドアホン親機と通信ができるようになります（IPアドレスの取得には、3分程度かかる場合があります）。ルーターの電源は常に入れた状態にしておいてください。
- ルーターを再起動したり電源を入れ直すと、各機器との通信ができなくなることがあります。
➔ ルーターの電源が入っていることを確認し、ドアホン親機のリセットスイッチ(P.16)を先端の細いもので押して再起動してください。（ドアホン親機に録画した画像、登録した内容などは消えません）
次に、カメラ、テレビ、レコーダーの電源を入れ直してください。

カメラとの連携（センサーの動作）

センサーが反応しない
- 動作検知や人感（熱）センサーがはたらかない

● 「人感センサー」(P.53)や「動作検知」(P.47)の設定で、検知をしない設定になっていませんか？
➔ 設定を確認してください。

● 人感（熱）センサーの場合、「検知タイマー」(P.53)の設定により、暗いときしか反応しません。また、動作検知でも上記の「検知タイマー」の設定を「常時」以外にしていると、設定した時間帯しか動作しません。
➔ 「検知タイマー」の設定を確認してください。

● カメラ（センサー検知）を「休止」にしていませんか？
➔ くらしモードで、カメラの状態を確認してください。(P.50)

〈上記以外で動作検知がはたらかない〉

● 被写体の動きが小さいと、検知しないことがあります。
➔ 「動作検知」の設定で、感度の設定をより高い設定に変更してください。(P.47)

● 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。
➔ 人感（熱）センサーを使用するか、補助灯などを設置して被写体周辺が明るくなるようにしてください。

〈上記以外で人感（熱）センサーがはたらかない〉

● 次の場合は、反応しないことがあります。
- 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき
- 人感（熱）センサーに雪が付いたとき
- カメラの正面から人が近づいてきたとき

● 夏場など、気温が人の表面温度に近いときは、検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。
➔ 「人感センサー」の設定で、感度の設定をより高い設定に変更してください。(P.53)

センサーが反応したのに、ドアホン親機や子機に通知（呼出音と映像）がこない（カメラのモニターはできる）

● ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、カメラからの着信を「鳴らない」に設定していませんか？
➔ 「鳴り分け」設定を確認してください。(P.77)

センサーが誤動作する
- 車が通るたびに反応する
- 人がいないのに反応する

● 次の場合は、動きや明るさの変化を検知して動作検知が反応したり、温度変化を検知して人感(熱)センサーが反応することがあります。
- 検知エリアに、車が入り込んだとき
（車本体やヘッドライトが映りこむと、動きや明るさを検知して動作検知が反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても人感（熱）センサーが温度変化を検知すると反応します）
- 検知エリアに、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき（動作検知が反応）
- 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき（動作検知や人感(熱)センサーが反応）
- 雨や雪がレンズカバーに付着したり、流れ込んだりしたとき（屋外用カメラで動作検知が反応）

➔ カメラの撮影方向に車道が入らないように、角度を調整してください。
➔ 動作検知が誤動作する場合、「動作検知」(P.47)の設定で、検知エリアや感度を調整してください。また、夜間に車のヘッドライトで誤検知する場合は、「検知タイマー」(P.53)の設定で、動作を検知する時間帯を設定してください。
➔ 人感(熱)センサーが誤検知する場合、「人感センサー」(P.53)の設定で、感度の設定を調整してください。屋外用カメラでは、付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って検知エリアの調整もできます。（詳細はカメラの説明書を参照）

〈上記以外で人感(熱)センサーが誤動作する〉

● 次のような場所で、誤動作することがあります。
- 直射日光の当たる場所
- エアコンの本体や室外機の近くなど、温度変化の激しいところ
- 油汚れが付いたり、蒸気がかかる場所
- 外灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ
- 火気・熱器具の近く
- 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生するものの近く
- 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- 温度に影響するような強い発光物（蛍光灯など）がある場所
- 携帯電話など強い電波を発信する製品の近く

➔ 屋外用カメラでは、付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って検知エリアを調整できます。（詳細はカメラの説明書を参照）

● 冬場など、気温が低いと検知距離（5 m）が長くなり、検知しすぎることがあります。
➔ 「人感センサー」(P.53)の設定で、感度の設定をより低い設定に変更してください。

困ったとき（つづき）

カメラとの連携（センサーの動作）

人感（熱）センサーが反応しにくくなった

- 人感（熱）センサーの表面が汚れています。
  ➔ 表面を柔らかい乾いた布で拭いてください。

正面方向から近づいてくる人を検知できない

- カメラの正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。
  ➔ 次の対応をしてください。
  - 検知させたい人物がカメラを横切るようにカメラの設置場所を変更する。（人物は横向きに映りやすくなります）
  - 屋外用カメラの場合、正面から近づく人物を検知・撮影したいときは、市販の外部センサーをご使用ください。（詳細はカメラの説明書を参照）

メールの送信

テストメール送信の際、送信完了の表示が出たのに、宛先にはメールが届いていない

- 宛先メールアドレスに誤りがありませんか？
  ➔ 確認のうえ、正しく設定し直してください。(P.71)

その他

新しく録画した未確認画像があるのに、

- 「新着の未確認あり」(子機では「新着の未確認画像あり」)の表示が出ない
- お知らせランプが点滅しない

- 「鳴り分け設定による再生制限」(P.80)を「する」に設定していると、新しく録画した未確認画像があっても上記の表示が出なくなり、お知らせランプも点滅しなくなります。
- お知らせランプだけが点滅しないときは、「お知らせランプ点滅」(P.83)の設定が「しない」になっていないか確認してください。

・画面に「展示モード」と表示されている ・呼出音が定期的に鳴る ・通話ができない

- 「展示モード（販売店専用）」が設定されています。
  ➔「展示モード（販売店専用）」(P.83)の設定を「しない」にしてください。

正しく操作しても動かない 動作がおかしい

- 直らないときは、下記のリセット操作を行ってください。

〈ドアホン親機〉 リセットスイッチ(P.16)を先端の細いもので押してください。
（録画された画像、登録した設定内容などは消えません）

〈子機〉 電池パックを入れ直してください。
登録した設定内容などは消えません。

ドアホン親機が動作しない

- 映像が映らない
- 呼出音が鳴らない
- 音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？
  ➔ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。
  それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源直結工事をして、ご使用のとき
  ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。

子機にだけ下記の通知がこない
- **窓/ドアセンサーが反応したとき**
- **警報器やコール機器が反応したとき**

● 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ (P.11)
➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

● 子機の電池が切れていませんか？
➔ 充電してください。(P.20)

● 電話/ファクス親機に登録した窓/ドアセンサーからの通知がこないとき
- 子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？
  ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

ドアホン親機でタッチパネル上のボタンにタッチしても
- **反応しない**
- **別のボタンが反応する**

● 反応しない場合
- タッチパネルが汚れていませんか？
  ➔ タッチパネルのお手入れを行ってください。(P.13)
- お手入れをしても改善しない場合は、タッチパネルの調整が必要です。(下記)

● 別のボタンが反応する場合
- タッチパネルの調整が必要です。(下記)

〈タッチパネルの調整のしかた〉

1. ドアホン親機の [終了] を押しながら [通話] を3回押す
   ●「タッチパネル調整」画面が表示されます。
2. 画面の指示に従って＋マークを指でタッチする（5か所）
3. 表示されるメッセージを確認して、[決定] をタッチする

CS デジタル放送（特定チャンネル）の画像が乱れる

● 本機※1の電波がCS デジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。
➔ 下記のように、CS･BS 対応の受信設備をお使いください。
- 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS･BS対応のものを使う
- 接続ケーブルは、「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS･BS対応のものを使う
- 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ（CS･BS専用ケーブルに対応）を使う

無線LAN経由で、パソコンやスマートフォンなどがインターネットに接続できない（または接続が不安定である）

● 本機※1と無線ルーターの設置位置が近いと、電波がお互いの機器に影響し、接続できないことがあります。本機と無線ルーターは約3 m以上離して設置することをお勧めします。

設定内容を元（お買い上げ時の状態）に戻したい

● ドアホン親機の設定を元に戻すには、ドアホン親機で「親機の初期化」をしてください。(P.83)

● 子機の設定を元に戻すには、子機で「設定の初期化」をしてください。(P.85)

※1 無線通信に1.9 GHz 帯を使用している中継アンテナなどの別売品も含みます。

こんな表示が出たら

ドアホン親機や子機の画面に表示されるコード番号(U●●)から検索できます。コード番号がないものは、「その他(コード番号なし)」として記載しています。

U2●（SDカード関連）

表示	原因と対応
U25	フォーマットされていないSDカード、またはパソコンなどの他機器でフォーマットされたSDカードです。 ➔ 本機でフォーマットすると使える場合があります。「お知らせ画面」からフォーマットするか、機能設定の「フォーマット」をしてください。（P.90）
U27	本機以外(デジタルカメラなど)で保存されたデータがいっぱいのため、本機で使用するための容量が不足しています。 ➔ データを保存した機器で不要なデータを削除してから再挿入するか、本機でフォーマットしてください。（P.90）

U3●（子機関連）

表示	原因と対応
U31	ドアホン親機に子機を登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ 子機をドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。（P.86）

U4●（中継アンテナ）

表示	原因と対応
U41	ドアホン親機に中継アンテナを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ 中継アンテナの電源を確認し、ドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。（P.88）
U43 U44 U45	次の理由で、中継アンテナの減設が必要です。(ドアホン親機からの減設は、この画面から行うことができます) • ドアホン親機と電話 / ファクス親機に別々に登録している 2 台の中継アンテナが、同じ番号になっている ➔ 同じ番号では使えません。ドアホン親機からいったん中継アンテナを減設し、別の番号で登録し直してください。 • ドアホン親機と電話 / ファクス親機に、合計 3 台以上の中継アンテナが登録されている ➔ 合計で2台までしか使えません。2台以下になるよう、ドアホン親機または電話/ファクス親機から減設してください。

U5●（電話/ファクス連携）

表示	原因と対応
U51	ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ 親機同士を近づけて登録操作をやり直してください。（P.34）
U52	電話/ファクス親機から電波が届いていないため、電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません。 ➔ 電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、画面に表示された[電話／ファクスを探す]をタッチしてください。(電話/ファクス親機の電波を探します) ➔ 上記の操作を行っても「圏外」になるときは、電話/ファクス親機の設置場所に問題がある場合があります。 P.35を参照のうえ、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。

U6●（窓/ドアセンサー連携）

表示	原因と対応
U61	ドアホン親機に窓/ドアセンサーを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ ドアホン親機の電波の届く範囲内で登録操作をやり直してください。（P.58）

U7●（テレビ/レコーダー連携）

表示	原因と対応
U74	ドアホン親機にテレビ/レコーダーを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ ドアホン親機とテレビ/レコーダー間の接続や電源を確認し、登録操作をやり直してください。（P.56、57）

U8●（増設モニター）

表示	原因と対応
U81	ドアホン親機に増設モニターを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ ドアホン親機と増設モニター間の接続や電源を確認し、登録操作をやり直してください。（P.86）

U1●●（ネットワーク設定）

表示	原因と対応
U103	ドアホン親機と同じIPアドレスが、ほかのネットワーク機器にも使われています。 ➔ 機能設定の「ネットワーク情報」(P.82)でドアホン親機のIPアドレスを確認してください。（お知らせ画面表示中は[ネットワーク情報]をタッチしてIPアドレスの確認ができます） IPアドレス確認後は、ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。
U145	送信メールサーバー(SMTP)の設定に誤りがあります。 ➔ 正しく設定し直してください。(P.71)
U146	次のようなことが考えられます。 ● 送信ポート番号(SMTP)に誤りがある ● SSL(暗号化)の設定が必要なのに、設定がされていない※1 ● SSL(暗号化)の設定が不要なのに、誤って設定されている※1 ➔ 上記のいずれかを確認のうえ、正しく設定し直してください。(P.71)
U147	SMTP認証のアカウント名(ユーザー名)やパスワードに誤りがあります。 ➔ 正しく設定し直してください。(P.71)
U149	SMTP認証の設定が必要なのに、設定がされていません。※1 ➔ SMTP認証を[設定する]に変更してアカウント名(ユーザー名)とパスワードを入力してください。(P.71)
U152	SMTP認証の設定が不要なのに、誤って設定されています。※1 ➔ SMTP認証を[設定しない]に変更してください。(P.71)

※1 SSL(暗号化)やSMTP認証設定について設定が必要かどうかは、ご使用のメールサービスで異なります。不明な場合は、プロバイダーに確認するか、サービス提供元のヘルプを参照ください。

U2●●（スマートフォン連携）

表示	原因と対応
U201	ドアホン親機にスマートフォンを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ スマートフォンをWi-Fi接続する無線ルーターの電源や、ドアホン親機と無線ルーター間の接続を確認し、スマートフォンにWi-Fiの電波が届く範囲内で登録操作をやり直してください。(P.45)

こんな表示が出たら（つづき）

U6●● (子機画面の表示)

表示	原因と対応
U601	親機への登録に失敗しました。登録する親機に子機を近づけ、登録操作をやり直してください。 • 電話/ファクス親機への登録 (P.34) • ドアホン親機への登録 (P.86)
U615	次のようなことが考えられます。 • 子機 (VL-WD614) を登録した電話 / ファクス親機とは別の電話 / ファクス親機を、ドアホン親機にワイヤレスアダプター機能で登録した ➔ 子機をドアホン/電話両用で使うには、ワイヤレスアダプター機能の登録をやめるか、子機を登録した電話/ファクス親機から、子機登録を解除(減設)し、ワイヤレスアダプター機能で登録した別の電話/ファクス親機に子機を登録し直してください。 • 複数の子機 (VL-WD614) を、それぞれ別の電話 / ファクス親機に登録した ➔ ドアホン/電話両用で使うすべての子機を、1台の同じ電話/ファクス親機に登録してください。 • 電話 / ファクスの買い替えなどで、子機を新しい電話 / ファクス親機に登録し直した ➔ すべての子機登録が完了するまで、この表示が出ることがあります。電話/ファクス親機を替えるときは、今までご使用の親機からすべての子機を減設したあとで、新しい親機に登録し直してください。
U632	子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.11)がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

表示	原因と対応
U637	次のようなことが考えられます。 • 電話 / ファクス親機の電源が入っていない • 電話 / ファクス親機が、ドアホン親機から離れすぎている ➔ 適切な処置を行ってから、 決定 (再開) を押してください。
U652	次のようなことが考えられます。 • カメラの電源が入っていない • カメラの LAN ケーブルが抜けている • 無線カメラの場合、無線 LAN との接続が不安定になっている ➔ カメラ側の状態を確認のうえ、適切な処置をしてください。
U661	子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物(P.11)がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

U8●● (カメラ連携)

表示	原因と対応
U801	ドアホン親機にカメラを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ ドアホン親機とカメラ間の接続や電源を確認し、登録操作をやり直してください。(P.46)
U811 U813 U815 U823 U825 U831	次のようなことが考えられます。 • カメラの電源が入っていない • カメラの LAN ケーブルが抜けている • 無線カメラの場合、無線 LAN との接続が不安定になっている ➔ カメラ側の状態を確認のうえ、適切な処置をしてください。 ➔ カメラ情報画面 (P.50) を表示すると、通信できないカメラを確認できます。 画面にカメラ情報を確認するように案内が出ているときは表示に従ってください。

その他の表示(コード番号なし)

表示	原因と対応
時計を設定してください [日時を設定する] 画面のボタンをタッチすると 時計を設定できます	日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。 ➔ 設定してください。(P.21)
映像が表示できません	次のような理由でカメラの映像を表示できません。 • カメラの電源が入っていない • カメラの LAN ケーブルが抜けている • 無線カメラの場合、無線 LAN との接続が不安定になっている • カメラにかくれンズ機能があり、かくれンズ設定中になっている ➔ カメラ側の状態を確認のうえ、適切な処置をしてください。
閉じていないセンサーがあります センサー情報画面で確認してください	くらしモードの切り替えで、窓/ドアセンサーの報知レベルが「OFF」以外になったとき、下記のいずれかの理由で報知できない窓/ドアセンサーがあると、表示されます。 • 開いている窓/ドアがある、電池切れ、圏外 ➔ 表示に従ってセンサー情報画面(P.60)を確認し、適切な処置をしてください。
報知レベル「高い」または「低い」に設定時 閉じていないセンサーがありました センサー情報画面を確認してください	
	「鳴り分け」の設定(P.77)で、鳴らない設定にしたドアホンやカメラから着信中です。 ➔ この表示が出た機器では応答できません。
着信中の機器があります 親機(この子機)※1では「鳴らない」設定です	
他の子機(他の機器)※1 あてにお客様です 親機(この子機)※1では「鳴らない」設定です	
カメラのセンサーが反応しました 親機(この子機)※1では「鳴らない」設定です	

※1 ( )内は、子機画面の表示です。

保証とアフターサービス　よくお読みください

ご相談の前に

① 99～109ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
② ホームページの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。
http://panasonic.jp/com/support/tvdfon

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日
品　番	

修理を依頼されるときは…
上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホンまたはテレビドアホン
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談の際は、ご使用の機器（ドアホン/ドアホン親機/子機）に表示されている品番もお伝えください。

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
  保証期間：お買い上げ日から本体1年間
  ただし、VL-SWD701KL/VL-SWD701KSに付属の電池パックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**
  ※修理料金は、次の内容で構成されています。
  技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
  部品代　部品および補助材料代
  出張料　技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　7年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-365**（パナは 365日）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-554**（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お願い

- 停電などの外部要因により、録画、通話、メール送信などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼する前に、「個人情報について」を必ずお読みください。（P.12）

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0513

よくあるご質問

呼出音について

呼出音量の変更のしかたは？	● 「呼出音量を変える」をお読みください。(P.76)
ドアホン(またはカメラ)ごとに呼出音を設定できますか？	● ドアホン親機や子機の「呼出音」の設定で、ドアホン1～3、カメラ1～4の呼出音をそれぞれ変更できます。(P.75)
子機で、電話(外線)の呼出音を変更できますか？	● 電話やファクスに子機登録してご使用の場合、「呼出音」の設定で変更することができます。(P.76)
夜間に、ドアホンなどの呼出音を鳴らさないようにするには？	● くらしモードを「夜間」にすると、夜間の呼出音が鳴らなくなります。(P.32、33)

子機について

子機(VL-WD614)は、電話やファクスの子機として使えますか？	● 対応の電話/ファクスに子機登録すれば使えます。(対応の電話/ファクスはP.95、子機登録のしかたはP.34)

録画・録音について

ドアホンの映像は動画で録画できますか？ また、ドアホン通話の内容を録音できますか？	● SDカードをご使用時のみ、動画での録画や通話の録音ができます。(P.26、27)
カメラの映像や音声は録画・録音できますか？	● SDカードをご使用時のみ、録画・録音できます。(P.51)

カメラ(センサーカメラ)について

連携(接続)できるカメラの品番は?	● 「連携できる機器一覧」の「カメラ」の項目をご覧ください。(P.95)
カメラと連携して使えるようにするには、どうしたらいいの?	● ドアホン親機とカメラ間をLANケーブルで接続し、カメラをドアホン親機に登録してください。 (接続はP.44、登録のしかたはP.46)
カメラのセンサー検知感度やエリアの調整方法は?	● 人感(熱)センサーの検知感度は「人感センサー」の設定で変更できます。(P.53) ● 動作検知の検知感度や検知エリアは、「動作検知」の設定で変更できます。(P.47)

その他

スマートフォンで、ドアホンやカメラの呼び出しを受けるようにするには?	● ドアホン親機とスマートフォンを同じネットワークに接続してください。(P.44) そのあとで、ドアホンアプリをスマートフォンにダウンロードし、スマートフォンをドアホン親機に登録してください。(P.45)
携帯電話など、外出先でドアホンやカメラの画像を見たいときは?	● メール送信機能をご利用ください。(P.70)

さくいん

アルファベット

IPアドレス 82
JEM-Aアダプタ 95
LEDライト（照明用） 15
SDカード 14
●録画件数 26
●フォーマット 90
●コピー
(本体メモリー→SDカード) .. 90
●フォルダー構造 91
SMTP 認証 71
SSL(暗号化) 71

あ　行

明るさ設定
●画面の明るさ ... 29, 31, 74
●カメラ映像の明るさ 54
宛先メールアドレス 71
あんしん応答 38
アンテナ部 18
移報接点アダプタ 95
液晶ディスプレイ 16, 18
お知らせ画面 21, 46, 64
お知らせランプ 16
●ランプの点滅設定 83
お手入れ 13
オフフック応答 85
音質を変える(電話) 37
音量を変える
●受話音量 55, 74
●送話音量 74
●呼出音量 76
●再生音量 29, 31
音声応答 22, 79

か　行

カーソル 67
外出モード 32
外線鳴り分け 85
回転灯 95
顔サーチ 72
火災警報器 61, 95
ガス漏れ警報器 95
画像(録画)
●自動更新 26
●再生 28, 30
●検索(探す) 29
●保護／保護解除 29, 31
●消去 29, 31
画像全消去 80
壁掛け(充電台) 20
カメラ検知自動録画 51, 80
カメラ情報 50
カメラとの連携 46
●対応機種 95
●ドアホン親機との接続 44
●減設するとき 89
カメラレンズ 15
キー確認音 85
逆光補正(カメラ) 54
逆光補正(ドアホン) 74
キャッチホン 37
くらしモード 32
警報器 61, 95
減設 89
コール機器 61, 95
子機増設 34, 86

さ　行

再生
●ドアホンやカメラ
の録画・録音 28, 30
●留守番電話の用件 41
再ダイヤル 35
在宅モード 32
3人で話す／3者通話 39
室内呼
●ドアホン通話の転送 25
●室内通話 24
●内線通話(電話内線) 36
●電話をまわす 39
シャープボタン 18
修理ご相談窓口 110
充電／充電ランプ 20
受話音量 55, 74
受話口 18
仕様 92
消去
●画像 29, 31, 80
●電話帳 40, 85
●留守番電話の用件 41
●着信履歴 42
情報表示画面 64
照明設定(カメラ) 54
照明設定(ドアホン)
●手動 ON/OFF 74
●自動点灯設定 81
ズーム位置設定 21
ズーム表示 21, 73
スピーカー 15, 16, 18
スピーカーホン 36
スマートフォンとの連携 45
●対応機種 95
●ドアホンとの接続 44
設定の初期化
●ドアホン親機 83
●子機 85
●カメラ 55
センサーカメラ 95
センサー検知(センサー反応)
●カメラのセンサー ... 49, 51
●窓/ドアセンサー..... 43, 58
センサー情報 43, 60
全体表示 21, 73
送信情報選択 71
送信ポート番号 (SMTP) 71
送信メールサーバー (SMTP)... 71
送信元メールアドレス 71
増設→「登録」を参照
増設モニター 86, 94
送話音量 74
送話口(マイク) 18
ソフトウェアの更新 12, 82

た　行

ただいまコール 15
タッチパネル 16
着信履歴 42
中継アンテナ 87, 94
通話拒否(外線通話) 38
通話転送(ドアホン通話) 25
通話ランプ 16
通話録音(外線通話) 37
通話録音
(ドアホン通話全記録) 27
テストメール送信 71
テレビとの連携 56
●対応機種 96
●ドアホン親機との接続 44
●減設するとき 89
電気錠 62, 95
電気錠操作器 95
電池カバー 18
電池残量 20
電池パック 2, 20
電波状態表示 19, 64
電話帳
●登録 39
●転送 40
●全消去 85
●電話をかける 36
電話/ファクスとの連携 34
●対応機種 95
●減設するとき 89
電話内線 36
電話をまわす 39
ドアセンサーとの連携→
「窓/ドアセンサーとの連携」を参照
ドア報知遅延時間 60, 81
ドアホンアプリ 45
ドアホン親機(モニター親機).. 16
ドアホン(玄関子機) 15
ドアホン室内呼 24
ドアホン着信自動録画 ... 27, 80
ドアホン通話全記録 27, 80
ドア予備報知時間 60, 81
動作モード 85
登録(増設)
●電話/ファクス 34
●スマートフォン 45
●カメラ 46
●テレビ 56
●レコーダー 57
●窓/ドアセンサー 58
●子機 86
●中継アンテナ 88
トーン 35
時計 21
トップメニュー 16

な 行
内線通話（電話内線）............. 36
名前設定
●子機の名前.............. 81, 84
●ドアホンの名前.............. 81
鳴り分け............................... 77
ナンバー・ディスプレイ....... 42
日時設定............................... 21

は 行
パン・チルト......................... 73
光るチャイム................. 61, 95
ファクスとの連携→
「電話/ファクスとの連携」を参照
フリップ............................... 18
プレストーク......................... 22
別売品................................... 94
ボイスセレクト..................... 37
ボイスチェンジ.............. 37, 74
ポーズ................................... 35
保護／保護解除.............. 29, 31
保証とアフターサービス.... 110
保留....................................... 37

ま 行
マイク.................... 15, 16, 18
窓/ドアセンサーとの連携..... 58
●対応機種......................... 95
●減設するとき................... 89
マルチファンクションキー... 18
ミュート............................... 36
メール送信........................... 70
メール送信情報..................... 82
メロディサイン.............. 61, 95
文字入力............................... 67
●文字列一覧表................... 69
戻って再生........................... 72
モニター（様子を見る）... 23, 48

や 行
夜間モード........................... 32
●タイマー設定................... 33
用件再生（留守番電話）.......... 41
横画面表示.................... 19, 85
呼出音（種類を変える）... 75, 76
呼出音量............................... 76

ら 行
リセットスイッチ........ 16, 104
留守セット／解除
（留守番電話）......................... 41
レコーダーとの連携.............. 57
●対応機種......................... 96
●ドアホン親機との接続.... 44
●減設するとき................... 89
レンズカバー......................... 15
録音（外線通話）..................... 37
録画・録音（ドアホン、カメラ）
●自動 / 手動録画....... 27, 51
●録音（通話全記録）........... 27
●録画の自動更新............... 26
録画番号............................... 30

わ 行
ワイド／ズーム.............. 21, 73
ワイド表示.................... 21, 73
ワイヤレスアダプター機能... 34

機能設定の機能名から探す

機能設定の機能名をまとめて記載しています。

ドアホン親機の機能設定

【最初の設定】
日時設定...................... 21, 78
ワイド／ズーム設定... 21, 78
ズーム位置設定.......... 21, 78
【呼出音の設定】
呼出音量...................... 76, 79
呼出音.......................... 75, 79
【応答の設定】
音声応答.............................. 79
鳴り分け...................... 77, 79
屋外ノイズ軽減.................. 79
【録画再生の設定】
ドアホン録画開始時間........ 80
ドアホン着信自動録画........ 80
ドアホン通話全記録............ 80
カメラ検知自動録画............ 80
鳴り分け設定による
再生制限.............................. 80
画像全消去.......................... 80
【SD カード】
SD カードのフォーマット
.... 80, 90
本体から SD カードへの
コピー.......................... 80, 90
【接続機器の設定】
カメラ................................ 下記
ドアホン接続...................... 81
ドアホンの名前.................. 81
子機の名前.......................... 81
外部入力.............................. 81
A 接点出力.......................... 81
窓/ドアセンサー................ 81
●センサーの名前............ 81
●エリアの変更................ 81
●ドア報知遅延時間
（外出時）........................ 81
●ドア予備報知時間
（帰宅時）........................ 81
電気錠・機器ボタン... 62, 81
AV 機器.............................. 81
ドアホン照明自動点灯........ 81
【ネットワークの設定】
IPアドレス.......................... 82
メール送信.................. 71, 82
ネットワーク情報................ 82
ソフトウェアの更新通知..... 82
ネットワーク設定の
初期化.................................. 82
【登録／減設】
登録...................................... 83
減設...................................... 83
【その他の設定】
お知らせランプ点滅............ 83
タッチ確認音...................... 83
親機の初期化...................... 83
展示モード（販売店専用）..... 83

子機の機能設定

電話子機の名前.................. 84
呼出音.................. 75, 76, 84
キー確認音.......................... 85
横画面表示.......................... 85
オフフック応答.................. 85
外線鳴り分け...................... 85
電話帳転送.......................... 85
電話帳全消去...................... 85
動作モード.......................... 85
子機増設.............. 34, 85, 86
設定の初期化...................... 85

カメラの機能設定

【センサー設定】
人感センサー...................... 53
動作検知...................... 47, 53
外部センサー...................... 53
検知タイマー...................... 53
センサー確認.............. 46, 53
録画のテスト.............. 48, 53
【表示の設定】
明るさ.................................. 54
逆光補正.............................. 54
照明...................................... 54
ポジション設定.................. 54
オートスローシャッター..... 54
ズーム倍率指定.................. 54
【音の設定】
お知らせ音.......................... 55
受話音量（マイク感度）........ 55
【カメラ詳細情報】
詳細情報.............................. 55
検知履歴.............................. 55
【その他の設定】
電源ランプ.......................... 55
PRIVACY ボタン................ 55
カメラ再起動...................... 55
設定と登録の初期化............ 55

別売品については
94ページをご覧ください。

会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

■ 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

本機(VL-V571L/VL-V554L 除く)は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。
本機(VL-V571L/VL-V554L 除く)を日本国外へ輸出する(技術の提供を含む)場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230＃」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554** (パナは イイヨ)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご相談の際は、ご使用の機器(ドアホン/ドアホン親機/子機)に表示されている品番もお伝えください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用の ワイヤレスモニター付テレビドアホン / テレビドアホン の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒 812-8531 福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2014

PNQX6588ZA

Printed in Vietnam

PNQX6588ZA C0214MT1